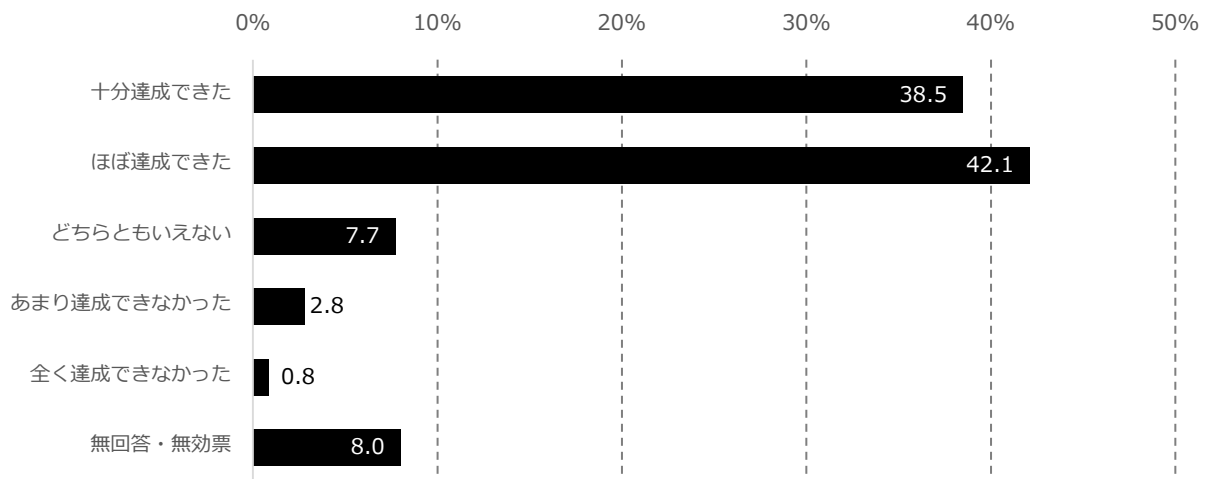


6. 目的達成状況

【問5 今日、この図書館に来て、あなたの目的は達成されましたか。(1～5は1つだけに○)】

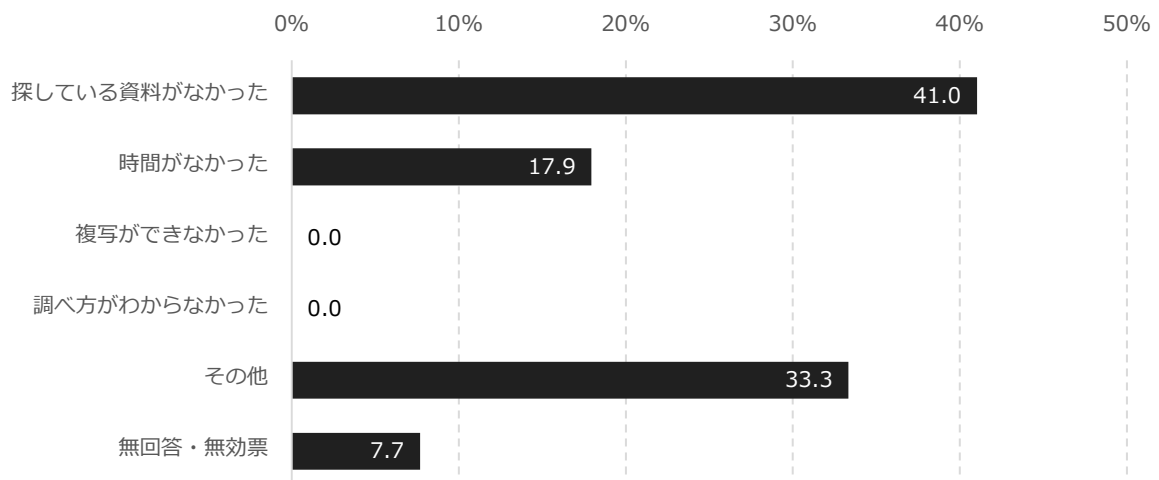
■表 6.1 『目的達成状況』件数割合

	件数	割合
十分達成できた	413	38.5
ほぼ達成できた	452	42.1
どちらともいえない	83	7.7
あまり達成できなかった	30	2.8
全く達成できなかった	9	0.8
無回答	86	8.0
全体	1,073	100.0



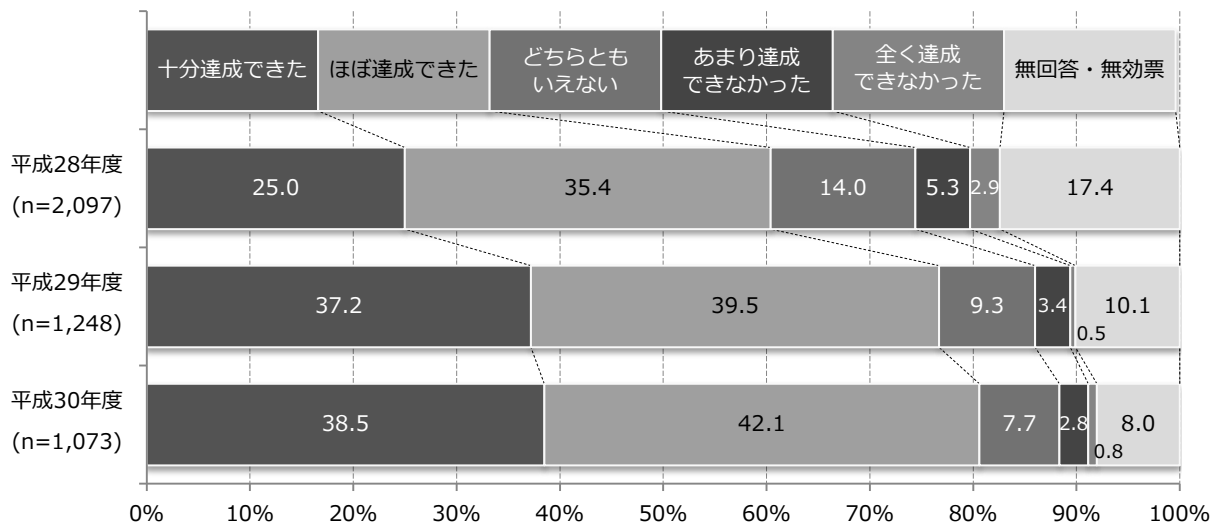
グラフ 6.1

■目的があまり達成できなかった・全くできなかった理由(複数回答可) 計 39 件

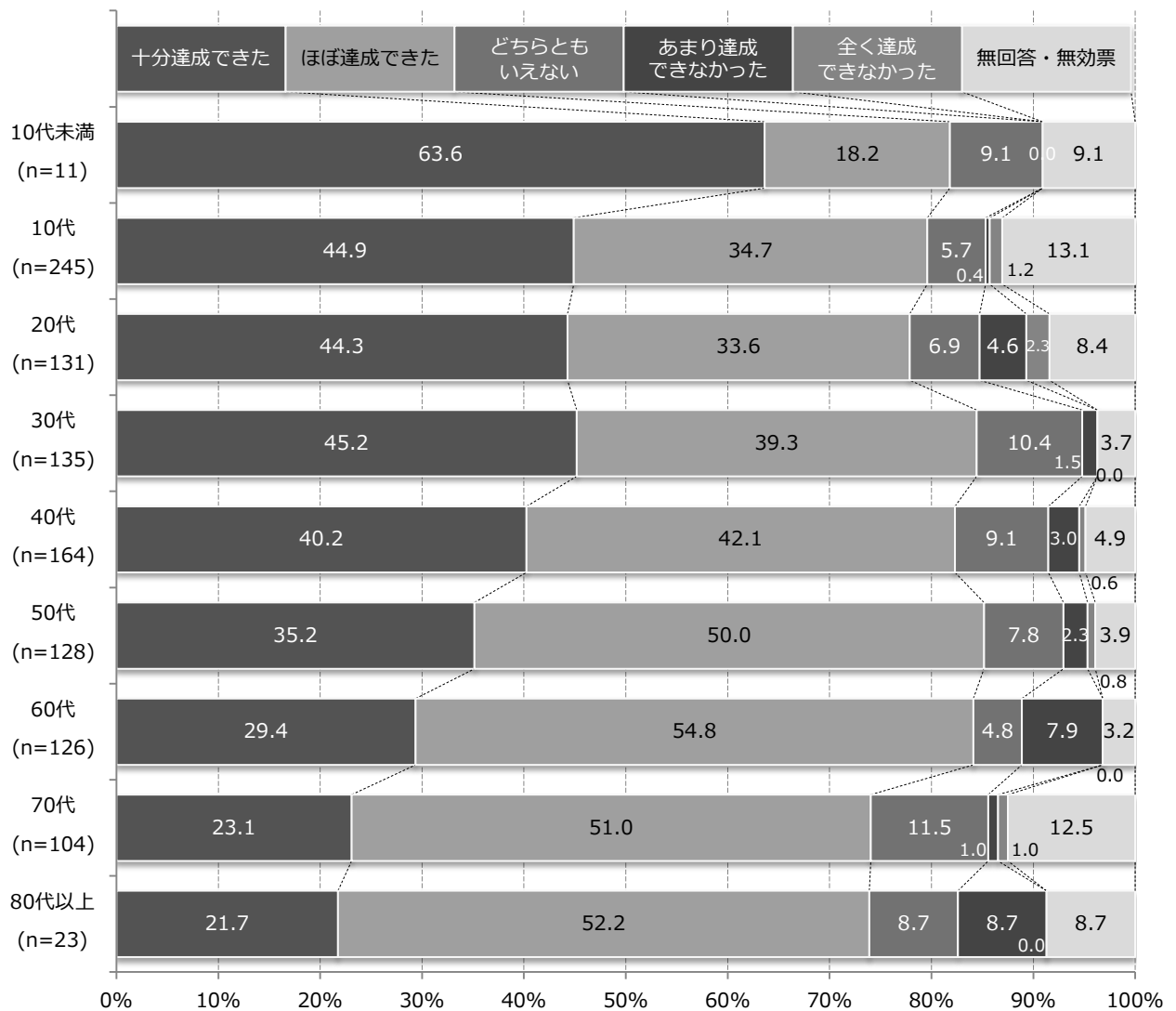


グラフ 6.2

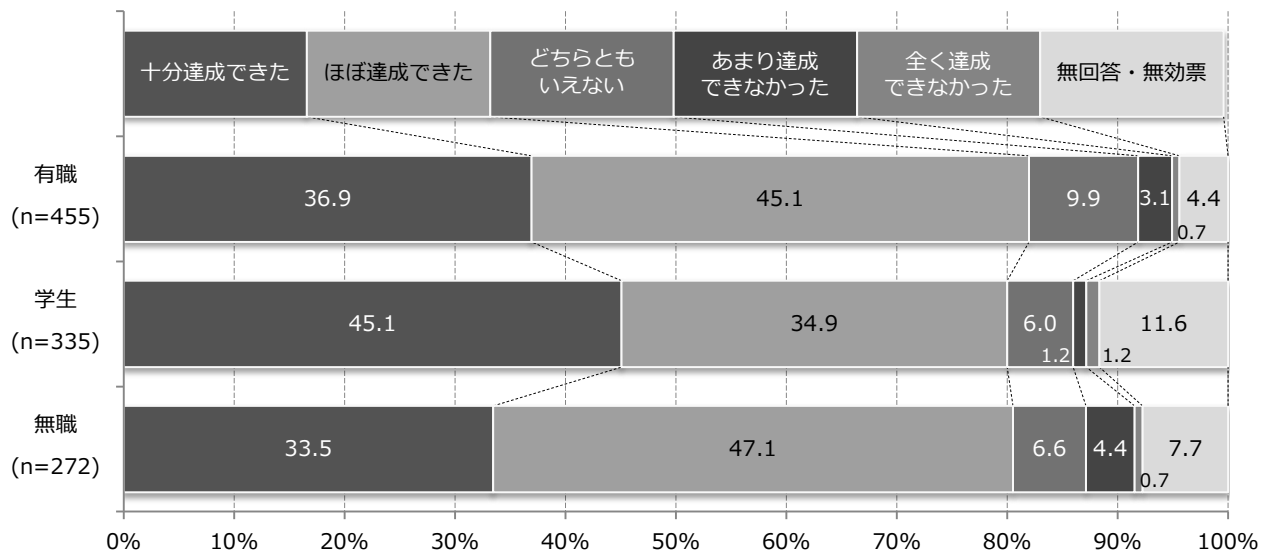
■ グラフ 6.3 『目的達成状況』 過年度比較



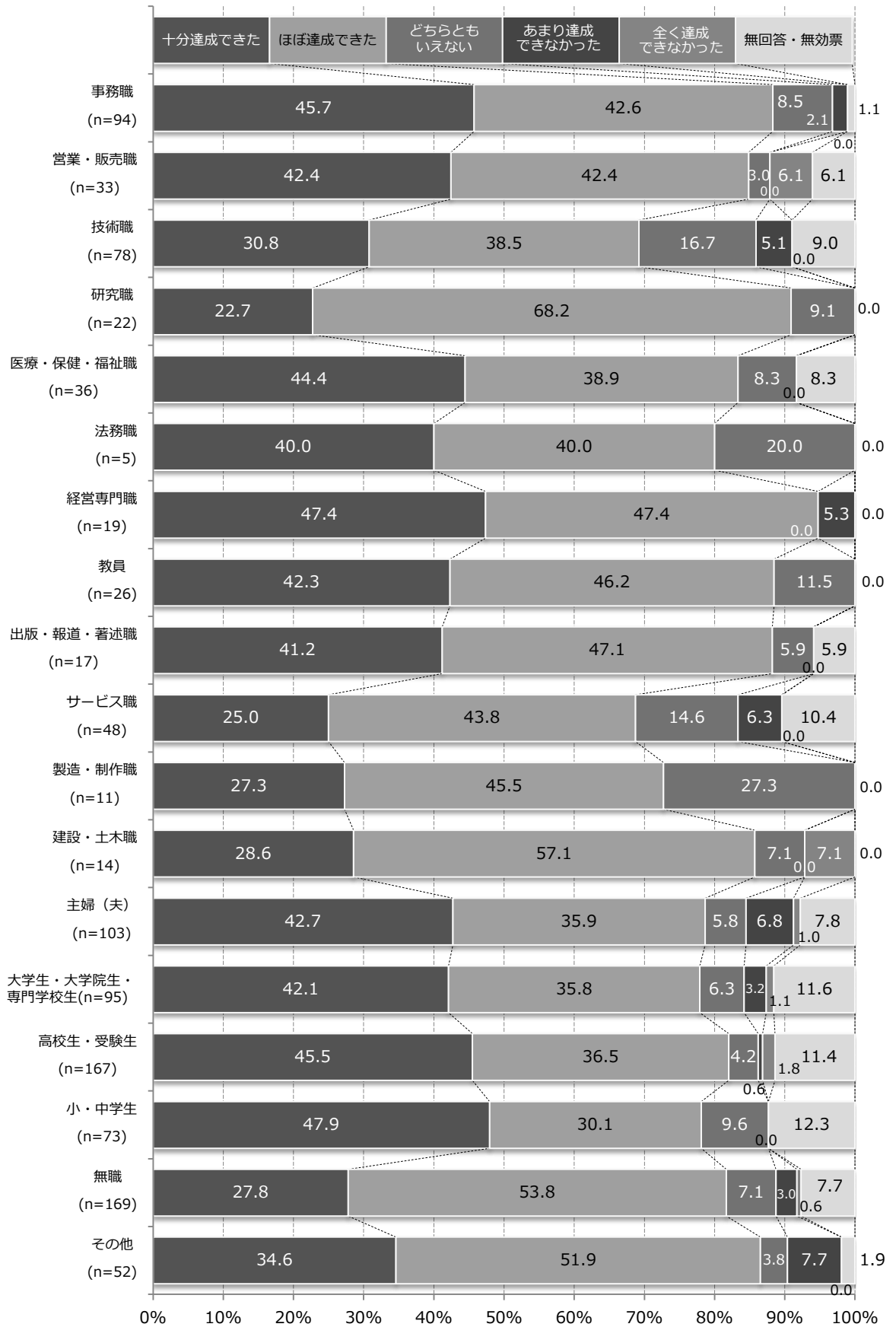
■ グラフ 6.4 『目的達成状況』 年齢割合



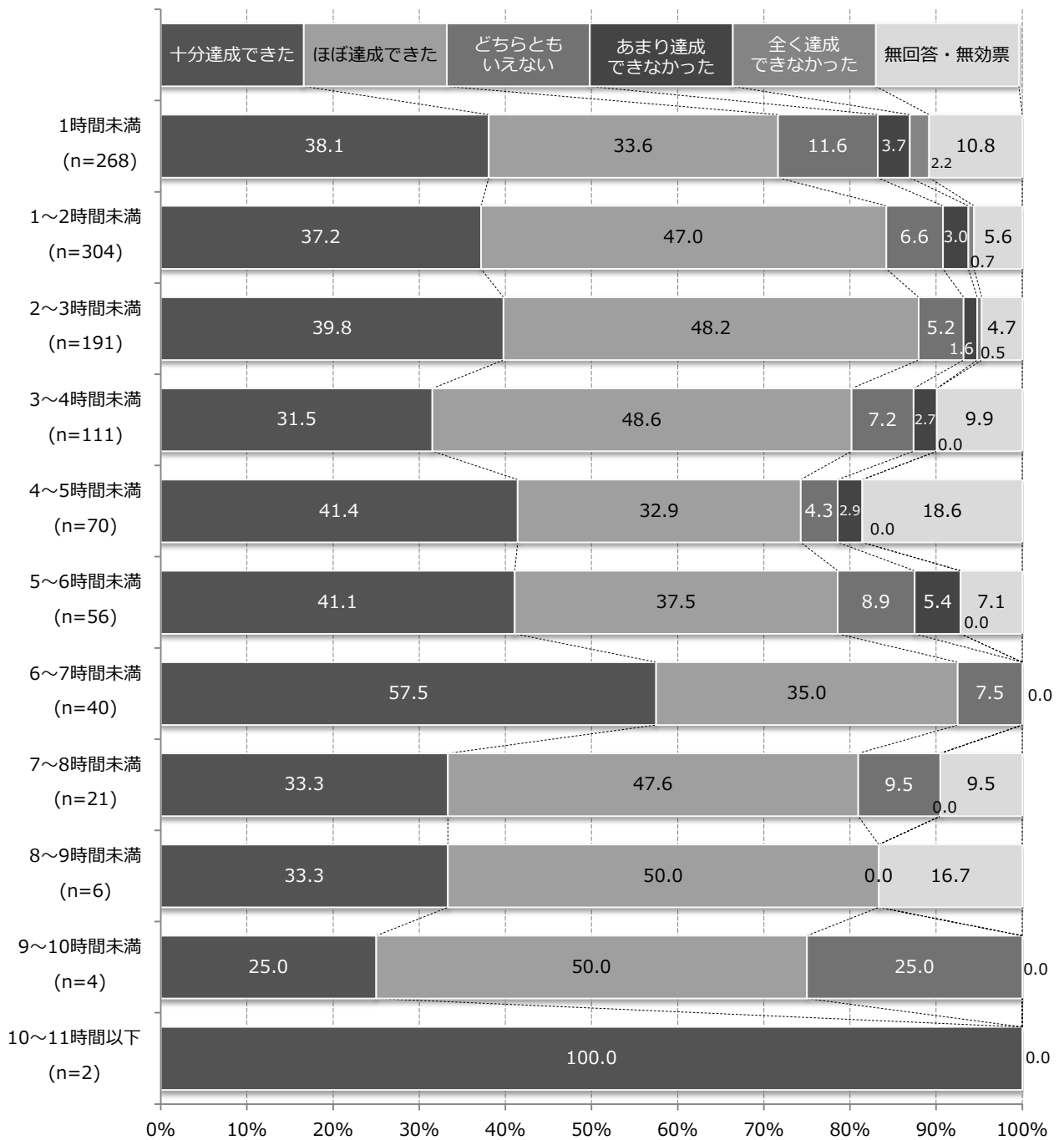
■グラフ 6.5 『目的達成状況』職業（3分類：有職・学生・無職）割合



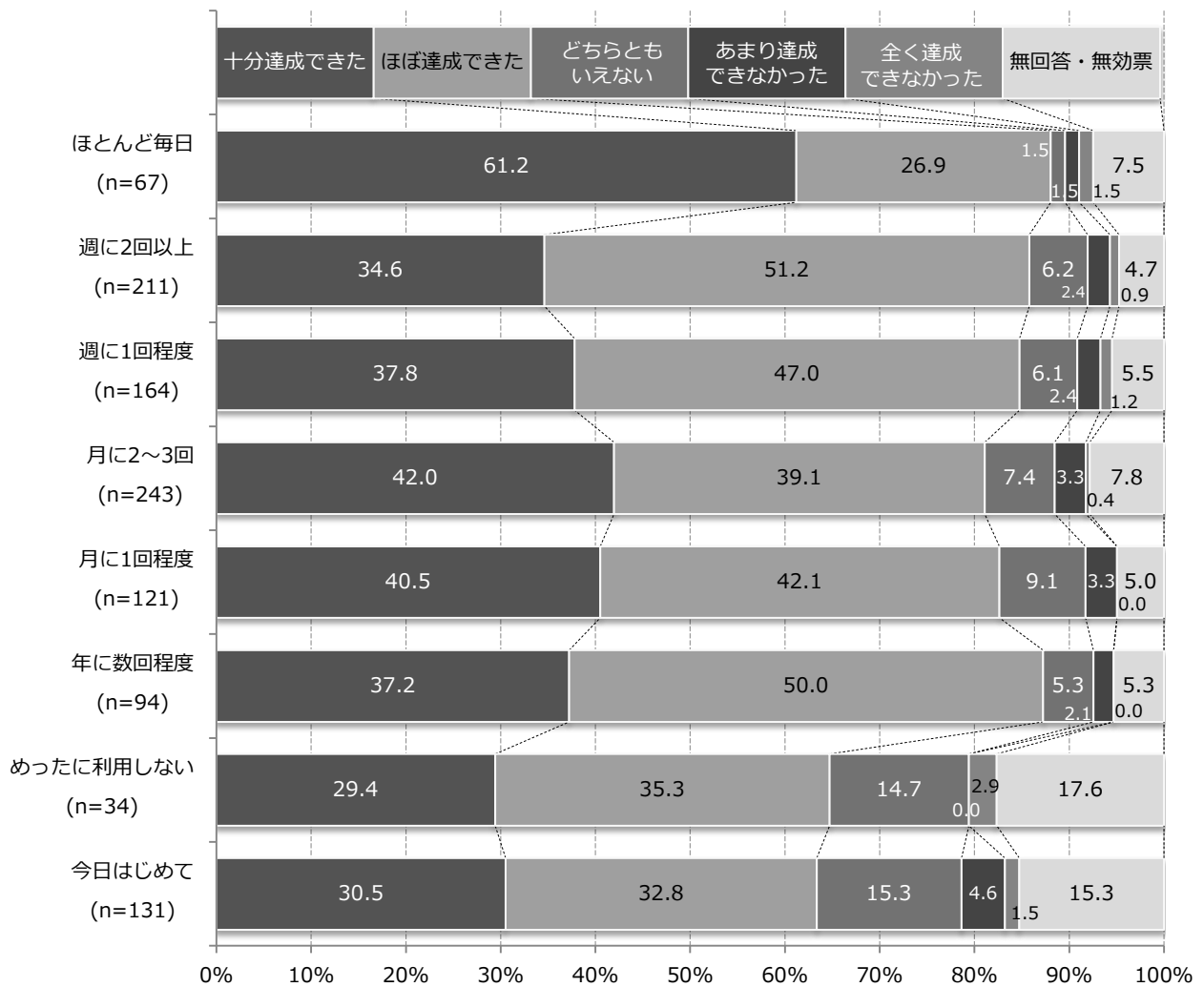
■グラフ 6.6 『目的達成状況』職業（18分類）割合



■グラフ 6.7 『目的達成状況』 滞在時間割合



■グラフ 6.8 『目的達成状況』 利用頻度割合



●目的達成状況について

目的達成状況については、「ほぼ達成できた」が452件・42.1%で最も多く、次いで「十分達成できた」が413件・38.5%となっており、全体の約80%において、目的が達成できたと感じている（表6.1、グラフ6.1）。

一方、「あまり達成できなかった」、「全く達成できなかった」理由としては、39件中「探している資料がなかった」が41.0%、「時間がなかった」が17.9%となっている（グラフ6.2）。

過年度比較では、達成感を抱いている割合（「十分達成できた」「ほぼ達成できた」の合計）において、平成28年度は60.4%、平成29年度は76.7%であり、今年度は80.6%と目的達成度は増加している（グラフ6.3）。

滞在時間別にみると、「あまり達成できなかった」及び「全く達成できなかった」は「6時間以上」では0.0%となった。（グラフ6.7）。

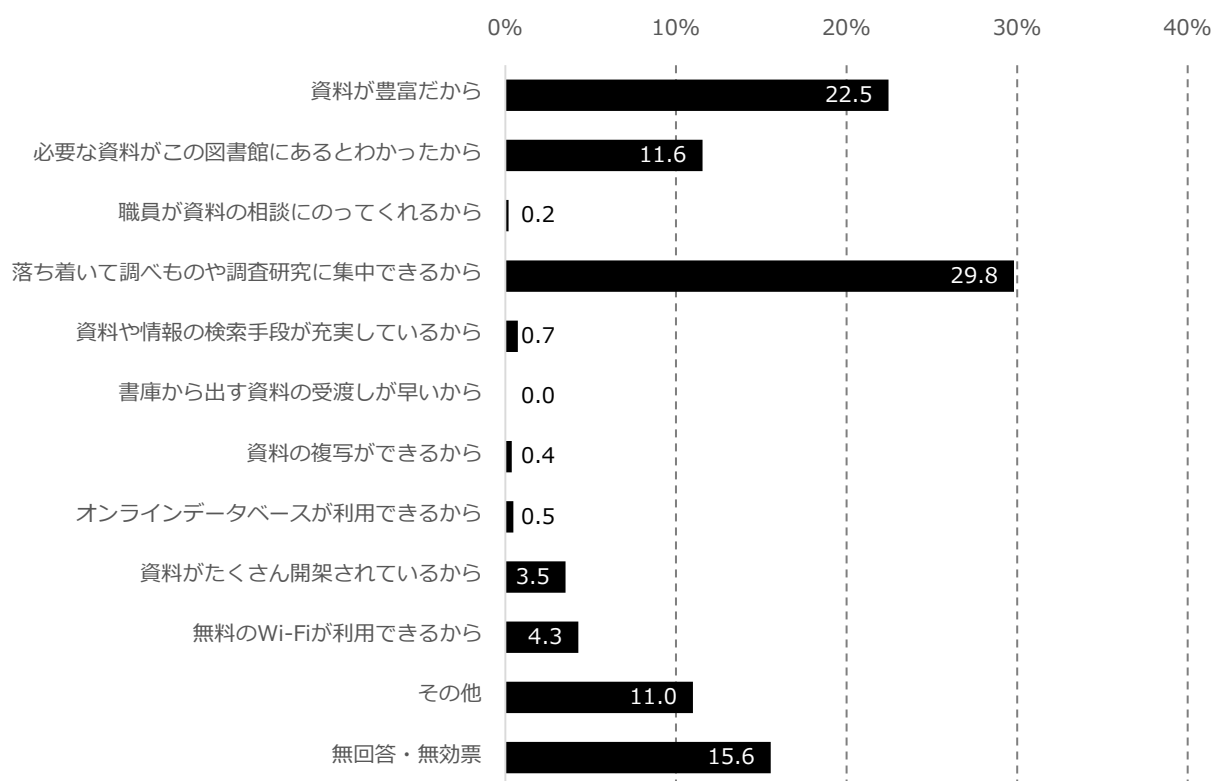
利用頻度別にみると、達成感を抱いている割合が最も高いのが「ほとんど毎日」で、最も低いのが「今日のはじめて」であった（グラフ6.8）。

7. 図書館利用理由

【問6 今日、この図書館を利用する最も大きな理由は何ですか。(○は1つだけ)】

■表 7.1 『図書館利用理由』件数割合

	件数	割合
資料が豊富だから	241	22.5
必要な資料がこの図書館にあるとわかったから	124	11.6
職員が資料の相談にのってくれるから	2	0.2
落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから	320	29.8
資料や情報の検索手段が充実しているから	8	0.7
書庫から出す資料の受渡しが早いから	0	0.0
資料の複写ができるから	4	0.4
オンラインデータベースが利用できるから	5	0.5
資料がたくさん開架されているから	38	3.5
無料のWi-Fiが利用できるから	46	4.3
その他	118	11.0
無回答・無効票	167	15.6
全 体	1,073	100.0



グラフ 7.1

■表 7.2 『図書館利用理由』年齢割合

年齢	人数 (n)	図書館利用理由割合 (%)												
		資料が豊富だから	必要な資料がこの図書館にあるとわかったから	職員が資料の相談にのってくれるから	落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから	資料や情報の検索手段が充実しているから	早くから	書庫から出す資料の受渡しが早いから	資料の複写ができるから	利用できるから	オンラインデータベースが利用できるから	資料がたくさん開架されているから	無料のW i - F i が利用できるから	その他
10代未満	11	54.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3
10代	245	11.8	2.9	0.0	55.5	0.4	0.0	0.8	0.4	0.0	0.0	6.1	6.5	15.5
20代	131	16.0	13.0	0.0	32.8	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	8.4	8.4	18.3
30代	135	31.1	8.9	0.0	19.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	23.0	14.1
40代	164	29.3	15.9	0.0	19.5	0.0	0.0	0.0	0.6	3.0	4.3	14.0	13.4	13.4
50代	128	24.2	15.6	0.0	23.4	0.0	0.0	0.8	2.3	3.9	5.5	10.2	14.1	14.1
60代	126	30.2	15.1	0.0	25.4	0.8	0.0	0.8	0.0	1.6	3.2	11.9	11.1	11.1
70代	104	19.2	16.3	1.9	17.3	2.9	0.0	0.0	0.0	13.5	1.9	5.8	21.2	21.2
80代以上	23	26.1	26.1	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	0.0	13.0	8.7	8.7
全体	1,067	22.6	11.6	0.2	29.9	0.7	0.0	0.4	0.5	3.6	4.3	11.1	15.2	15.2

※網掛けは各年齢で最も割合が高い利用理由

※年齢の無回答・無効票は除く。

■表 7.3 『図書館利用理由』職業（3分類：有職・学生・無職）・（18分類）割合

職業	人数 (n)	図書館利用理由割合 (%)											
		資料が豊富だから	必要な資料がこの図書館にあるとわかったから	職員が資料の相談にのってくれるから	落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから	資料や情報の検索手段が充実しているから	書庫から出す資料の受渡しがいから	資料の複写ができるから	オンラインデータベースが利用できるから	資料がたくさん開架されているから	無料のWi-Fiが利用できるから	その他	無回答・無効票
有 職	455	27.3	14.9	0.0	22.4	0.9	0.0	0.4	0.7	3.7	4.4	12.3	13.0
学 生	335	13.1	5.7	0.0	50.1	0.6	0.0	0.6	0.3	0.6	6.3	5.7	17.0
無 職	272	26.1	13.2	0.7	18.0	0.7	0.0	0.0	0.4	7.0	1.8	15.8	16.2
全 体	1,062	22.5	11.6	0.2	30.0	0.8	0.0	0.4	0.5	3.6	4.3	11.1	15.1

事務職	94	27.7	18.1	0.0	23.4	1.1	0.0	0.0	1.1	3.2	3.2	14.9	7.4
営業・販売職	33	21.2	15.2	0.0	12.1	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	18.2	27.3
技術職	78	28.2	7.7	0.0	26.9	0.0	0.0	1.3	1.3	3.8	1.3	10.3	19.2
研究職	22	9.1	22.7	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	13.6
医療・保健・福祉職	36	22.2	13.9	0.0	16.7	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	5.6	13.9	22.2
法務職	5	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経営専門職	19	15.8	10.5	0.0	26.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	10.5	15.8
教員	26	26.9	15.4	0.0	19.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	3.8	11.5	11.5
出版・報道・著述職	17	35.3	29.4	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0
サービス職	48	33.3	8.3	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	10.4	10.4	14.6
製造・制作職	11	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	27.3	9.1
建設・土木職	14	35.7	28.6	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
主婦（夫）	103	29.1	9.7	0.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	0.0	29.1	18.4
大学生・大学生院・専門学校生	95	12.6	14.7	0.0	40.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	5.3	4.2	21.1
高校生・受験生	167	8.4	2.4	0.0	61.7	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	6.6	5.4	15.0
小・中学生	73	24.7	1.4	0.0	37.0	1.4	0.0	1.4	1.4	1.4	6.8	8.2	16.4
無職	169	24.3	15.4	1.2	24.3	1.2	0.0	0.0	0.6	7.7	3.0	7.7	14.8
その他	52	30.8	17.3	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	5.8	15.4	5.8
全 体	1,062	22.5	11.6	0.2	30.0	0.8	0.0	0.4	0.5	3.6	4.3	11.1	15.1

※網掛けは各職業で最も割合が高い利用理由

※職業の無回答・無効票は除く。

■表 7.4 『図書館利用理由』利用頻度割合

利用頻度	人数 (n)	図書館利用理由割合 (%)											
		資料が豊富だから	必要な資料がこの図書館にあるとわかったから	職員が資料の相談にのってくれるから	落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから	資料や情報の検索手段が充実しているから	書庫から出す資料の受渡しが早いから	資料の複写ができるから	オンラインデータベースが利用できるから	資料がたくさん開架されているから	無料のWiFiが利用できるから	その他	無回答・無効票
ほとんど毎日	67	22.4	1.5	0.0	32.8	0.0	0.0	0.0	1.5	3.0	11.9	10.4	16.4
週に2回以上	211	10.9	10.4	0.0	48.3	0.5	0.0	0.0	0.0	4.3	8.1	5.7	11.8
週に1回程度	164	22.6	10.4	0.0	38.4	0.0	0.0	0.0	0.6	2.4	3.0	6.1	16.5
月に2~3回	243	21.4	9.5	0.0	28.8	1.2	0.0	0.8	0.8	3.7	3.3	15.2	15.2
月に1回程度	121	34.7	13.2	0.8	22.3	0.0	0.0	1.7	0.0	3.3	2.5	9.1	12.4
年に数回程度	94	31.9	21.3	1.1	18.1	1.1	0.0	0.0	1.1	2.1	3.2	5.3	14.9
めったに利用しない	34	20.6	20.6	0.0	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.4	14.7
今日はじめて	131	26.0	13.7	0.0	11.5	1.5	0.0	0.0	0.0	6.1	1.5	19.8	19.8
全体	1,065	22.5	11.6	0.2	30.0	0.8	0.0	0.4	0.5	3.6	4.3	11.1	15.0

※網掛けは各利用頻度で最も割合が高い利用理由。

※利用頻度の無回答・無効票は除く。

■表 7.5 『図書館利用理由』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	図書館利用理由割合 (%)											
		資料が豊富だから	必要な資料がこの図書館にあるとわかったから	職員が資料の相談にのってくれるから	落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから	資料や情報の検索手段が充実しているから	書庫から出す資料の受渡しが早いから	資料の複写ができるから	オンラインデータベースが利用できるから	資料がたくさん開架されているから	無料のWiFiが利用できるから	その他	無回答・無効票
仕事上の調査研究	82	26.8	32.9	0.0	20.7	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	3.7	4.9	8.5
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	107	17.8	9.3	0.0	44.9	0.9	0.0	0.0	0.9	1.9	2.8	5.6	15.9
個人的な調査研究	83	25.3	26.5	1.2	19.3	1.2	0.0	0.0	1.2	4.8	8.4	6.0	6.0
日常生活に必要な知識や情報の入手	84	40.5	20.2	0.0	11.9	1.2	0.0	0.0	1.2	6.0	1.2	9.5	8.3
教養・趣味のための読書	200	38.5	9.5	0.5	20.0	0.5	0.0	0.5	0.5	7.0	2.5	8.0	12.5
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	103	14.6	13.6	0.0	42.7	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	3.9	3.9	19.4
試験勉強	203	6.9	2.5	0.0	60.1	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	5.9	6.4	16.7
その他	154	16.9	2.6	0.0	9.1	0.6	0.0	0.0	0.0	6.5	5.2	40.3	18.8
全体	1,016	22.4	11.6	0.2	30.6	0.7	0.0	0.4	0.5	3.5	4.2	11.6	14.2

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い利用理由。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

■表 7.6 『図書館利用理由』居住地割合

居住地	人数 (n)	図書館利用理由割合 (%)												
		資料が豊富だから	必要な資料がこの図書館にあるとわかったから	職員が資料の相談にのってくれるから	落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから	資料や情報の検索手段が充実しているから	早いから	書庫から出す資料の受渡しが	資料の複写ができるから	利用できるから	オンラインデータベースが利用できるから	資料がたくさん開架されているから	無料のWi-Fiが利用できるから	その他
23区	57	21.1	24.6	0.0	14.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	22.8	12.3
都内市町村	950	22.4	10.2	0.2	31.6	0.7	0.0	0.4	0.5	3.8	4.2	10.3	15.6	
都外	54	24.1	22.2	0.0	20.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	5.6	11.1	13.0	
全体	1,061	22.4	11.6	0.2	30.1	0.8	0.0	0.4	0.5	3.6	4.2	11.0	15.3	

※網掛けは各居住地で最も割合が高い利用理由。

※居住地の無回答・無効票は除く。

●利用理由について

図書館を利用する最も大きな理由については、「落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから」が320件・29.8%と最も多く、次いで「資料が豊富だから」が241件・22.5%となっている(表7.1、グラフ7.1)。

年齢別にみると、「10代」「20代」とともに「落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから」が最も多くの割合を占めており、その他の年齢では、「資料が豊富だから」の割合が最も高い(表7.2)。

職業3分類別にみると、「有職」「無職」とともに「資料が豊富だから」の割合が最も高く、「学生」では「落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから」の割合が最も高くなっている(表7.3)。

利用頻度別でみると、「ほとんど毎日」「週に2回以上」「週に1回程度」「月に2～3回程度」の利用頻度が高い層では、「落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから」の割合が最も高く、その他の利用頻度では「資料が豊富だから」の割合が高くなっている(表7.4)。

利用目的別にみると、「日常生活に必要な知識や情報の入手」「教養・趣味のための読書」において、「資料が豊富だから」の割合が最も高く、「仕事に関連した自分の勉強、自己啓発」「学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習」「試験勉強」では、「落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから」の割合が最も高い(表7.5)。

居住地別では、「23区」で「必要な資料がこの図書館にあるとわかったから」、「都内市町村」で「落ち着いて調べものや調査研究に集中できるから」、「都外」で「資料が豊富だから」の割合が最も高くなっている(表7.6)。

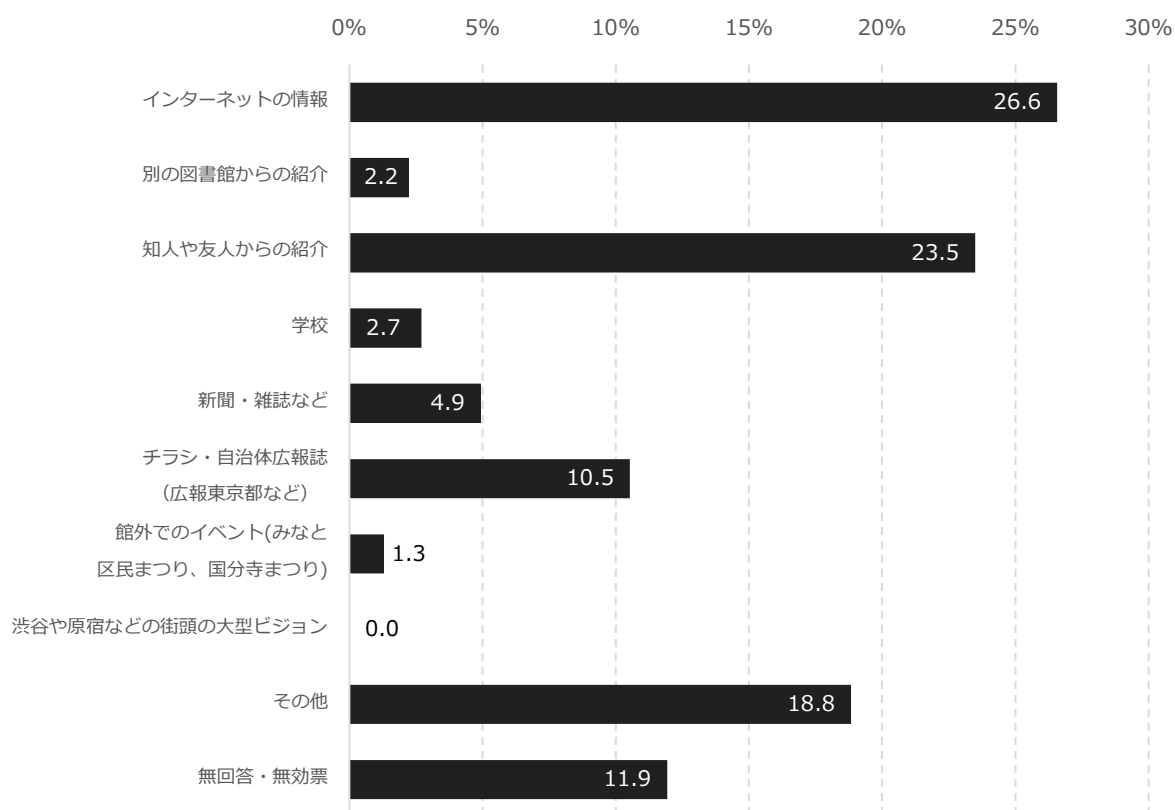
8. 来館のきっかけとなった情報源

【問7 今回の来館のきっかけとなった情報源について以下の中からお答えください。(複数回答可)】

■表 8.1 『来館のきっかけとなった情報源』件数割合

	件数	割合
インターネットの情報	285	26.6
別の図書館からの紹介	24	2.2
知人や友人からの紹介	252	23.5
学校	29	2.7
新聞・雑誌など	53	4.9
チラシ・自治体広報誌(広報東京都など)	113	10.5
館外でのイベント(みなと区民まつり、国分寺まつり)	14	1.3
渋谷や原宿などの街頭の大型ビジョン	0	0.0
その他	202	18.8
無回答・無効票	128	11.9
全体	1,100	102.5

※全体件数は回答件数の合計。割合は(n=1,073)に対する値。



グラフ 8.1

■表 8.2 『来館のきっかけとなった情報源』年齢割合

年齢	人数 (n)	来館のきっかけとなった情報源割合 (%)									
		インターネットの情報	別の図書館からの紹介	知人や友人からの紹介	学校	新聞・雑誌など	チラシ・自治体広報誌 (広報東京都など)	国分寺まつり	館外でのイベント (みなど区民まつり、)	渋谷や原宿などの街頭の 大型ビジョン	その他
10代未満	11	9.1	0.0	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3	9.1
10代	245	17.1	0.8	43.7	7.8	2.0	7.8	0.0	0.0	9.4	14.7
20代	131	35.1	2.3	23.7	6.1	1.5	4.6	0.0	0.0	18.3	9.9
30代	135	28.9	0.7	27.4	0.0	3.0	8.1	1.5	0.0	25.9	5.9
40代	164	36.0	3.0	14.6	0.6	3.7	7.9	1.8	0.0	21.3	12.8
50代	128	36.7	2.3	15.6	0.8	3.9	15.6	1.6	0.0	19.5	7.0
60代	126	24.6	6.3	14.3	0.0	9.5	18.3	0.8	0.0	19.0	8.7
70代	104	16.3	1.9	6.7	0.0	14.4	16.3	3.8	0.0	26.0	20.2
80代以上	23	8.7	0.0	13.0	0.0	17.4	13.0	8.7	0.0	26.1	13.0
全体	1,067	26.6	2.2	23.6	2.7	5.0	10.6	1.3	0.0	18.9	11.5

※網掛けは各年齢で最も割合が高い来館のきっかけとなった情報源。

※年齢の無回答・無効票は除く。

■表 8.3 『来館のきっかけとなった情報源』利用頻度割合

利用頻度	人数 (n)	来館のきっかけとなった情報源割合 (%)									
		インターネットの情報	別の図書館からの紹介	知人や友人からの紹介	学校	新聞・雑誌など	チラシ・自治体広報誌 (広報東京都など)	国分寺まつり	館外でのイベント (みなど区民まつり、)	渋谷や原宿などの街頭の 大型ビジョン	その他
ほとんど毎日	67	32.8	1.5	25.4	3.0	4.5	11.9	0.0	0.0	9.0	13.4
週に2回以上	211	29.4	2.8	26.1	1.4	3.8	12.8	2.4	0.0	17.5	7.6
週に1回程度	164	25.0	1.8	20.1	3.7	5.5	9.8	1.8	0.0	18.9	15.2
月に2~3回	243	23.9	1.6	20.6	3.3	5.3	12.3	1.2	0.0	23.9	10.7
月に1回程度	121	30.6	2.5	15.7	0.8	5.0	12.4	0.8	0.0	22.3	11.6
年に数回程度	94	27.7	4.3	25.5	5.3	7.4	10.6	0.0	0.0	17.0	6.4
めったに利用しない	34	11.8	0.0	38.2	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	20.6	17.6
今日始めて	131	25.2	2.3	31.3	1.5	3.8	5.3	1.5	0.0	15.3	15.3
全体	1,065	26.6	2.3	23.7	2.7	5.0	10.6	1.3	0.0	19.0	11.5

※網掛けは各利用頻度で最も割合が高い来館のきっかけとなった情報源。

※利用頻度の無回答・無効票は除く。

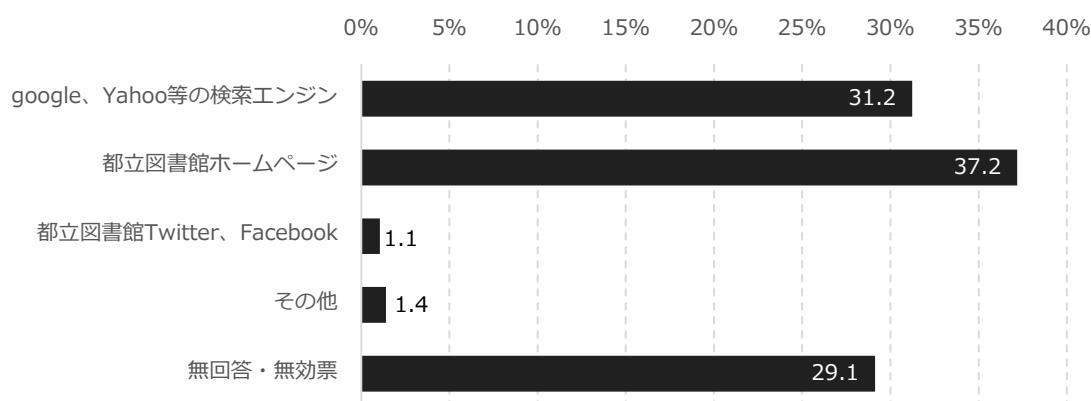
■表 8.4 『来館のきっかけとなった情報源』 利用目的割合

利用目的	人数 (n)	来館のきっかけとなった情報源割合 (%)									
		インターネットの情報	別の図書館からの紹介	知人や友人からの紹介	学校	新聞・雑誌など	チラシ・自治体広報誌 (広報東京都など)	館外でのイベント (みなど区民まつり、 国分寺まつり)	渋谷や原宿などの街頭の 大型ビジョン	その他	無回答・無効票
仕事上の調査研究	82	47.6	1.2	13.4	1.2	4.9	4.9	0.0	0.0	19.5	8.5
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	107	41.1	0.0	16.8	0.9	0.9	12.1	0.0	0.0	24.3	5.6
個人的な調査研究	83	45.8	3.6	10.8	0.0	6.0	13.3	1.2	0.0	14.5	9.6
日常生活に必要な知識や情報の入手	84	23.8	4.8	15.5	1.2	10.7	21.4	3.6	0.0	10.7	10.7
教養・趣味のための読書	200	17.5	3.5	19.0	3.5	10.0	12.5	2.5	0.0	23.5	10.5
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	103	32.0	0.0	28.2	11.7	0.0	5.8	1.0	0.0	12.6	11.7
試験勉強	203	20.7	1.0	45.3	3.0	2.5	6.4	0.5	0.0	9.9	12.3
その他	154	11.7	2.6	24.7	0.6	4.5	12.3	1.3	0.0	31.2	14.9
全体	1,016	26.5	2.1	24.4	2.9	5.0	10.7	1.3	0.0	18.8	10.9

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い来館のきっかけとなった情報源。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

■インターネットの情報の内訳 計 285 件



グラフ 8.2

●来館のきっかけとなった情報源について

来館のきっかけとなった情報源については、「インターネットの情報」が 285 件・26.6%と最も多く、次いで「知人や友人からの紹介」が 252 件・23.5%となっている（表 8.1、グラフ 8.1）。

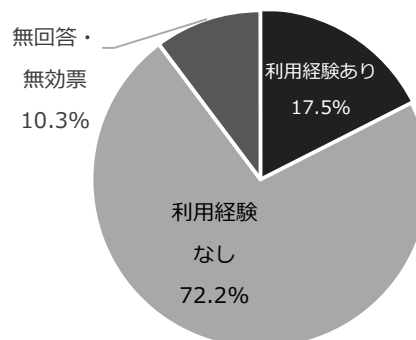
年齢別にみると、「10代未満」「10代」では、「知人や友人からの紹介」の割合が最も高く、「20代」「30代」「40代」「50代」「60代」では「インターネットの情報」の割合が高くなっている（表 8.2）。

9. レファレンス・サービス

【問8 この図書館では、レファレンス・サービスとして、皆様からのご相談に対し、必要な図書や雑誌などの情報を的確にご案内するサービスを行っています。あなたは相談や質問をしたことがありますか。(1か2のどちらかに○)】

■表 9.1 『レファレンス・サービス利用状況』 件数割合

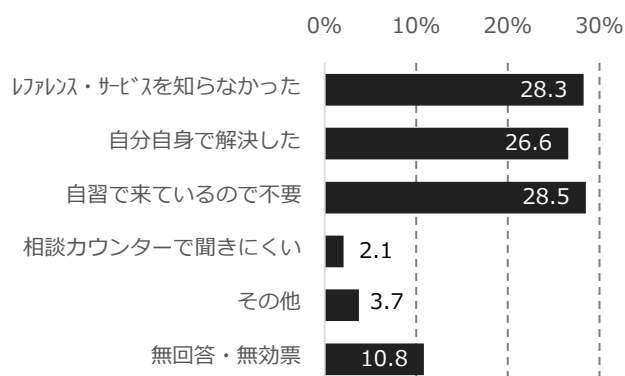
	件数	割合
利用経験あり	188	17.5
利用経験なし	775	72.2
無回答・無効票	110	10.3
全体	1,073	100.0



グラフ 9.1

■表 9.2 『レファレンス・サービスを利用しない理由』 件数割合

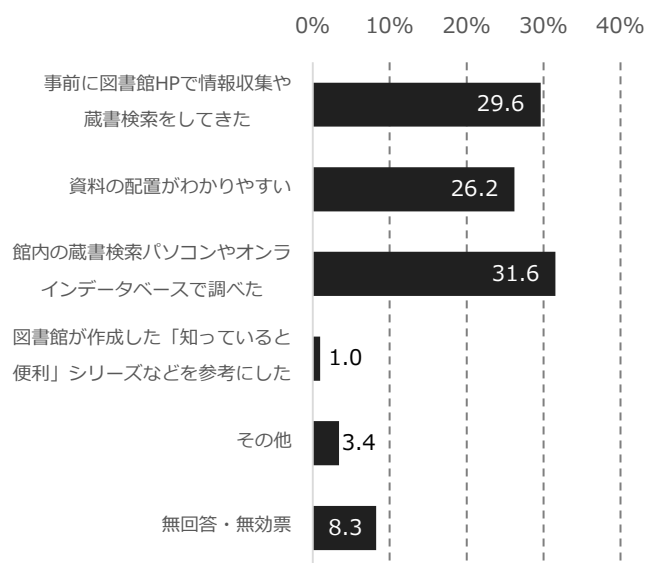
	件数	割合
レファレンス・サービスを知らなかった	219	28.3
自分自身で解決した	206	26.6
自習で来ているので不要	221	28.5
相談カウンターで聞きにくい	16	2.1
その他	29	3.7
無回答・無効票	84	10.8
全体	775	100.0



グラフ 9.2

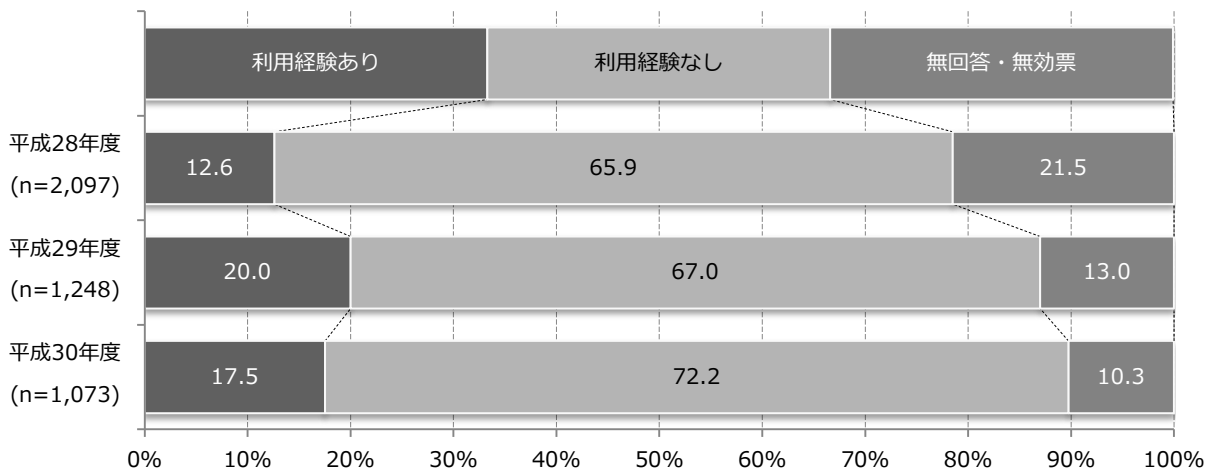
■表 9.3 『自分自身で解決した理由』 件数割合

	件数	割合
事前に図書館HPで情報収集や蔵書検索をしてきた	61	29.6
資料の配置がわかりやすい	54	26.2
館内の蔵書検索パソコンやオンラインデータベースで調べた	65	31.6
図書館が作成した「知っていると便利」シリーズなどを参考にした	2	1.0
その他	7	3.4
無回答・無効票	17	8.3
全体	206	100.0

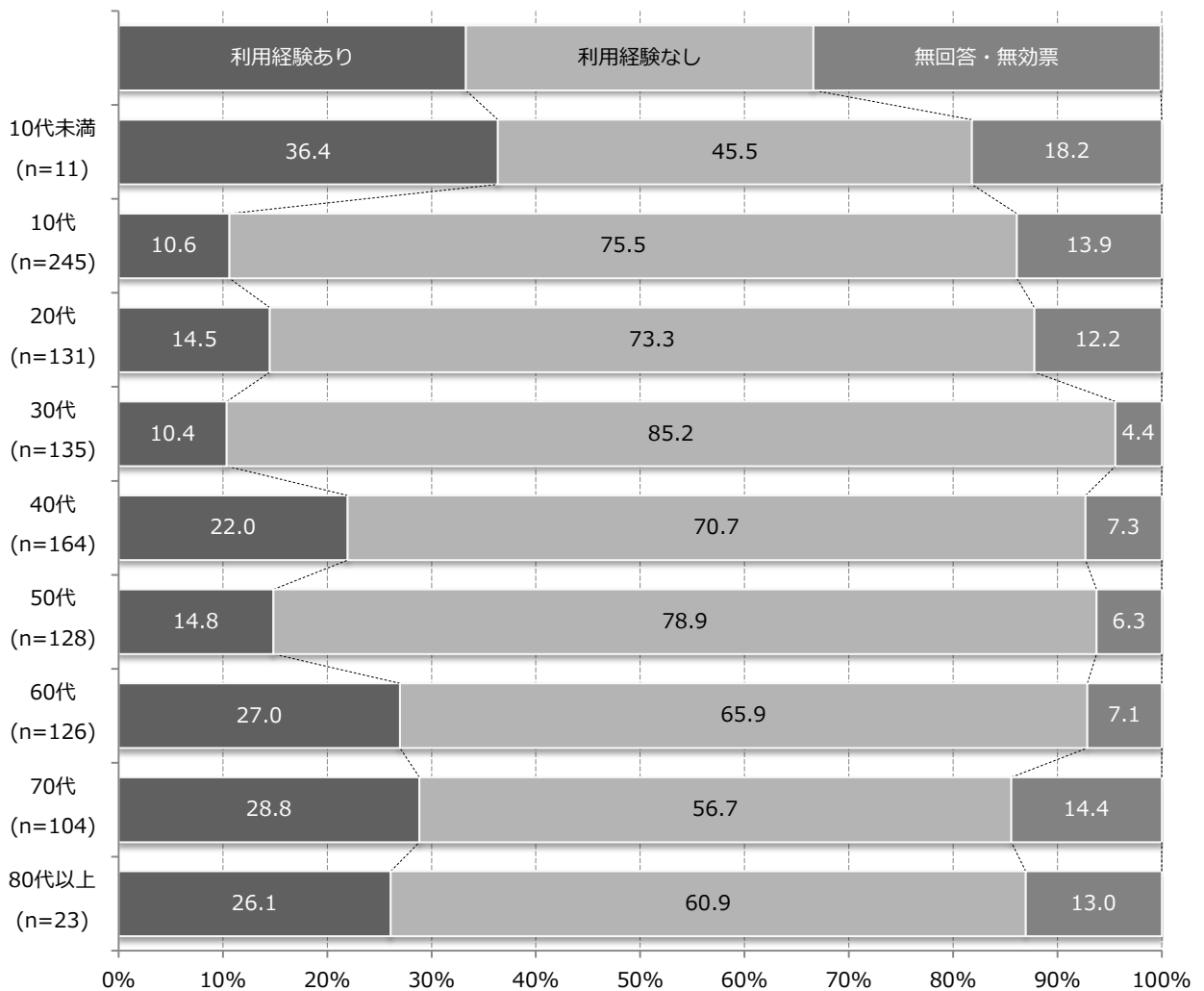


グラフ 9.3

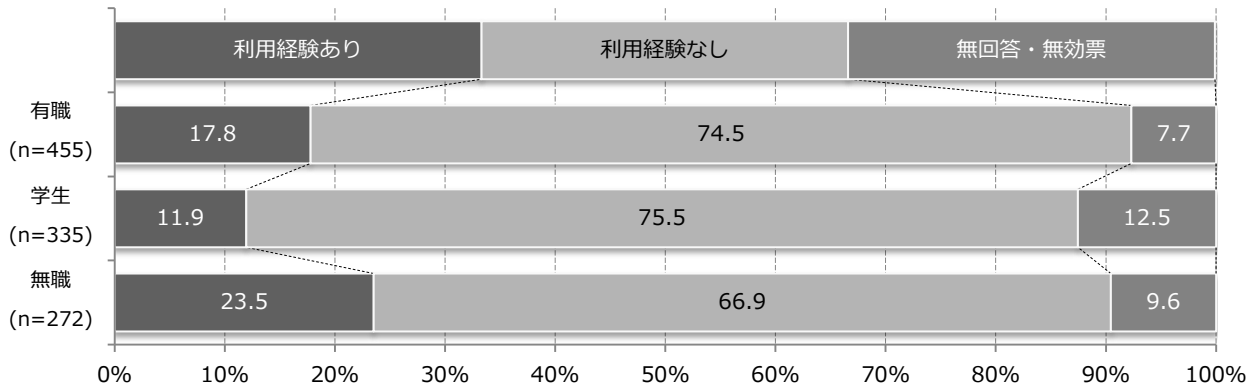
■ グラフ 9.4 『レファレンス・サービス利用状況』 過年度比較



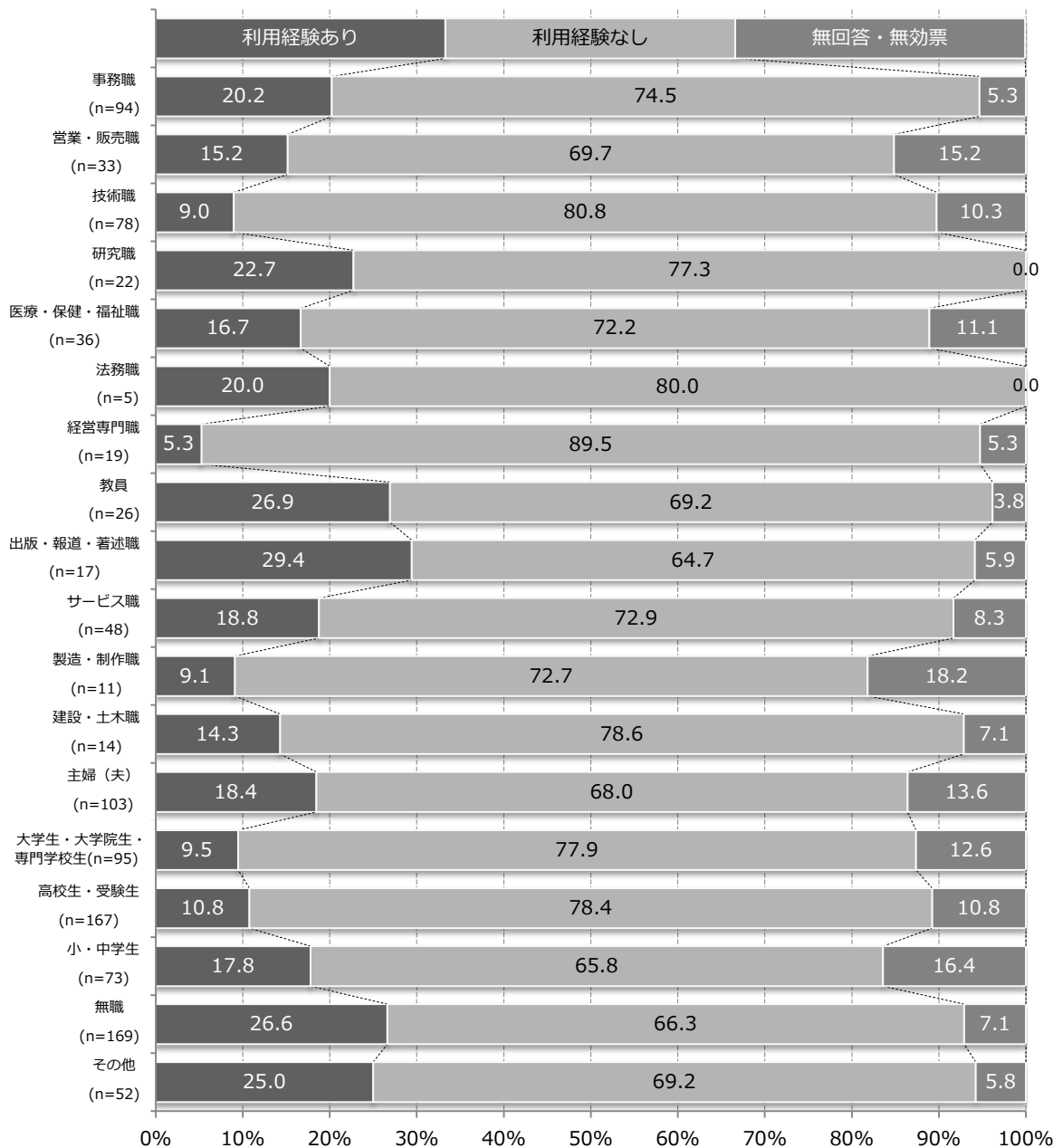
■ グラフ 9.5 『レファレンス・サービス利用状況』 年齢割合



■ グラフ 9.6 『レファレンス・サービス利用状況』 職業（3分類：有職・学生・無職）割合



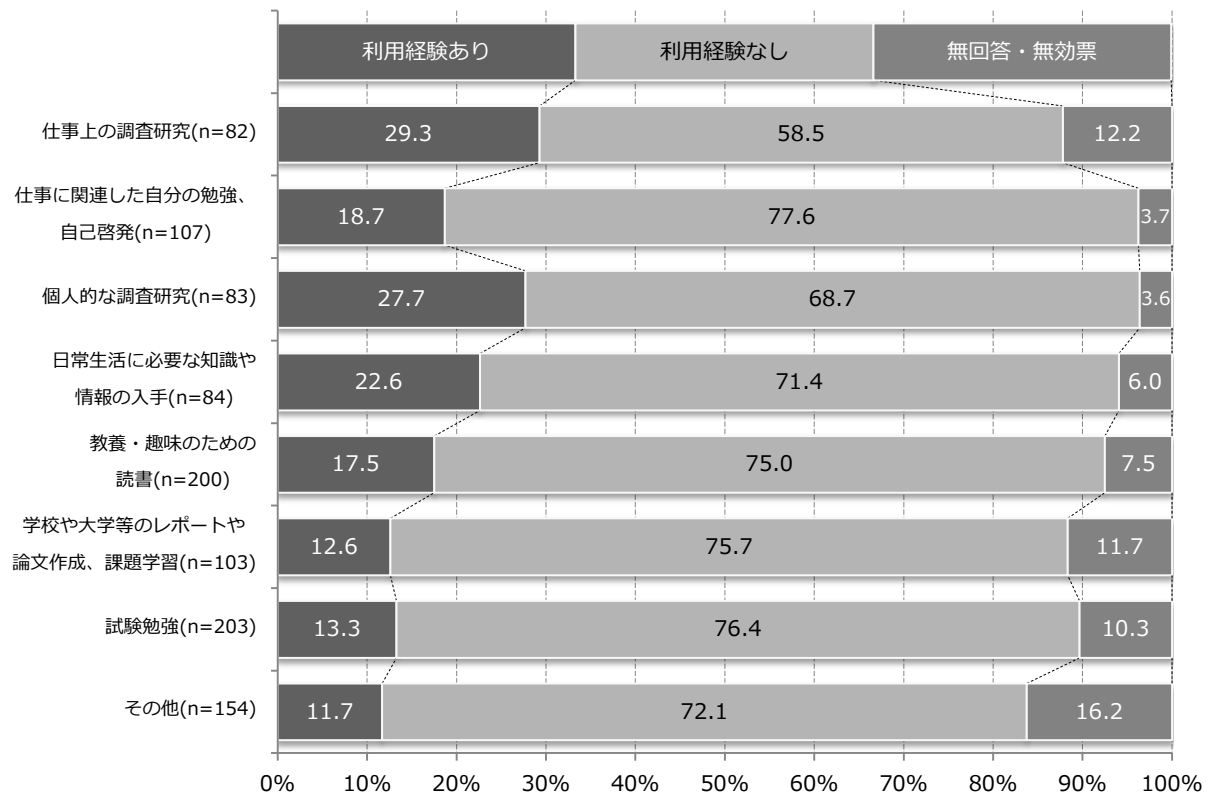
■ グラフ 9.7 『レファレンス・サービス利用状況』 職業（18分類）割合



■ グラフ 9.8 『レファレンス・サービス利用状況』 利用頻度割合



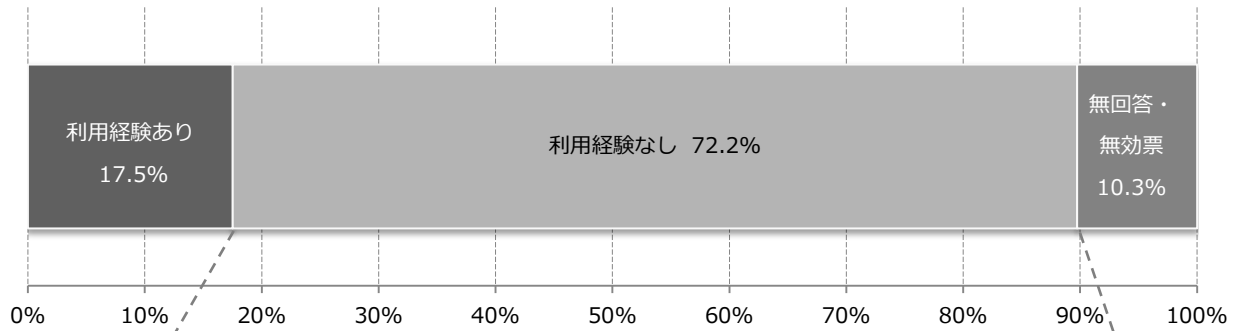
■ グラフ 9.9 『レファレンス・サービス利用状況』 利用目的割合



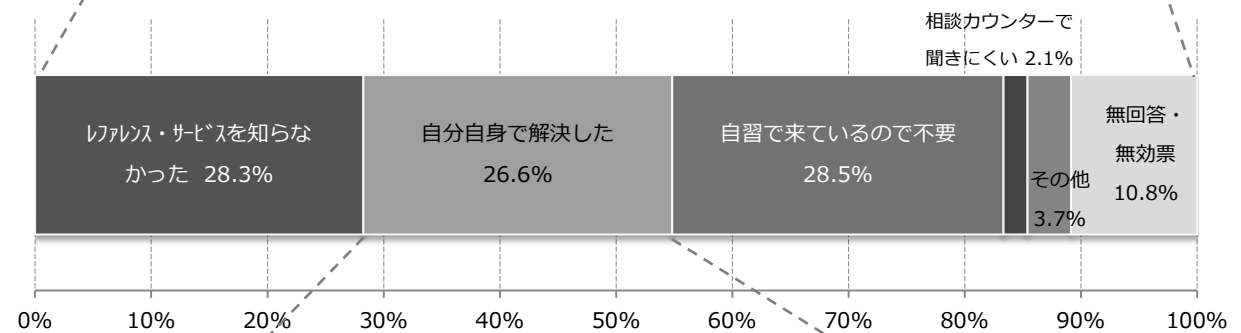
■グラフ 9.10 「レファレンス・サービス利用状況」

レファレンス・サービスを利用しないで、「自分自身で解決した」と回答した方の目的達成状況について

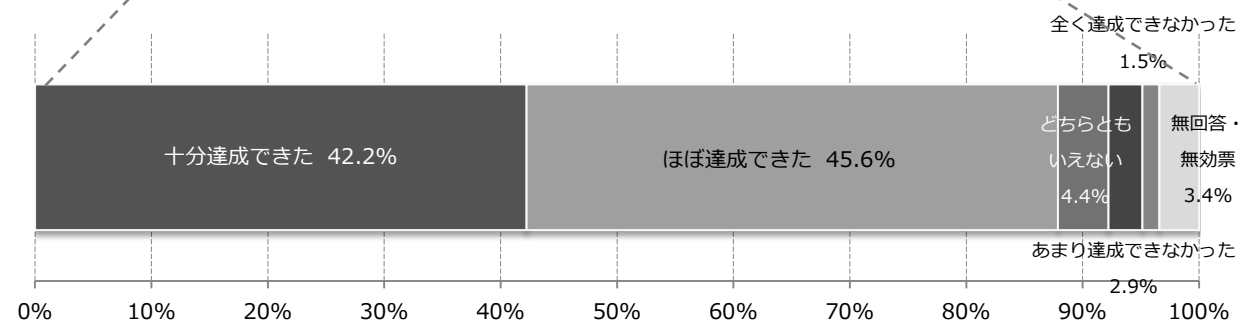
レファレンス・サービスの利用経験「なし」: 775名 72.2% (n=1,073)



利用しない理由「自分自身で解決した」: 206名 26.6% (n=775)



目的達成状況 (n=206)



●レファレンス・サービスについて

レファレンス・サービスの利用経験については、「利用経験あり」が188件・17.5%、「利用経験なし」が775件・72.2%となっている（表9.1、グラフ9.1）。サービスを利用しない理由としては、「自習で来ているので不要」が221件・28.5%、次いで「レファレンス・サービスを知らなかった」が219件・28.3%、「自分自身で解決した」が206件・26.6%となっている（表9.2、グラフ9.2）。「自分自身で解決した」理由として、「館内の蔵書検索パソコンやオンラインデータベースで調べた」が65件・31.6%、次いで「事前に図書館HPで情報収集や蔵書検索をしてきた」が61件・29.6%で多くなっている（表9.3、グラフ9.3）。

年齢別にみると、「利用経験あり」の割合が最も高いのが「10代未満」の36.4%であり、最も低いのが「30代」の10.4%となっている。（グラフ9.5）。

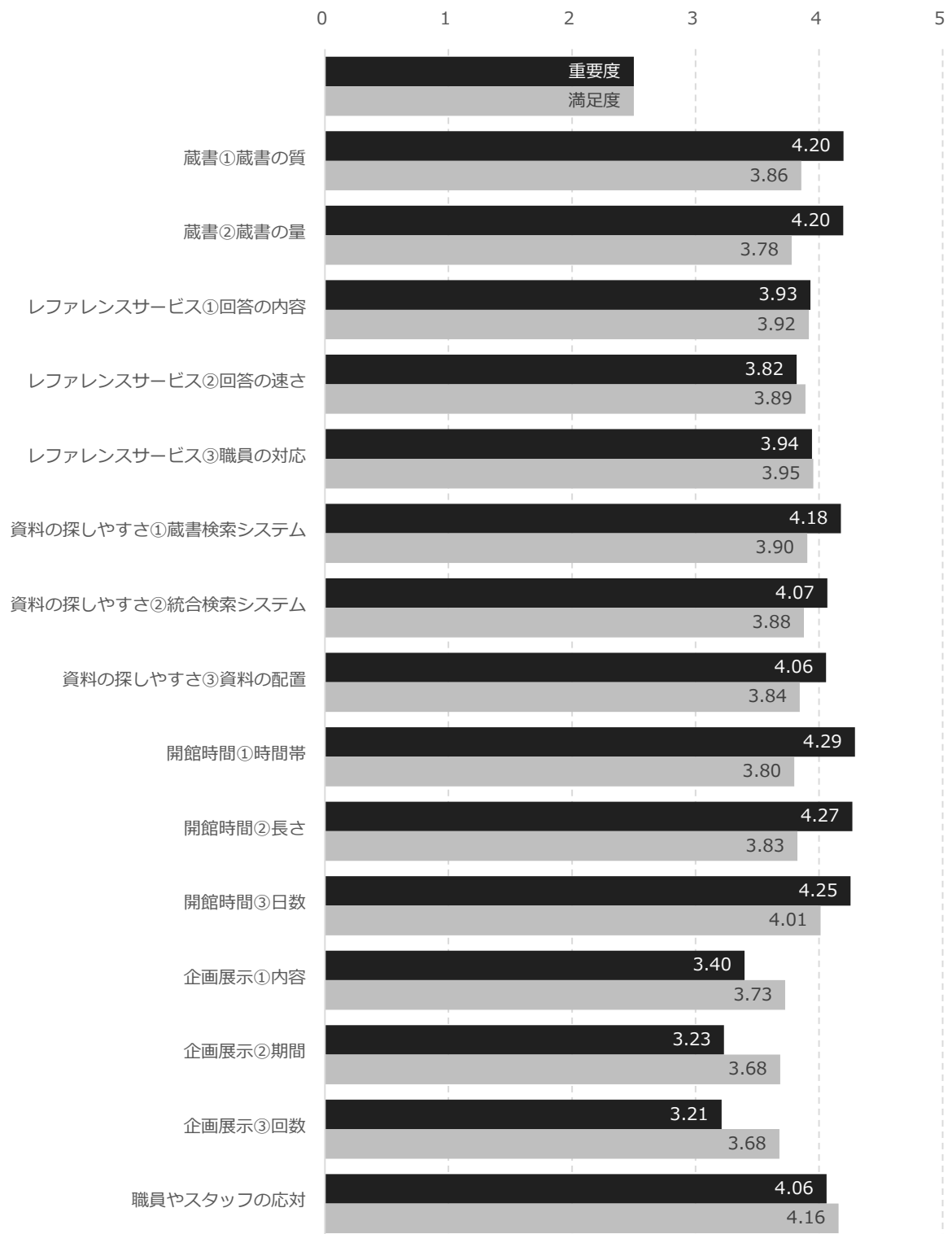
職業18分類別にみると、「利用経験あり」の割合が最も高いのが「出版・報道・著述職」の29.4%であり、最も低いのが「経営専門職」の5.3%となっている。（グラフ9.7）。

利用目的別にみると、「利用経験あり」の割合が最も高いのが、「仕事上の調査研究」29.3%、次いで「個人的な調査研究」27.7%となっている（グラフ9.9）。

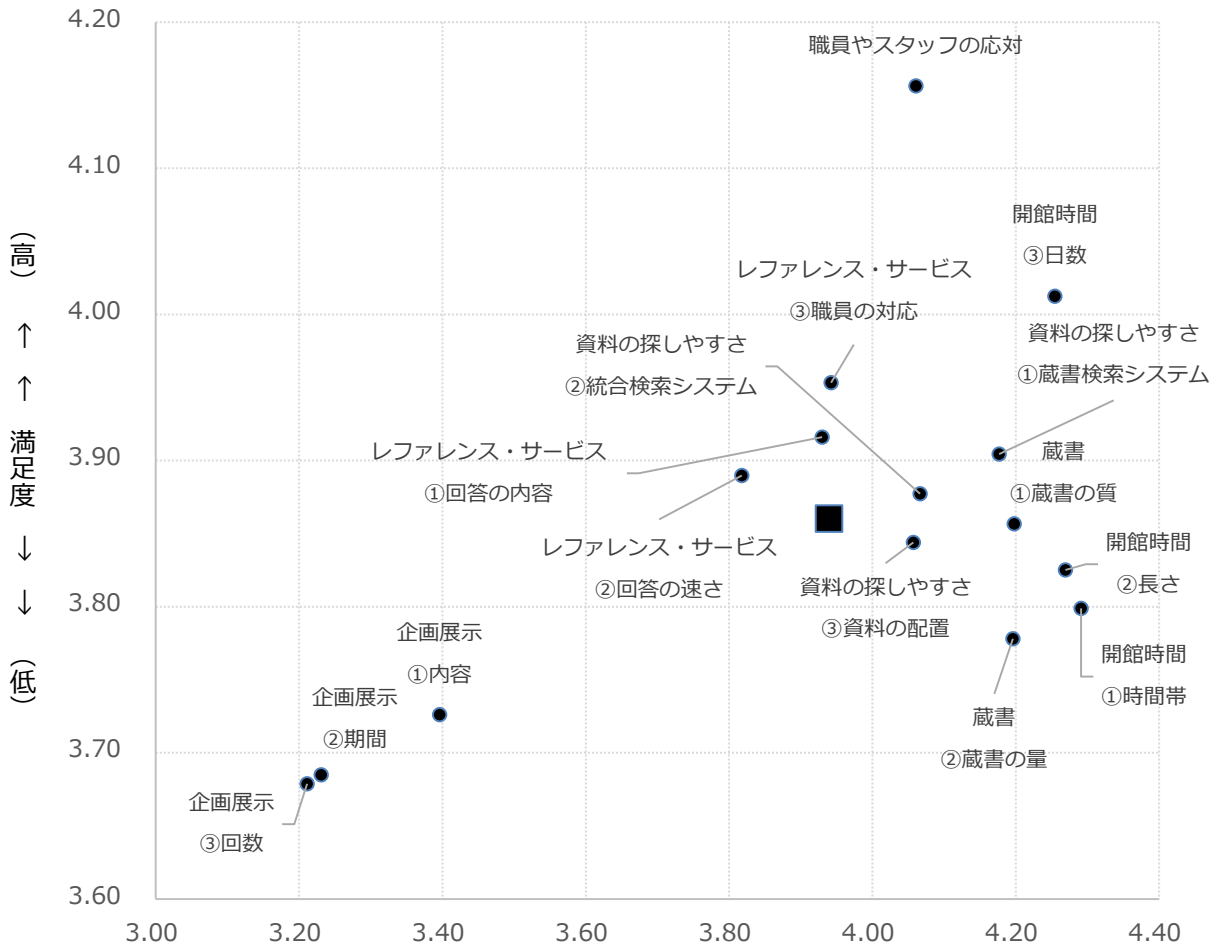
10. 重要度・満足度

【問9 この図書館のサービスの重要度と満足度について、「5・4・3・2・1」の5段階でお答えください。】

■ グラフ 10.1 『各サービスの重要度・満足度』評価点



■グラフ 10.2『各サービスの満足度・重要度』全体散布図



(低) ← ← 重要度 → → (高)

※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値

■表 10.1 『各サービスの重要度評価点』過年度比較

サービス		重要度評価点			評価点増減	
		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成28年度 からの増減 (30-28)	平成29年度 からの増減 (30-29)
蔵書	①蔵書の質	4.34	4.30	4.20	▼ 0.14	▼ 0.10
	②蔵書の量	4.36	4.30	4.20	▼ 0.16	▼ 0.10
レファレンスサービス	①回答の内容	3.92	3.98	3.93	△ 0.01	▼ 0.05
	②回答の速さ	3.75	3.89	3.82	△ 0.07	▼ 0.07
	③職員の対応	4.00	4.00	3.94	▼ 0.06	▼ 0.06
資料の探しやすさ	①蔵書検索システム	4.20	4.20	4.18	▼ 0.02	▼ 0.02
	②統合検索システム	4.08	4.09	4.07	▼ 0.01	▼ 0.02
	③資料の配置	4.10	4.07	4.06	▼ 0.04	▼ 0.01
開館時間	①時間帯	4.24	4.21	4.29	△ 0.05	△ 0.08
	②長さ	4.21	4.19	4.27	△ 0.06	△ 0.08
	③日数	4.22	4.21	4.25	△ 0.03	△ 0.04
企画展示	①内容	3.39	3.51	3.40	△ 0.01	▼ 0.11
	②期間	3.26	3.40	3.23	▼ 0.03	▼ 0.17
	③回数	3.21	3.38	3.21	△ 0.00	▼ 0.17
職員やスタッフの対応		4.14	4.15	4.06	▼ 0.08	▼ 0.09

※△は過年度より重要度評価点がアップしたもの。 ▼は過年度より重要度評価点がダウンしたもの。

■表 10.2 『各サービスの満足度評価点』過年度比較

サービス		満足度評価点			評価点増減	
		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成28年度 からの増減 (30-28)	平成29年度 からの増減 (30-29)
蔵書	①蔵書の質	3.81	3.96	3.86	△ 0.04	▼ 0.10
	②蔵書の量	3.68	3.88	3.78	△ 0.10	▼ 0.10
レファレンスサービス	①回答の内容	3.84	3.95	3.92	△ 0.08	▼ 0.03
	②回答の速さ	3.83	3.95	3.89	△ 0.06	▼ 0.06
	③職員の応対	3.91	3.97	3.95	△ 0.04	▼ 0.02
資料の探しやすさ	①蔵書検索システム	3.77	3.85	3.90	△ 0.13	△ 0.05
	②統合検索システム	3.75	3.82	3.88	△ 0.13	△ 0.06
	③資料の配置	3.74	3.84	3.84	△ 0.10	0.00
開館時間	①時間帯	3.81	3.74	3.80	▼ 0.01	△ 0.06
	②長さ	3.84	3.74	3.83	▼ 0.01	△ 0.09
	③日数	4.00	3.98	4.01	△ 0.01	△ 0.03
企画展示	①内容	3.59	3.71	3.73	△ 0.14	△ 0.02
	②期間	3.55	3.67	3.68	△ 0.13	△ 0.01
	③回数	3.53	3.67	3.68	△ 0.15	△ 0.01
職員やスタッフの応対		4.00	4.12	4.16	△ 0.16	△ 0.04

※△は過年度より満足度評価点がアップしたものの。 ▼は過年度より満足度評価点がダウンしたものの。

●各サービスの重要度・満足度について

各サービスの重要度については、「開館時間の時間帯」の評価点が 4.29 と最も高く、次いで「開館時間の長さ」の評価点が 4.27 と続いている。一方で「企画展示の回数」が 3.21 と最も低い評価点であり、「企画展示」は「内容」「期間」についても評価点が低くなった。

各サービスの満足度については、「職員やスタッフの応対」の評価点が 4.16 と最も高く、次いで「開館日数」の評価点が 4.01 と続いている。評価点が低くなったのは、「企画展示の期間」及び「回数」で 3.68 となった（グラフ 10.1）。

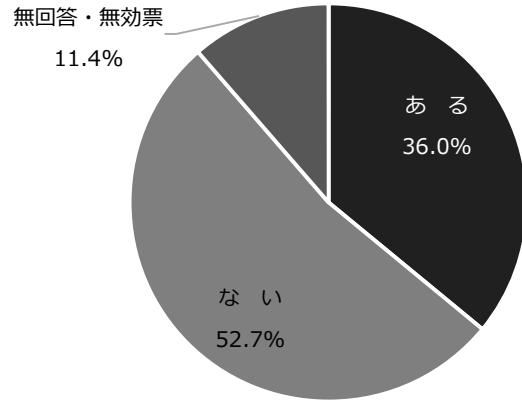
重要度評価点の過年度比較では、「開館時間」を除く全てのサービス項目で点数が減少している（表 10.1）。満足度評価点の過年度比較では、「蔵書」「レファレンス・サービス」で点数が減少しており、「資料の探しやすさ」「開館時間」「企画展示」「職員やスタッフの応対」では点数が増加した（表 10.2）。

11. 都立図書館のホームページ

【問 10 都立図書館ホームページに関しておたずねします。閲覧されたことはありますか。(1か2のどちらかに○)】

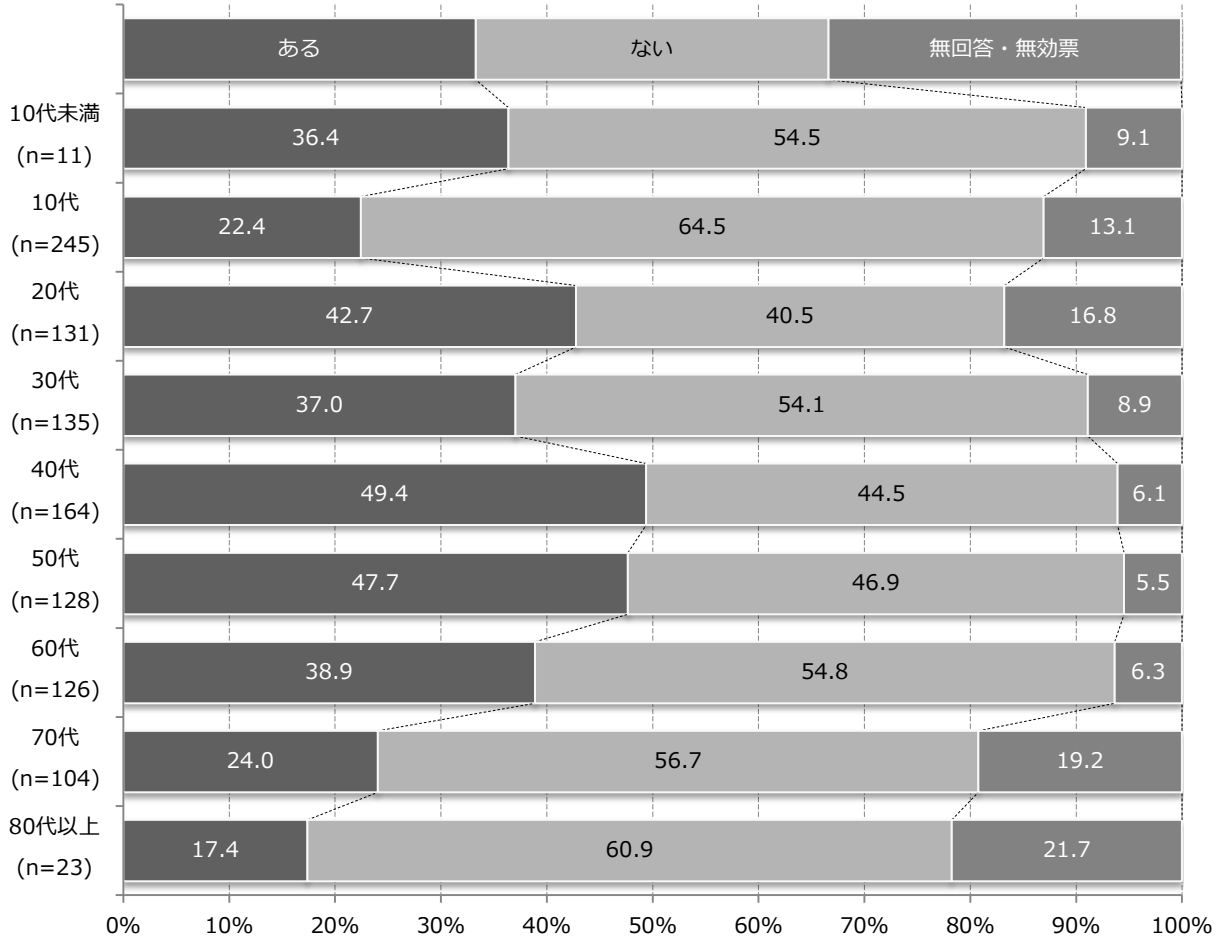
■表 11.1 『都立図書館のホームページ閲覧の有無』件数割合

	件数	割合
ある	386	36.0
ない	565	52.7
無回答・無効票	122	11.4
全体	1,073	100.0

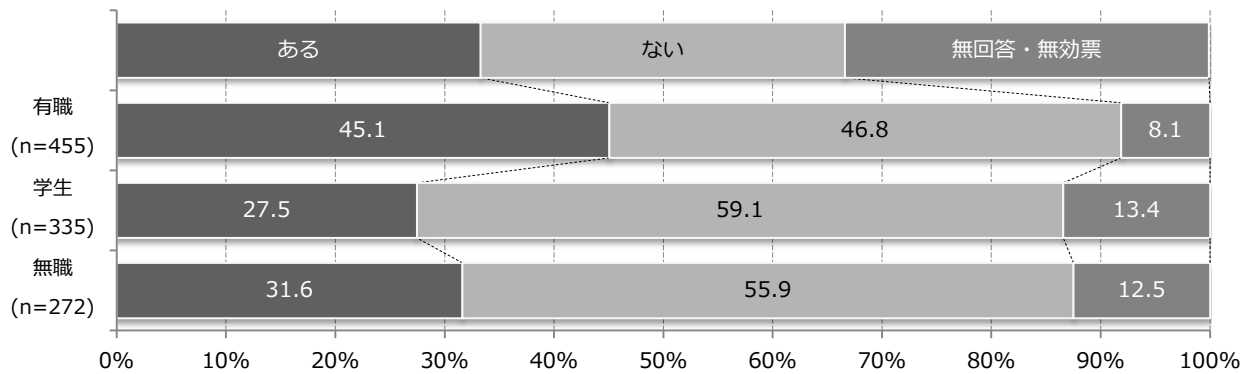


グラフ 11.1

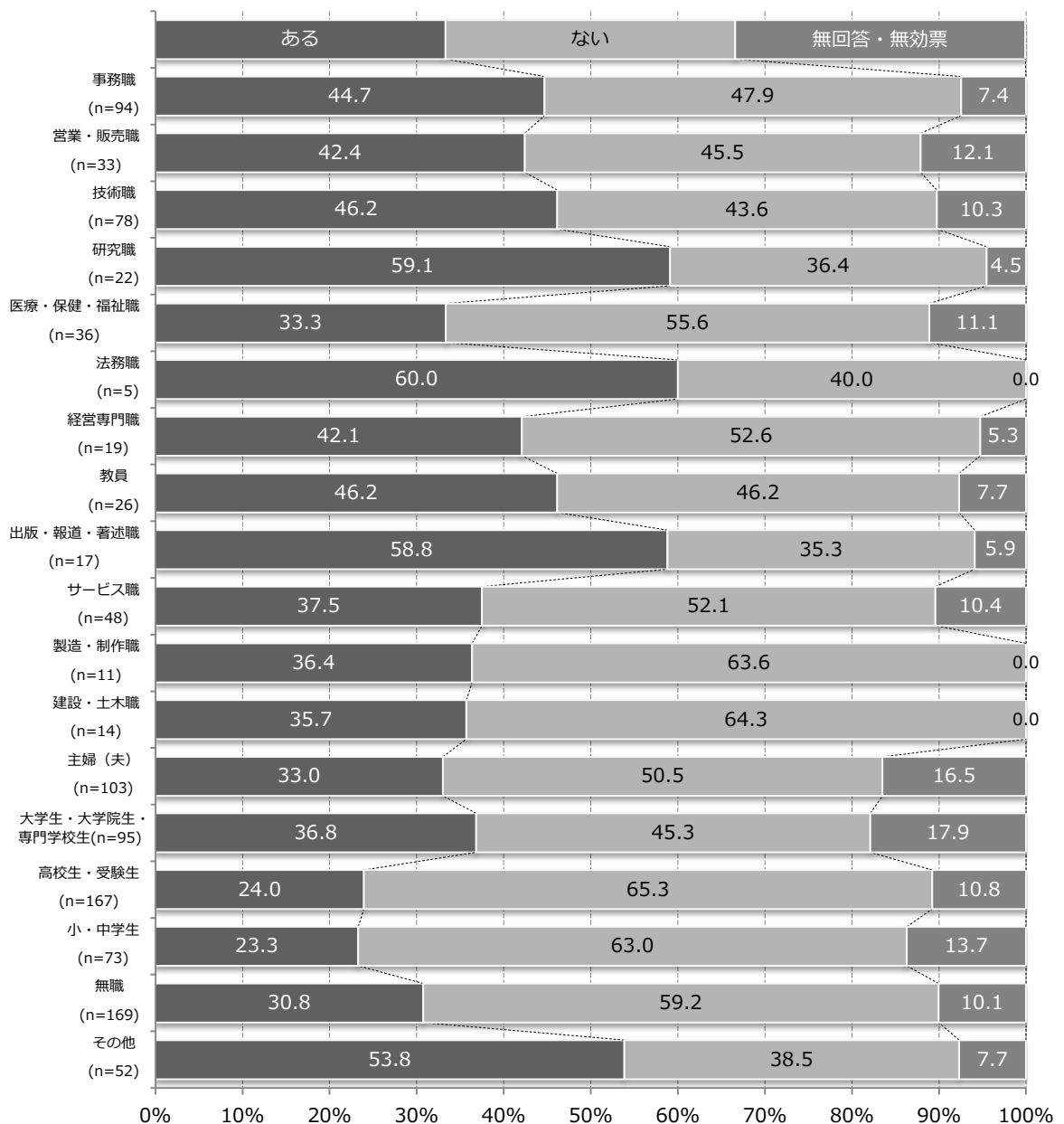
■グラフ 11.2 『都立図書館のホームページ閲覧の有無』年齢割合



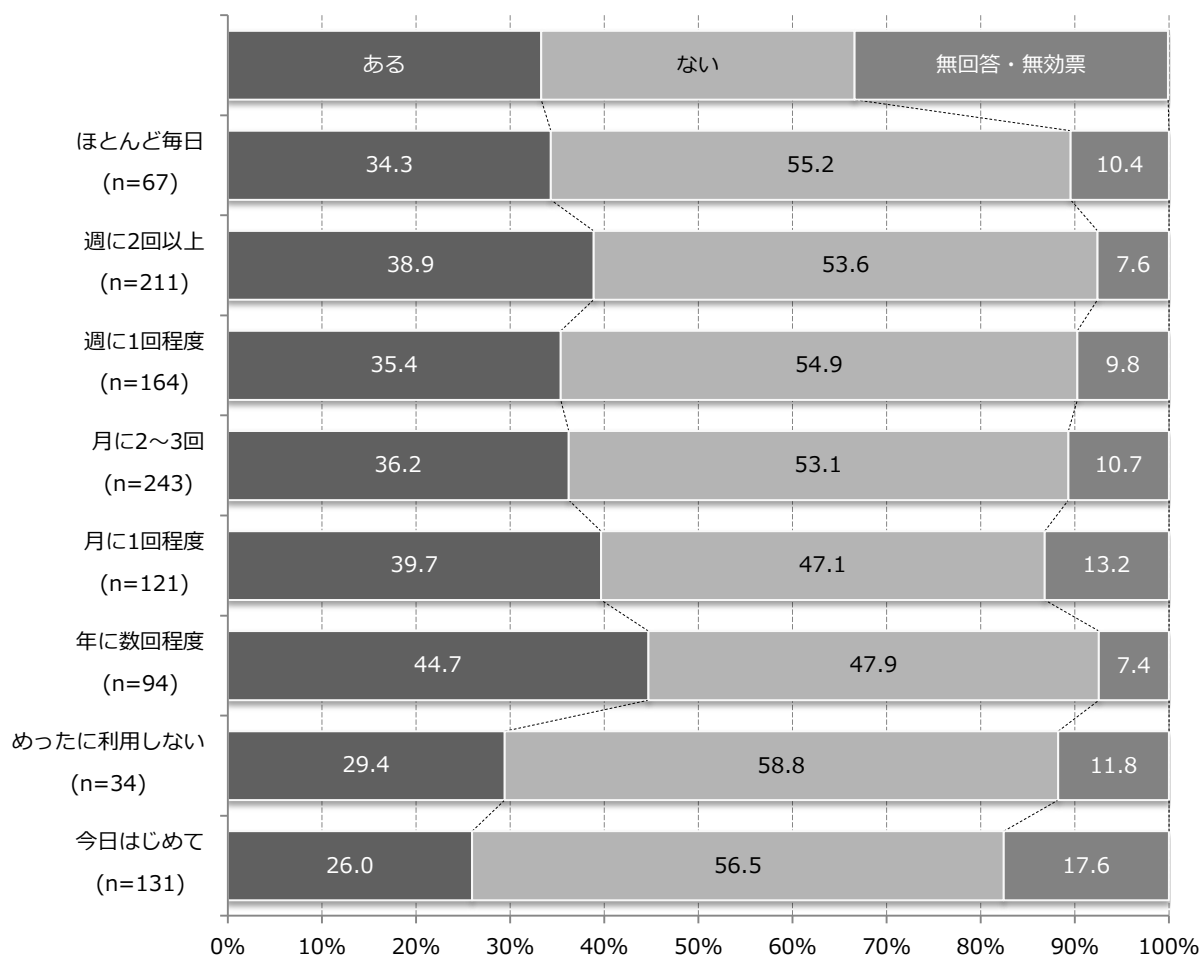
■ グラフ 11.3 『都立図書館のホームページ閲覧の有無』職業（3分類：有職・学生・無職）割合



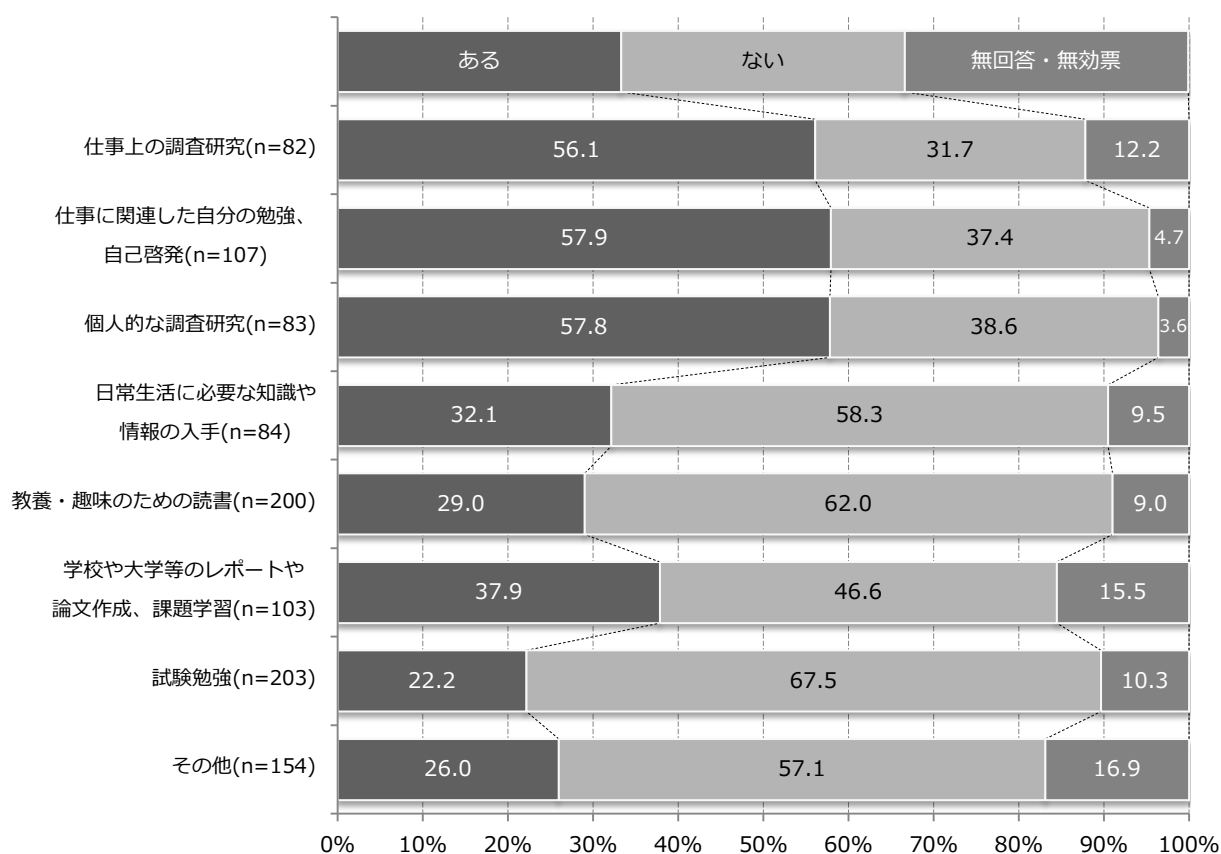
■ グラフ 11.4 『都立図書館のホームページ閲覧の有無』職業（18分類）割合



■ グラフ 11.5 『都立図書館のホームページ閲覧の有無』 利用頻度割合



■ グラフ 11.6 『都立図書館のホームページ閲覧の有無』利用目的割合



● 都立図書館のホームページの閲覧経験について

ホームページの閲覧経験については、「ある」が 386 件・36.0%で、「ない」が 565 件・52.7%となっている（表 11.1、グラフ 11.1）。

年齢別でみると、閲覧経験「ある」の割合が最も高いのが「40代」の49.4%で、それに対し、割合が低いのが「80代以上」の17.4%となっている（グラフ 11.2）。

職業3分類別にみると、閲覧経験「ある」では「有職」で45.1%、「学生」で27.5%、「無職」で31.6%であった（グラフ 11.3）。

利用頻度別にみると、閲覧経験「ある」の割合が最も高いのは、「年に数回程度」の44.7%であった（グラフ 11.5）。

利用目的別にみると、閲覧経験「ある」の割合が最も高いのは、「仕事に関連した自分の勉強、自己啓発」57.9%、次いで「個人的な調査研究」57.8%、「仕事上の調査研究」56.1%であった（グラフ 11.6）。

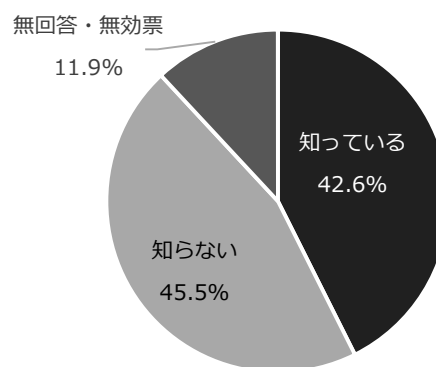
12. 東京マガジンバンク

【問 11 この図書館は、「東京マガジンバンク」の名称で一般雑誌から学術雑誌まで約1万8千誌を揃え、サービスを行っています。このサービスについてお答えください。】

【問 11-(1) 東京マガジンバンクを知っていましたか。】

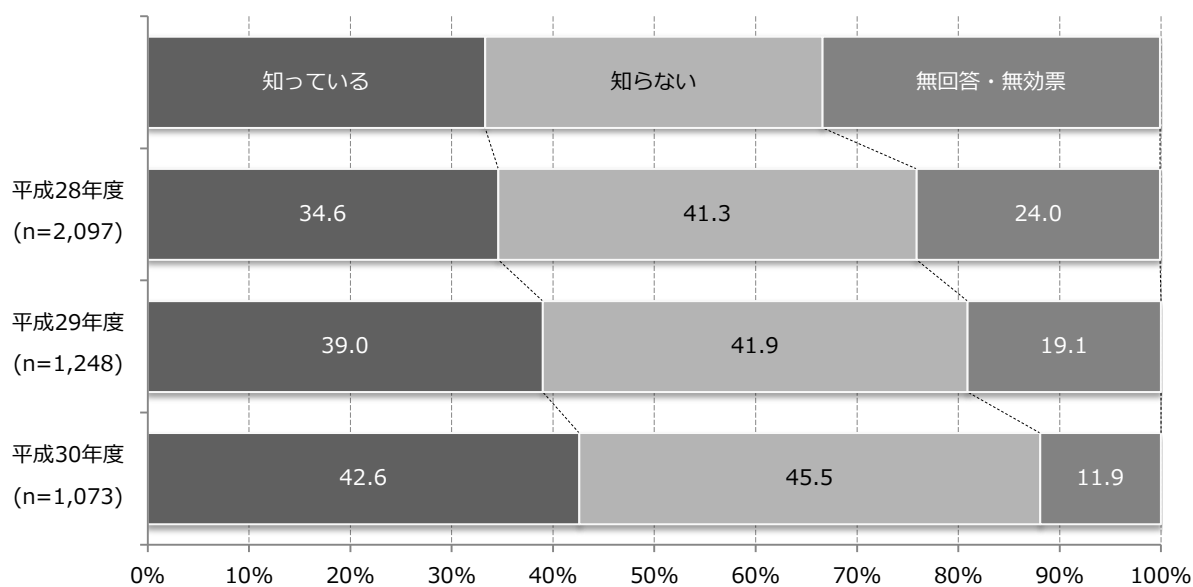
■表 12.1 『東京マガジンバンクの認知度』 件数割合

	件数	割合
知っている	457	42.6
知らない	488	45.5
無回答・無効票	128	11.9
全体	1,073	100.0

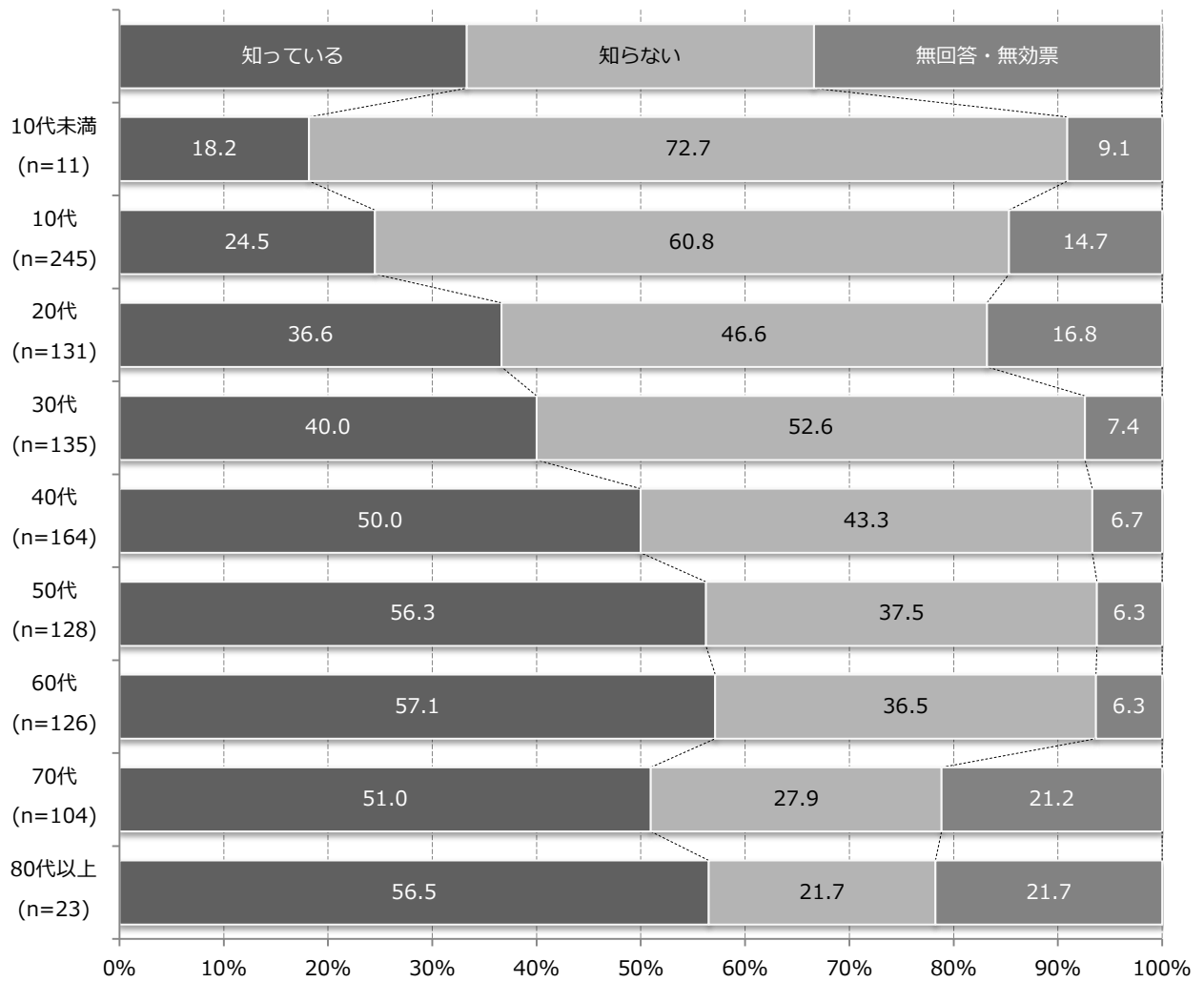


グラフ 12.1

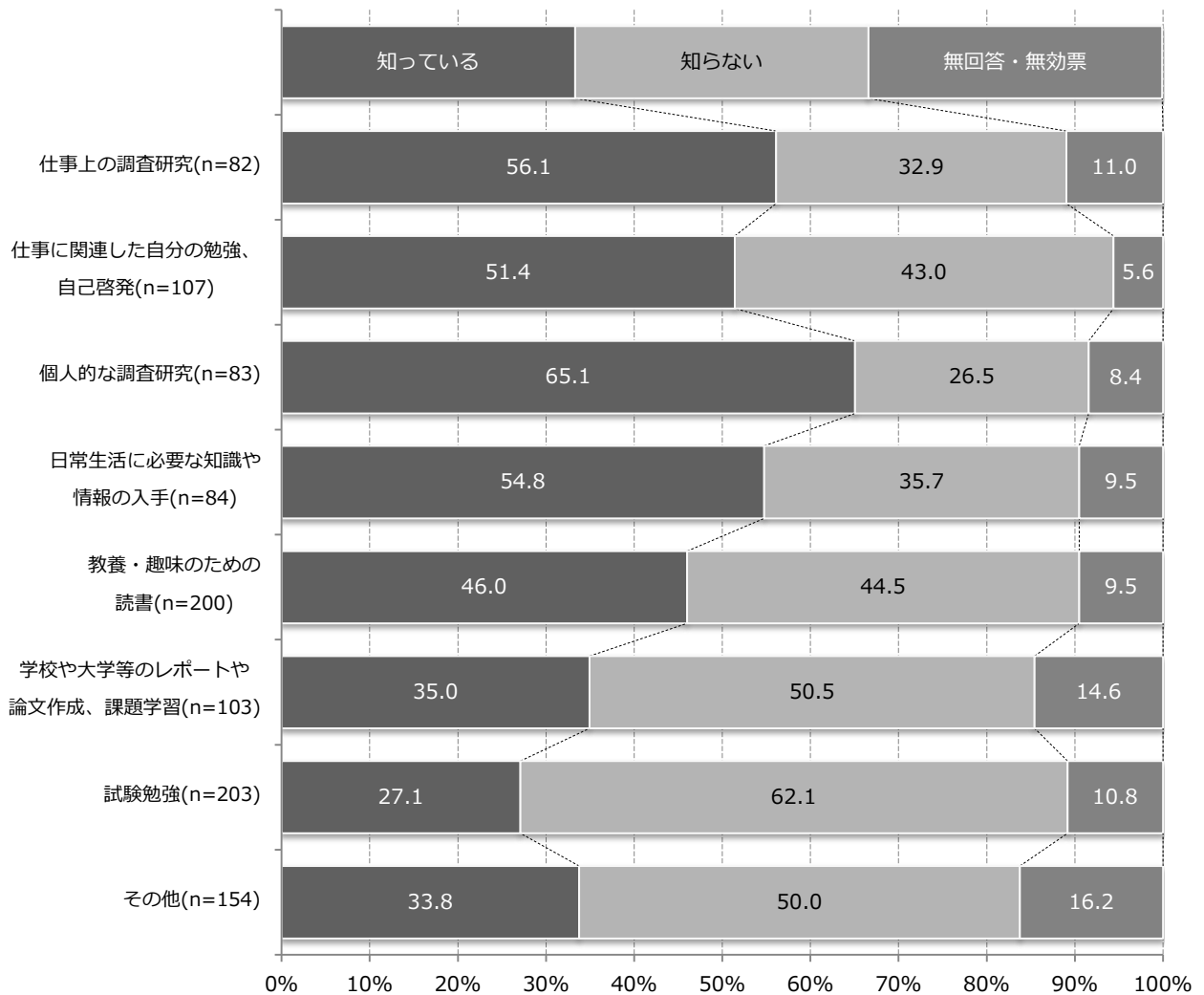
■グラフ 12.2 『東京マガジンバンクの認知度』 過年度比較



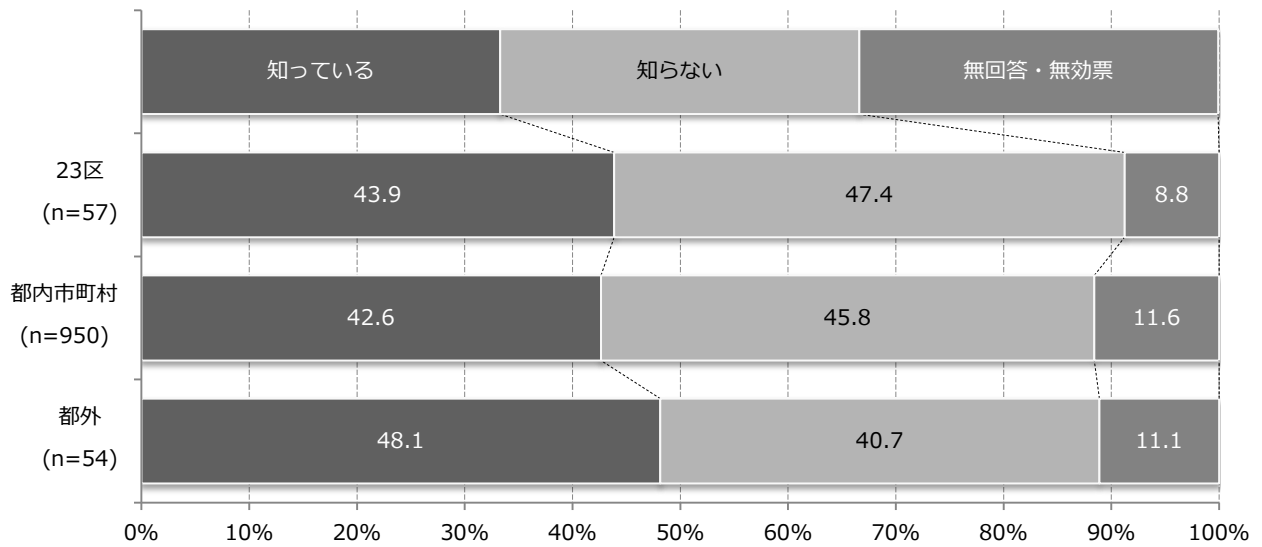
■ グラフ 12.3 『東京マガジンバンクの認知度』 年齢割合



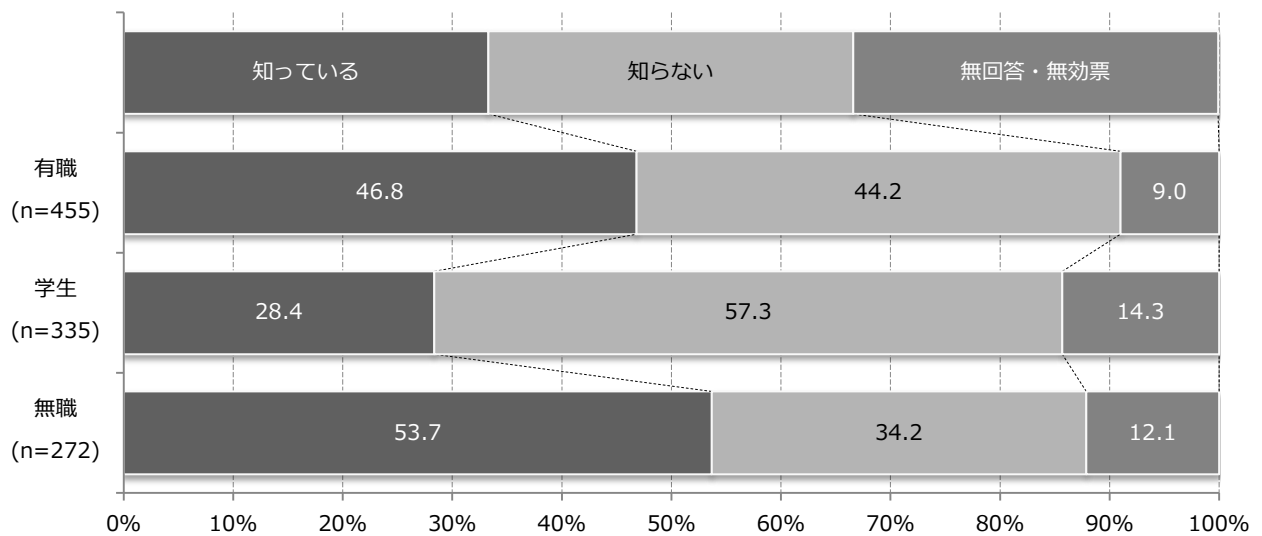
■ グラフ 12.4 『東京マガジンバンクの認知度』 利用目的割合



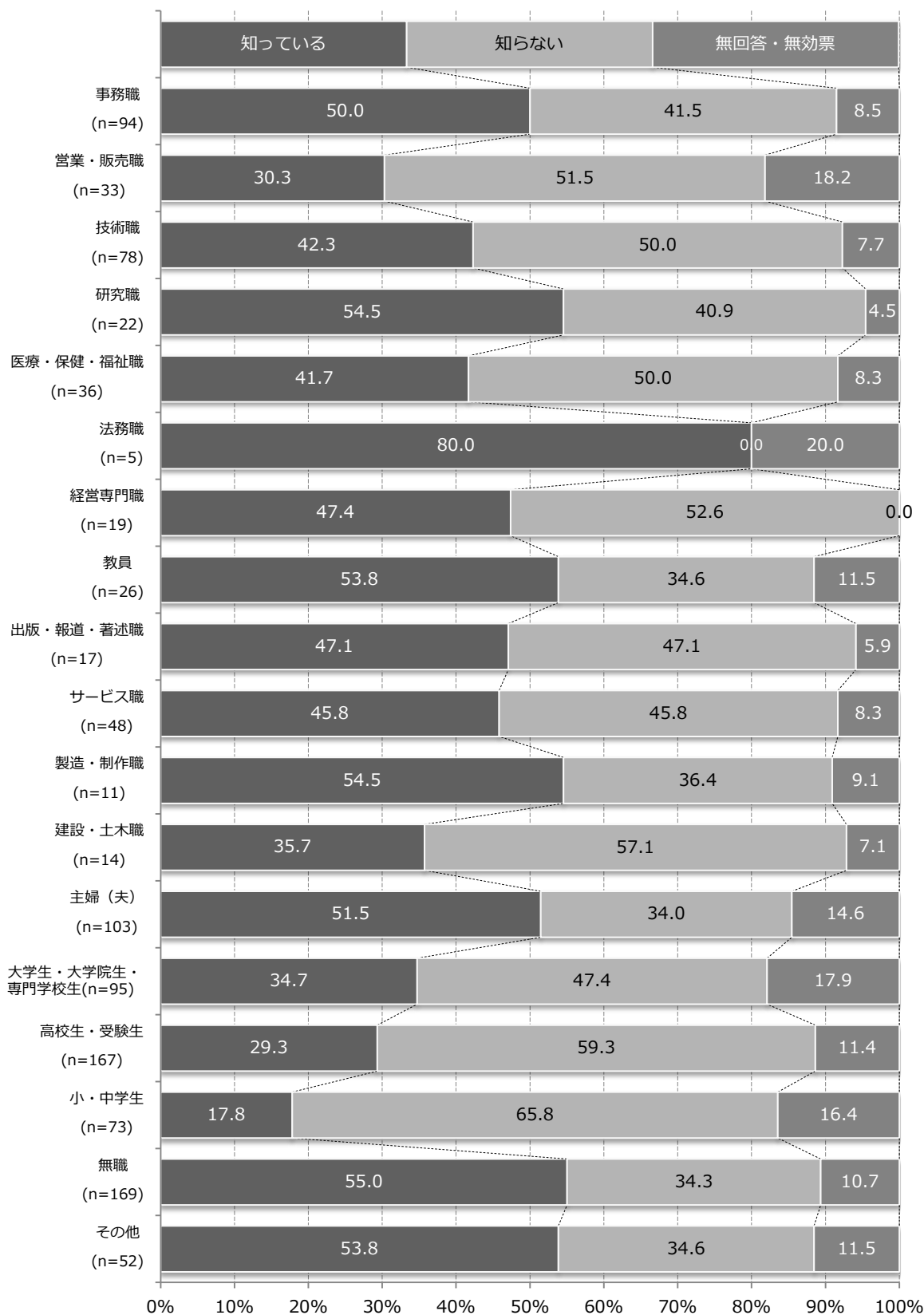
■ グラフ 12.5 『東京マガジンバンクの認知度』 居住地割合



■ グラフ 12.6 『東京マガジンバンクの認知度』 職業（3分類：有職・学生・無職）割合



■ グラフ 12.7 『東京マガジンバンクの認知度』職業（18 分類）割合



● 「東京マガジンバンク」の認知度について

「東京マガジンバンク」の認知度については、「知っている」が457件・42.6%、「知らない」が488件・45.5%となっている（表12.1、グラフ12.1）。

過年度比較でみると、「知っている」で、平成28年度より8.0%、平成29年度より3.6%の増加となっている（グラフ12.2）。

年齢別にみると、「知っている」の割合が最も高いのが「60代」の57.1%、次いで「80代以上」の56.5%で、最も割合が低いのが「10代未満」の18.2%となっている（グラフ12.3）。

利用目的別では、「知っている」の割合が最も高いのが「個人的の調査研究」の65.1%、最も割合が低いのが「試験勉強」の27.1%であった（グラフ12.4）。

居住地別では、「知っている」の割合が最も高いのが「都外」の48.1%であった（グラフ12.5）。

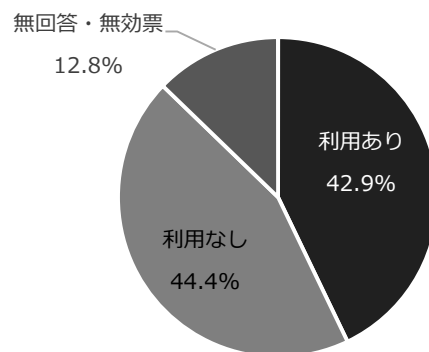
職業3分類別でみると、「知っている」の割合が最も高いのは「無職」の53.7%、次いで「有職」の46.8%で、「学生」は28.4%であった（グラフ12.6）。

職業18分類別では、「知っている」の割合が最も高いのは「法務職」の80.0%、次いで「無職」の55.0%であった（グラフ12.7）。

【問 11-(2) 東京マガジンバンクを利用したことがありますか。】

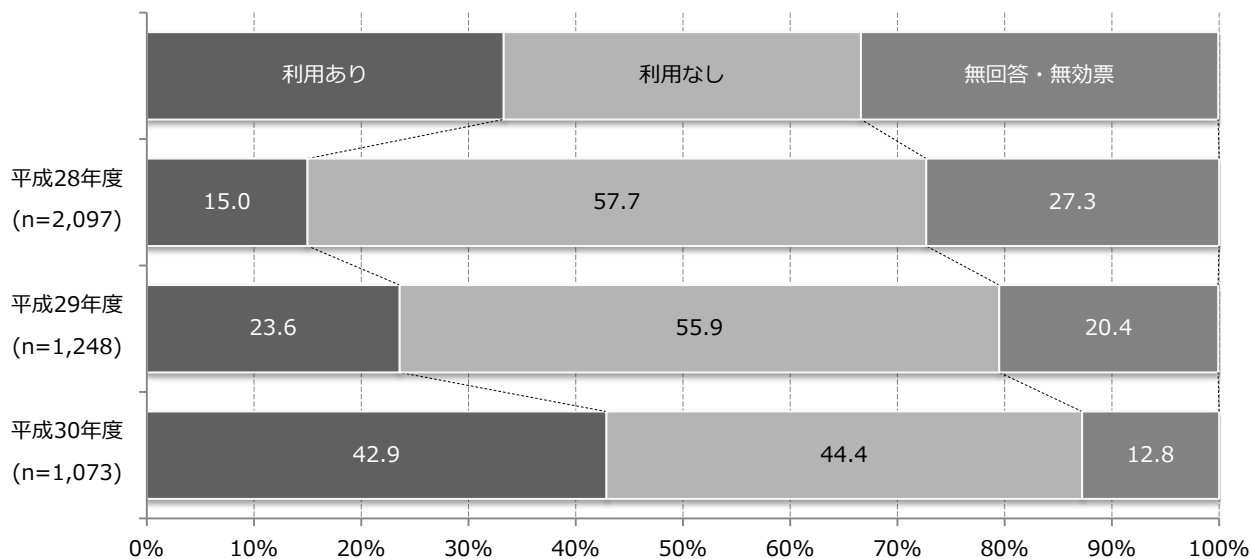
■表 12.2 『東京マガジンバンクの利用有無』 件数割合

	件数	割合
利用あり	460	42.9
利用なし	476	44.4
無回答・無効票	137	12.8
全 体	1,073	100.0

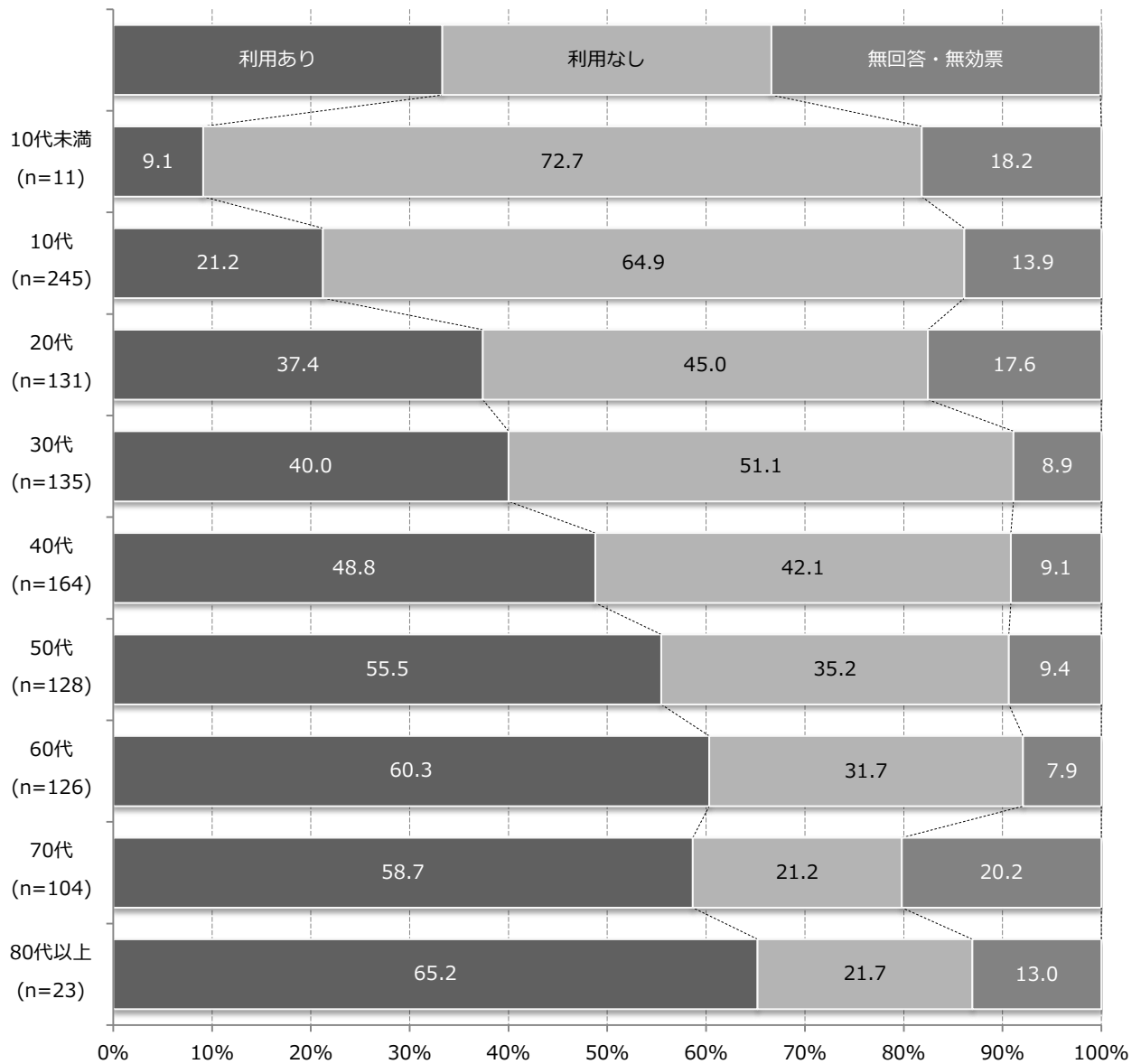


グラフ 12.8

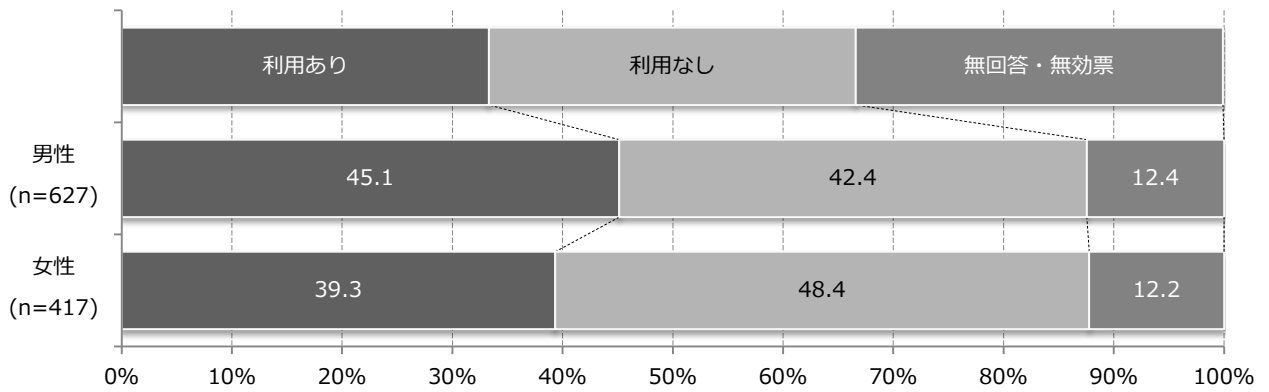
■グラフ 12.9 『東京マガジンバンクの利用有無』 過年度比較



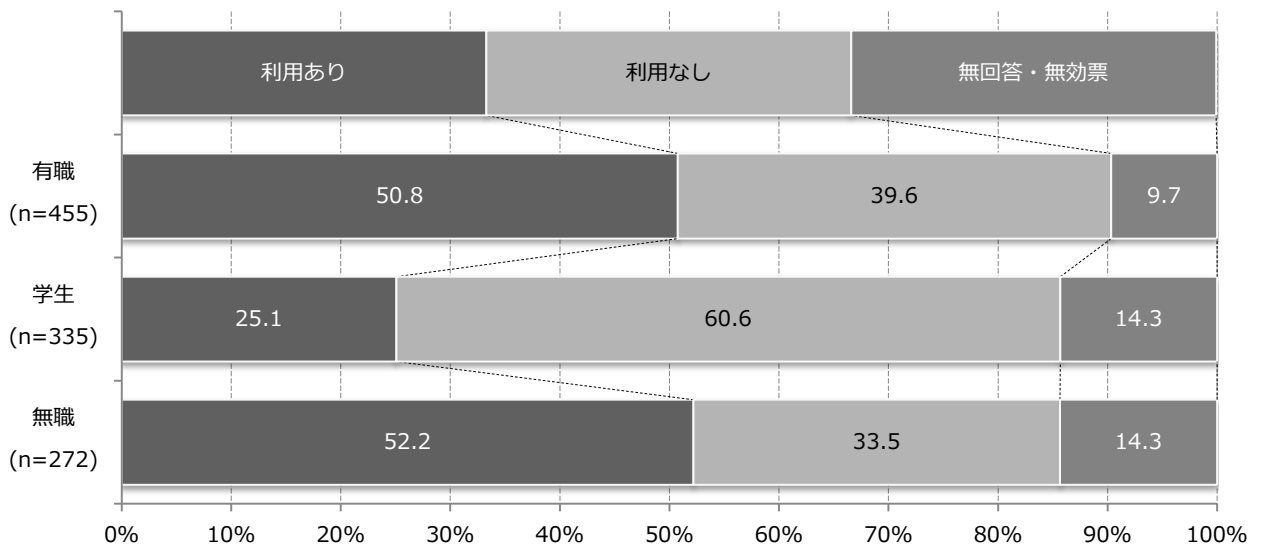
■ グラフ 12.10 『東京マガジンバンクの利用有無』 年齢割合



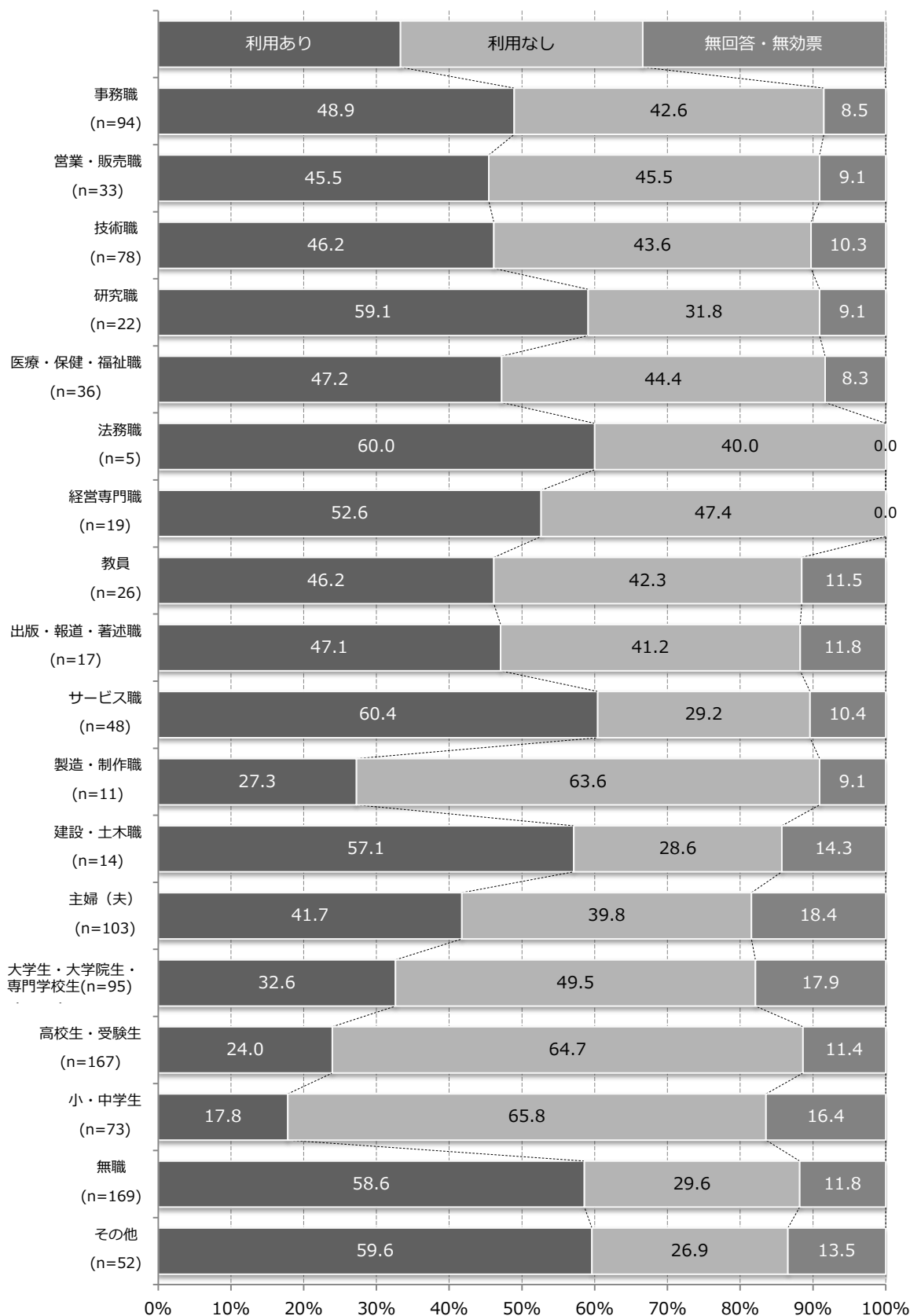
■ グラフ 12.11 『東京マガジンバンクの利用有無』 性別割合



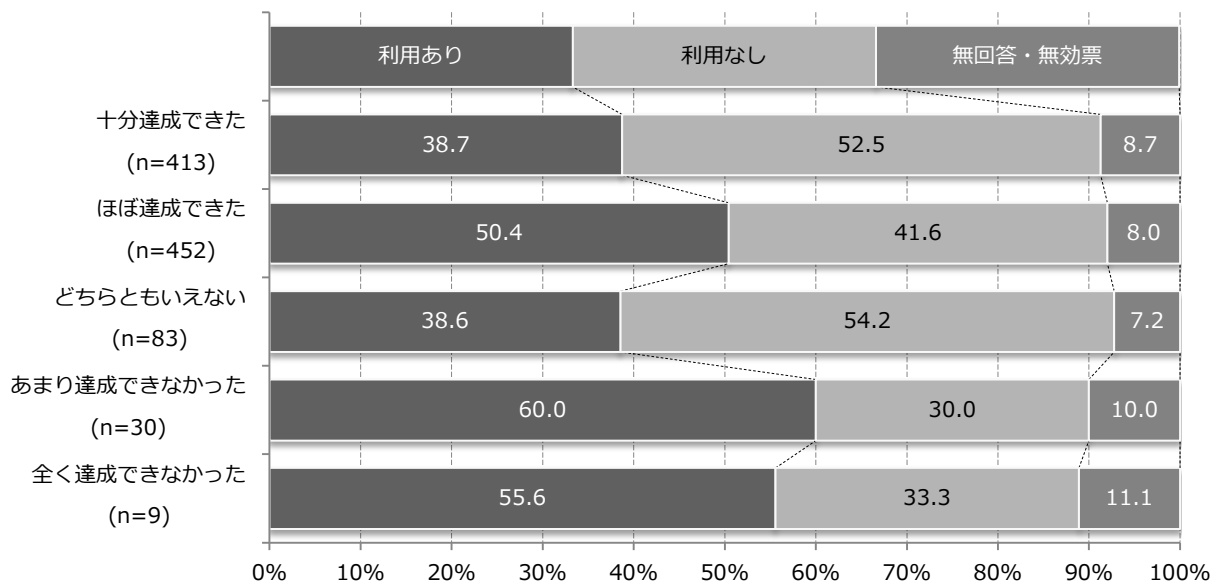
■ グラフ 12.12 『東京マガジンバンクの利用有無』 職業（3分類：有職・学生・無職）割合



■ グラフ 12.13 『東京マガジンバンクの利用有無』職業（18分類）割合

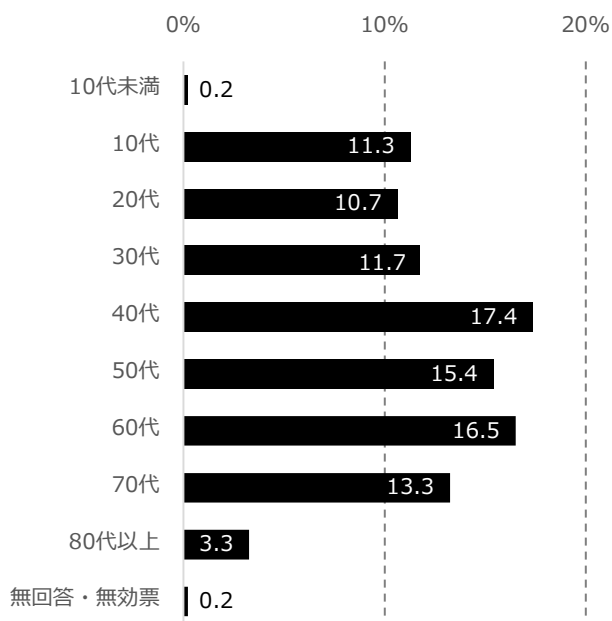


■ グラフ 12.14 『東京マガジンバンクの利用有無』 目的達成状況割合



■ 表 12.3 『東京マガジンバンクの利用あり』 年齢件数割合

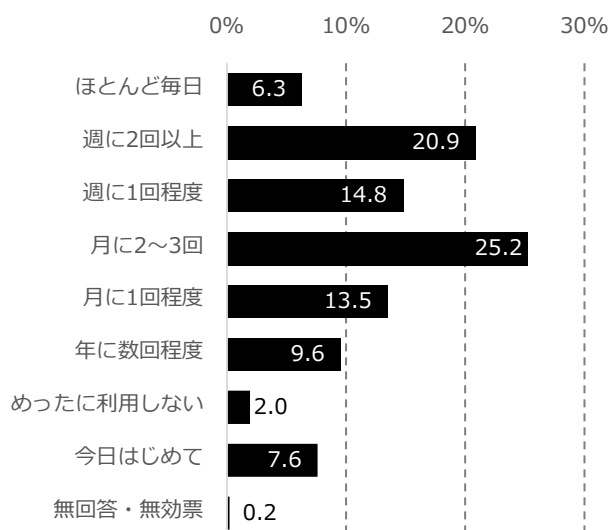
	件数	割合
10代未満	1	0.2
10代	52	11.3
20代	49	10.7
30代	54	11.7
40代	80	17.4
50代	71	15.4
60代	76	16.5
70代	61	13.3
80代以上	15	3.3
無回答・無効票	1	0.2
全体	460	100



グラフ 12.15

■表 12.4 『東京マガジンバンクの利用あり』利用頻度件数割合

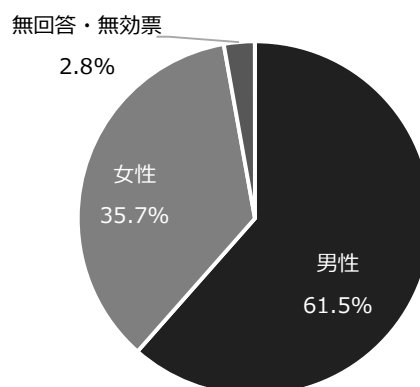
	件数	割合
ほとんど毎日	29	6.3
週に2回以上	96	20.9
週に1回程度	68	14.8
月に2~3回	116	25.2
月に1回程度	62	13.5
年に数回程度	44	9.6
めったに利用しない	9	2.0
今日初めて	35	7.6
無回答・無効票	1	0.2
全体	460	100.0



グラフ 12.16

■表 12.5 『東京マガジンバンクの利用あり』性別件数割合

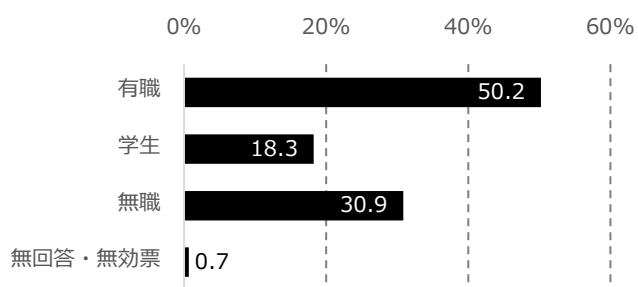
	件数	割合
男性	283	61.5
女性	164	35.7
無回答・無効票	13	2.8
全体	460	100.0



グラフ 12.17

■表 12.6 『東京マガジンバンクの利用あり』職業（3分類：有職・学生・無職）件数割合

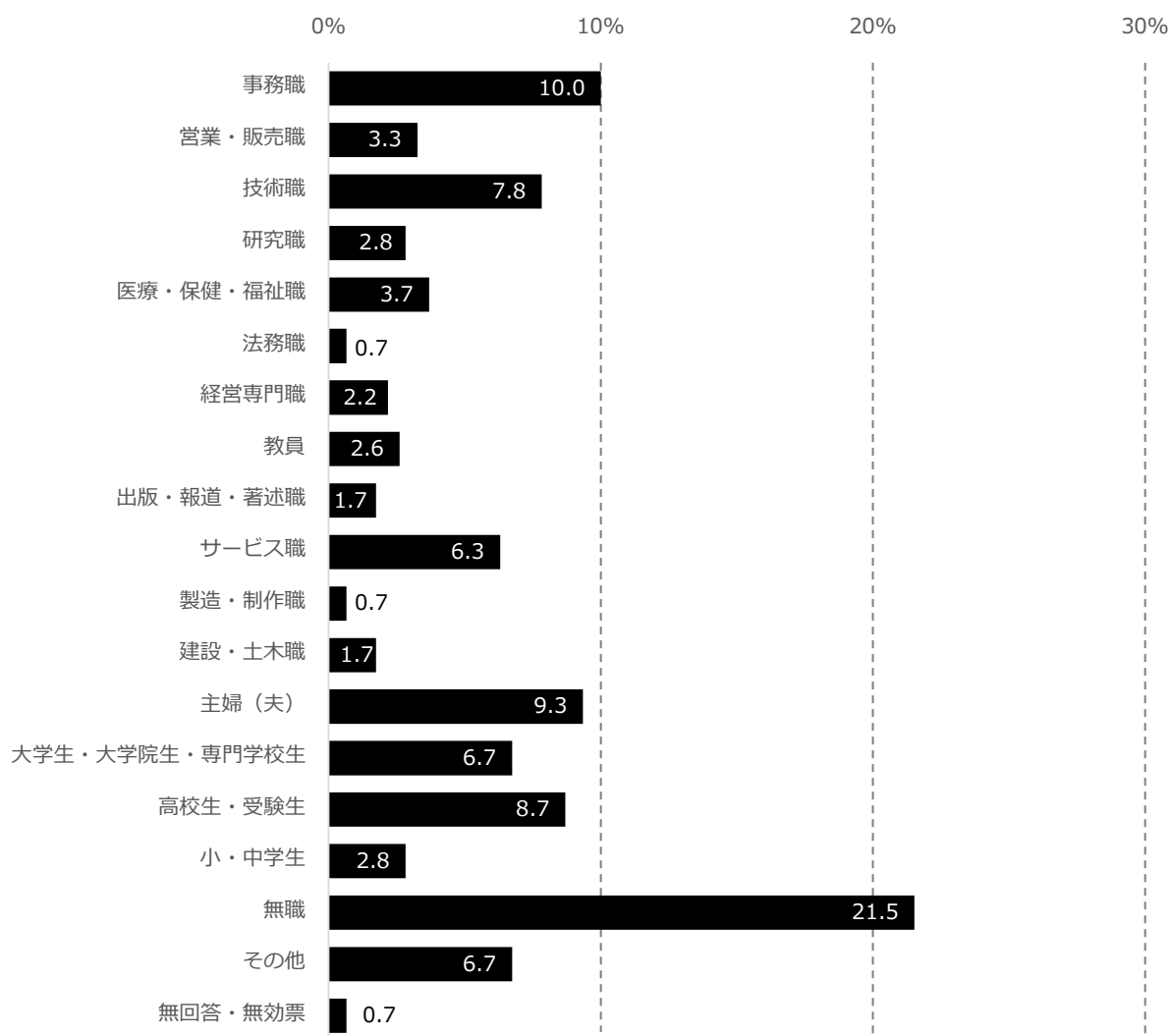
	件数	割合
有職	231	50.2
学生	84	18.3
無職	142	30.9
無回答・無効票	3	0.7
全体	460	100.0



グラフ 12.18

■表 12.7 『東京マガジンバンクの利用あり』職業（18 分類）件数割合

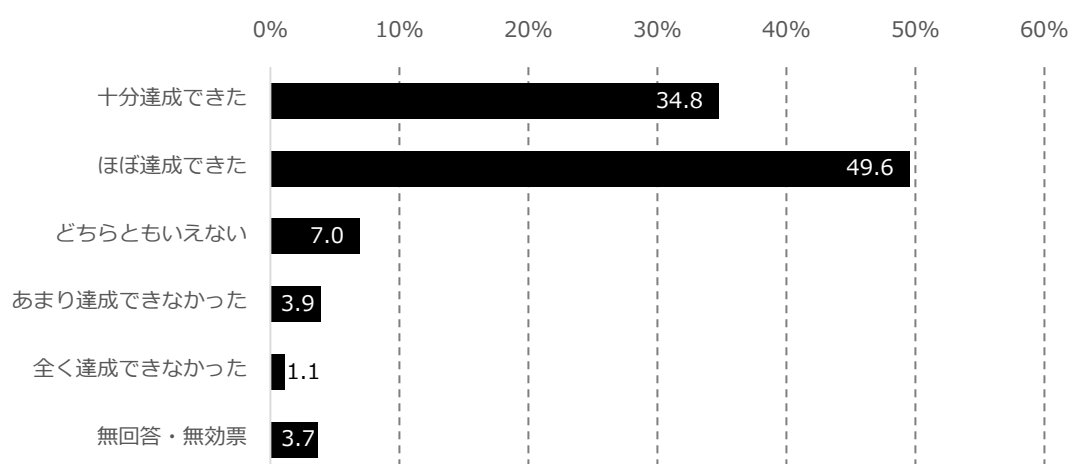
	件数	割合		件数	割合
事務職	46	10.0	製造・制作職	3	0.7
営業・販売職	15	3.3	建設・土木職	8	1.7
技術職	36	7.8	主婦（夫）	43	9.3
研究職	13	2.8	大学生・大学院生・専門学校生	31	7.0
医療・保健・福祉職	17	3.7	高校生・受験生	40	8.7
法務職	3	0.7	小・中学生	13	2.6
経営専門職	10	2.2	無職	99	21.5
教員	12	2.6	その他	31	6.7
出版・報道・著述職	8	1.7	無回答・無効票	3	0.7
サービス職	29	6.3			
			全 体	460	100.0



グラフ 12.19

■表 12.8 『東京マガジンバンクの利用あり』 目的達成状況件数割合

	件 数	割 合
十分達成できた	160	34.8
ほぼ達成できた	228	49.6
どちらともいえない	32	7.0
あまり達成できなかった	18	3.9
全く達成できなかった	5	1.1
無回答・無効票	17	3.7
全 体	460	100



グラフ 12.20

● 「東京マガジンバンク」の利用について

「東京マガジンバンク」の利用有無については、「利用あり」が460件・42.9%、「利用なし」が476件・44.4%となっている（表 12.2、グラフ 12.8）。

「利用あり」の回答から利用頻度をみると、「月に2～3回」が116件・25.2%と最も割合が高く、次いで「週に2回以上」が96件・20.9%、「週に1回程度」が68件・14.8%となっている（表 12.4、グラフ 12.16）。

年齢別にみると、「利用あり」の割合が最も高いのが「80代以上」で65.2%、次いで「60代」60.3%で、概ね年齢が上がるほど利用割合も上昇している（グラフ 12.10）。

職業3分類別にみると、「利用あり」の割合が最も高いのが「無職」で52.2%となっている（グラフ 12.12）。

【問 11-(3) 利用した雑誌は次のどれですか。(複数回答可)】

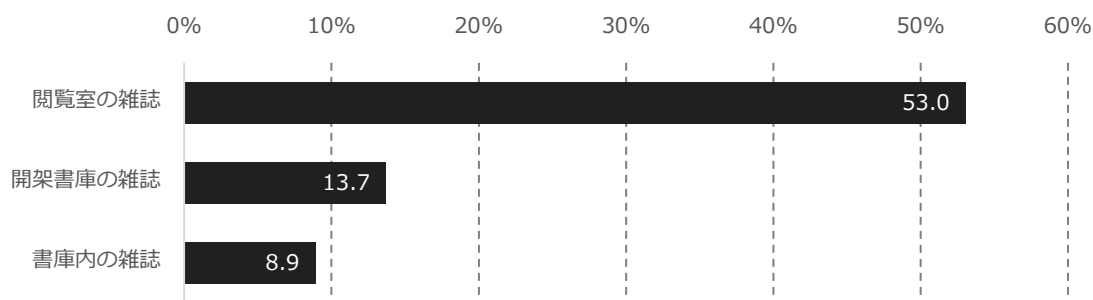
■表 12.9 『東京マガジンバンクで利用した雑誌』 件数割合

	件数	割合
閲覧室の雑誌	244	53.0
開架書庫の雑誌 (※1)	63	13.7
書庫内の雑誌 (※2)	41	8.9
無回答・無効票	165	35.9
全体	513	111.5

※全体件数は回答件数の合計。割合は n=460 に対する値。

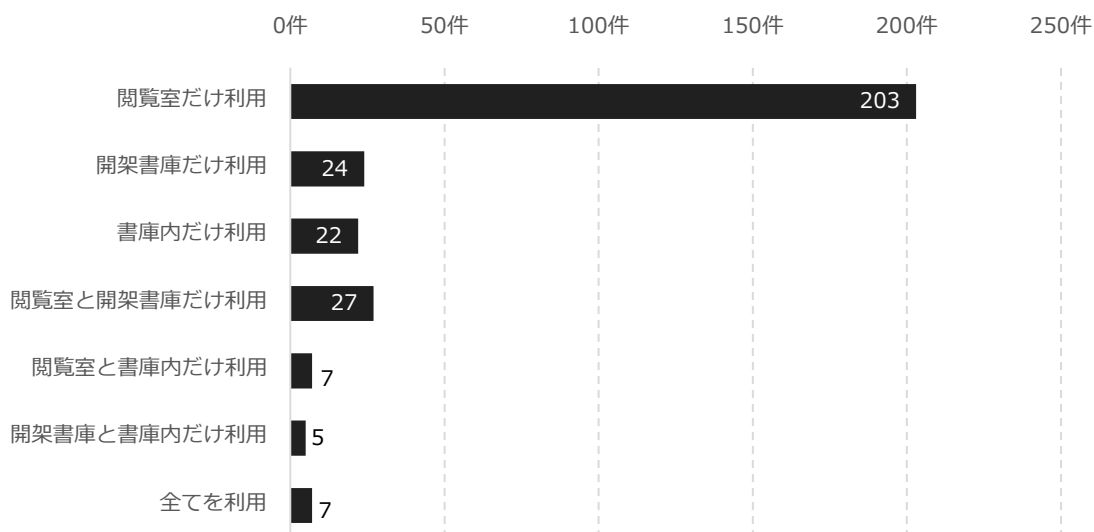
※1「開架書庫」は来館者が入ることのできる書庫

※2「書庫内」は来館者が入ることのできない書庫

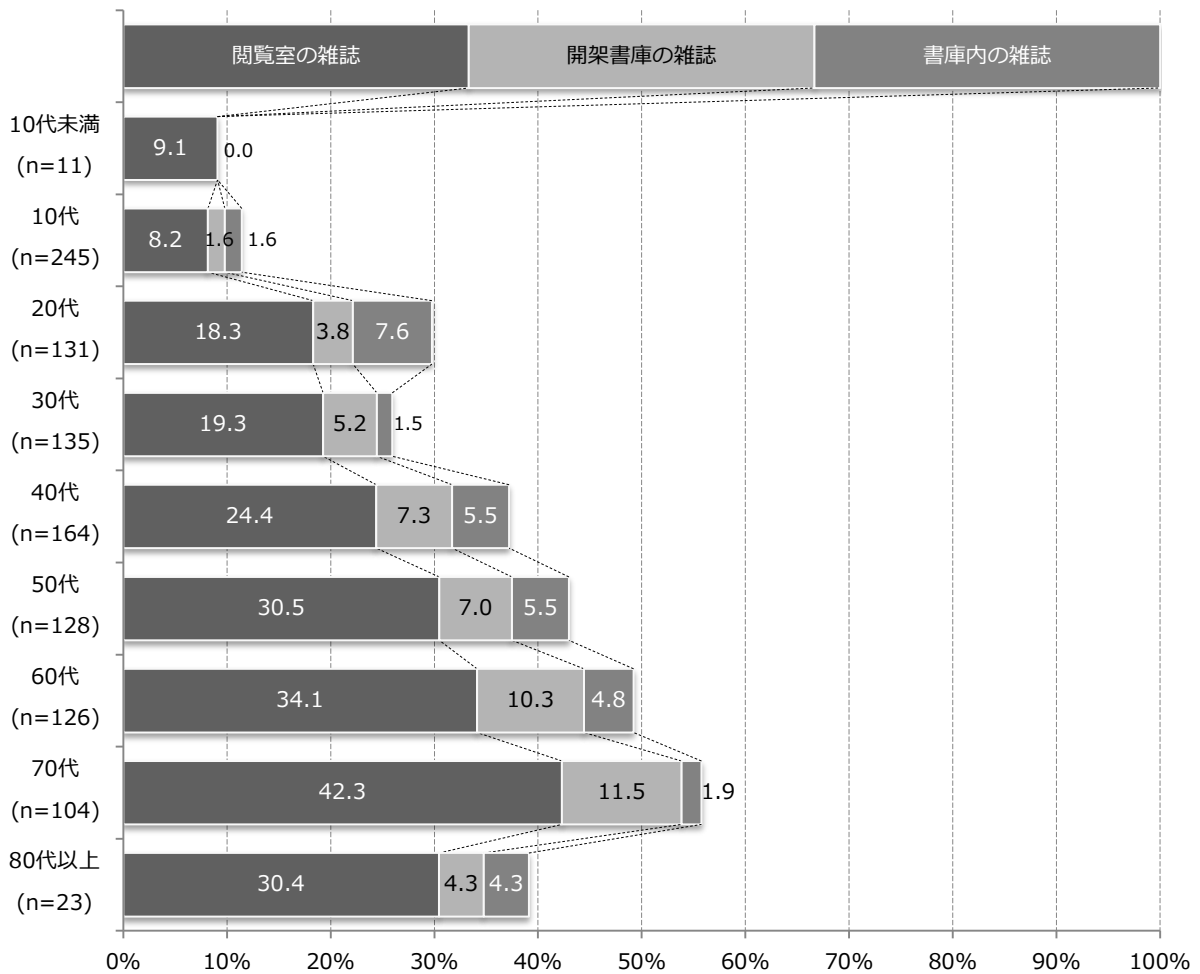


グラフ 12.21

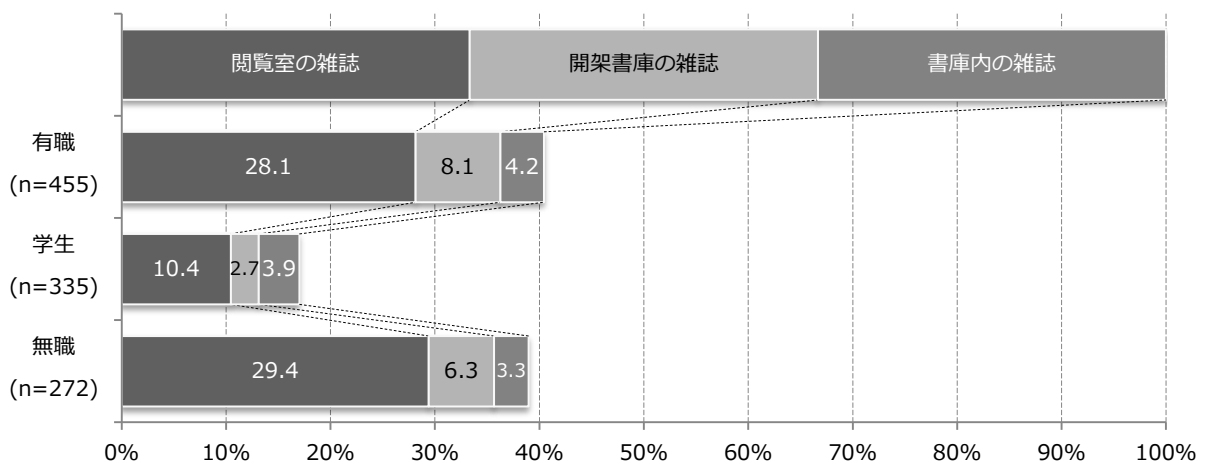
■グラフ 12.22 各雑誌（「閲覧室」「開架書庫」「書庫内」）の利用パターン



■ グラフ 12.23 『東京マガジンバンクで利用した雑誌』 年齢割合



■ グラフ 12.24 『東京マガジンバンクで利用した雑誌』 職業（3分類：有職・学生・無職）割合



- 「東京マガジンバンクで利用した雑誌」について

「東京マガジンバンクで利用した雑誌」については、「閲覧室の雑誌」が 244 件・53.0%と最も多くなった（表 12.9、グラフ 12.21）。

利用パターンをみると、「閲覧室だけ利用」が 203 件と最も多い（グラフ 12.22）。

年齢別にみると、「閲覧室の雑誌」については「70 代」が 42.3%、「開架書庫の雑誌」についても「70 代」が 11.5%、「書庫内の雑誌」については「20 代」が 7.6%と最も割合が高い（グラフ 12.23）。

職業 3 分類別にみると、「閲覧室の雑誌」が「有職」28.1%、「学生」10.4%、「無職」29.4%と最も割合が高い（グラフ 12.24）。

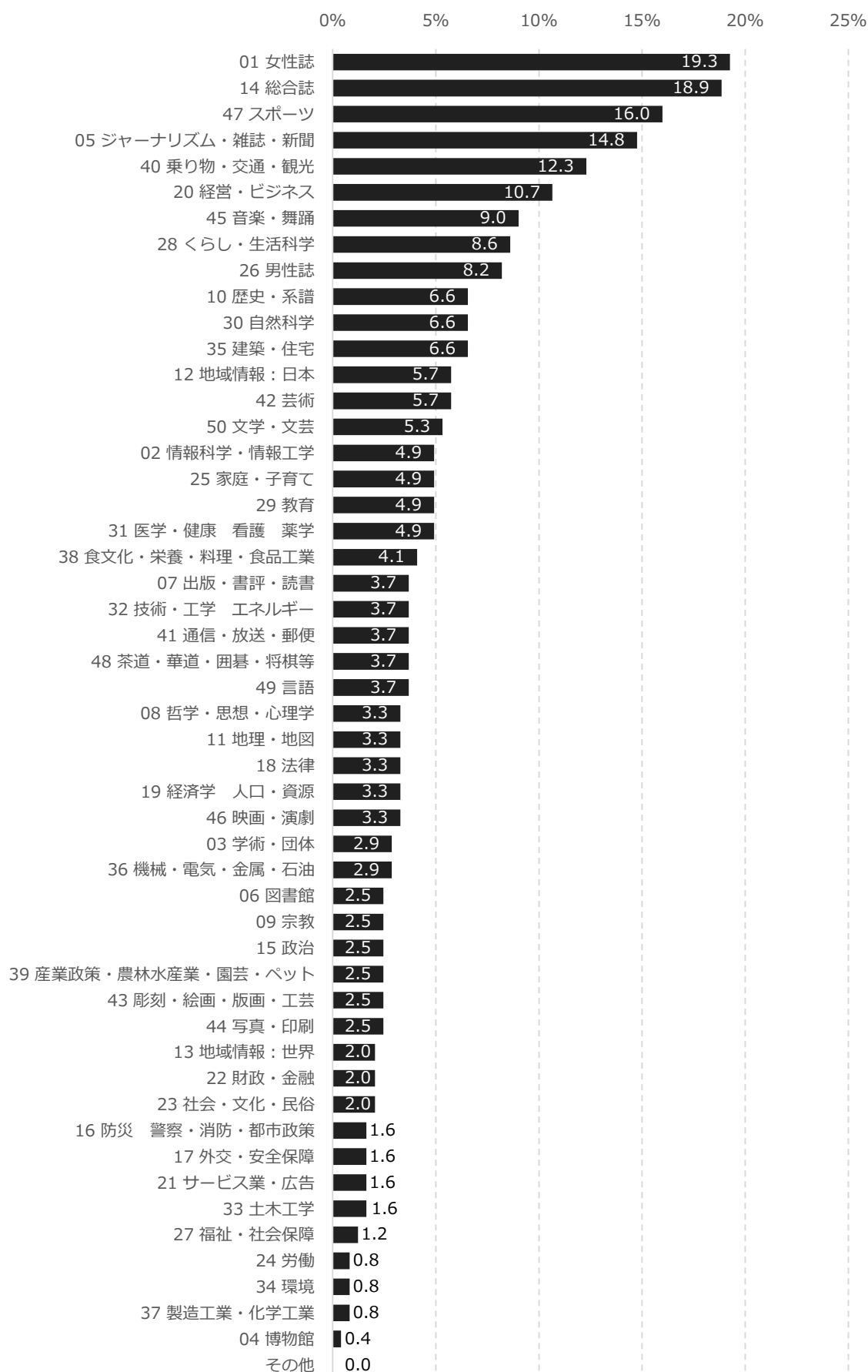
【問 11-(3) 閲覧室の雑誌を利用した方にお聞きします。利用した雑誌の分類はどれですか。
(複数回答可)】

■表 12.10『東京マガジンバンクの<閲覧室>で利用した雑誌分野』件数割合

分類名称		件数	割合	分類名称		件数	割合
01	女性誌	47	19.3	26	男性誌	20	8.2
02	情報科学・情報工学	12	4.9	27	福祉・社会保障	3	1.2
03	学術・団体	7	2.9	28	くらし・生活科学	21	8.6
04	博物館	1	0.4	29	教育	12	4.9
05	ジャーナリズム・雑誌・新聞	36	14.8	30	自然科学	16	6.6
06	図書館	6	2.5	31	医学・健康 看護 薬学	12	4.9
07	出版・書評・読書	9	3.7	32	技術・工学 エネルギー	9	3.7
08	哲学・思想・心理学	8	3.3	33	土木工学	4	1.6
09	宗教	6	2.5	34	環境	2	0.8
10	歴史・系譜	16	6.6	35	建築・住宅	16	6.6
11	地理・地図	8	3.3	36	機械・電気・金属・石油	7	2.9
12	地域情報：日本	14	5.7	37	製造工業・化学工業	2	0.8
13	地域情報：世界	5	2.0	38	食文化・栄養・料理・食品工業	10	4.1
14	総合誌	46	18.9	39	産業政策・農林水産業・園芸・ペット	6	2.5
15	政治	6	2.5	40	乗り物・交通・観光	30	12.3
16	防災 警察・消防・都市政策	4	1.6	41	通信・放送・郵便	9	3.7
17	外交・安全保障	4	1.6	42	芸術	14	5.7
18	法律	8	3.3	43	彫刻・絵画・版画・工芸	6	2.5
19	経済学 人口・資源	8	3.3	44	写真・印刷	6	2.5
20	経営・ビジネス	26	10.7	45	音楽・舞踊	22	9.0
21	サービス業・広告	4	1.6	46	映画・演劇	8	3.3
22	財政・金融	5	2.0	47	スポーツ	39	16.0
23	社会・文化・民俗	5	2.0	48	茶道・華道・囲碁・将棋等	9	3.7
24	労働	2	0.8	49	言語	9	3.7
25	家庭・子育て	12	4.9	50	文学・文芸	13	5.3
					その他	0	0.0
					全体	610	250.0

※全体件数は回答件数の合計。割合は (n=244) に対する値。

■ グラフ 12.25 <閲覧室> で利用した雑誌分野 ※利用割合の高い順に表記



■表 12.11 『東京マガジンバンクの<閲覧室>で利用した雑誌分野』年齢割合

年齢	人数 (n)	<閲覧室>で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・ 情報工学	03 学術・ 団体	04 博物館	05 新聞 ジャーナリズム・ 雑誌・ 雑誌	06 図書館	07 出版・ 書評・ 読書	08 哲学・ 思想・ 心理学	09 宗教
10代未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10代	20	25.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	15.0
20代	24	29.2	4.2	0.0	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0
30代	26	34.6	3.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	0.0
40代	40	17.5	2.5	5.0	0.0	7.5	2.5	5.0	0.0	2.5
50代	39	17.9	10.3	2.6	0.0	12.8	2.6	2.6	7.7	0.0
60代	43	14.0	7.0	4.7	0.0	20.9	2.3	7.0	4.7	2.3
70代	44	9.1	4.5	2.3	0.0	22.7	2.3	4.5	2.3	2.3
80代以上	7	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	244	19.3	4.9	2.9	0.4	14.8	2.5	3.7	3.3	2.5

年齢	人数 (n)	<閲覧室>で利用した雑誌分野割合 (%) ②									
		10 歴史・ 系譜	11 地理・ 地図	12 地域情報・ 日本	13 地域情報・ 世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 政策 警察・ 消防・ 都市	17 外交・ 安全保障	18 法律	
10代未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
10代	20	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	
20代	24	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3	
30代	26	7.7	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
40代	40	2.5	2.5	5.0	2.5	10.0	0.0	2.5	0.0	5.0	
50代	39	2.6	2.6	7.7	0.0	17.9	5.1	2.6	2.6	2.6	
60代	43	7.0	2.3	4.7	7.0	30.2	2.3	2.3	2.3	0.0	
70代	44	11.4	6.8	6.8	2.3	31.8	2.3	0.0	0.0	6.8	
80代以上	7	42.9	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	
全 体	244	6.6	3.3	5.7	2.0	18.9	2.5	1.6	1.6	3.3	

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

年齢	人数 (n)	＜閲覧室＞で利用した雑誌分野割合 (%) ③								
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障
10代未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10代	20	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0
20代	24	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	4.2
30代	26	3.8	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0
40代	40	7.5	10.0	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0
50代	39	7.7	15.4	0.0	2.6	5.1	2.6	7.7	10.3	2.6
60代	43	0.0	18.6	0.0	4.7	2.3	0.0	4.7	2.3	2.3
70代	44	0.0	9.1	2.3	2.3	4.5	2.3	4.5	6.8	0.0
80代以上	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
全 体	244	3.3	10.7	1.6	2.0	2.0	0.8	4.9	8.2	1.2

年齢	人数 (n)	＜閲覧室＞で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
10代未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10代	20	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0
20代	24	4.2	0.0	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
30代	26	19.2	7.7	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
40代	40	5.0	7.5	2.5	5.0	5.0	2.5	0.0	2.5	0.0
50代	39	10.3	5.1	2.6	2.6	5.1	5.1	2.6	15.4	5.1
60代	43	9.3	7.0	11.6	4.7	2.3	0.0	2.3	7.0	4.7
70代	44	9.1	4.5	13.6	4.5	4.5	0.0	0.0	6.8	2.3
80代以上	7	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	244	8.6	4.9	6.6	4.9	3.7	1.6	0.8	6.6	2.9

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

年齢	人数 (n)	〈閲覧室〉で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 食文化・栄養・料理・食品工業	39 ペット 産業政策・農林水産業・園芸・	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
10代未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
10代	20	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	20.0
20代	24	0.0	4.2	8.3	12.5	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2
30代	26	0.0	7.7	3.8	11.5	7.7	3.8	0.0	3.8	3.8
40代	40	0.0	2.5	2.5	2.5	10.0	5.0	0.0	2.5	5.0
50代	39	2.6	2.6	2.6	20.5	0.0	10.3	5.1	2.6	15.4
60代	43	0.0	4.7	0.0	20.9	0.0	9.3	4.7	4.7	9.3
70代	44	2.3	6.8	0.0	11.4	4.5	2.3	4.5	0.0	6.8
80代以上	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	244	0.8	4.1	2.5	12.3	3.7	5.7	2.5	2.5	9.0

年齢	人数 (n)	〈閲覧室〉で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥								
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他			
10代未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
10代	20	10.0	35.0	10.0	20.0	0.0	0.0			
20代	24	0.0	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0			
30代	26	3.8	11.5	0.0	3.8	3.8	0.0			
40代	40	0.0	17.5	0.0	5.0	0.0	0.0			
50代	39	2.6	23.1	2.6	2.6	7.7	0.0			
60代	43	7.0	7.0	4.7	2.3	9.3	0.0			
70代	44	2.3	6.8	4.5	0.0	9.1	0.0			
80代以上	7	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0			
全 体	244	3.3	16.0	3.7	3.7	5.3	0.0			

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

■表 12.12 『東京マガジンバンクの<閲覧室> で利用した雑誌分野』 職業（3分類：有職・学生・無職）割合

職業	人数 (n)	<閲覧室> で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・情報工学	03 学術・団体	04 博物館	05 新聞 ジャーナリズム・雑誌・	06 図書館	07 出版・書評・読書	08 哲学・思想・心理学	09 宗教
有 職	128	16.4	7.0	3.9	0.8	11.7	3.1	4.7	3.9	1.6
学 生	35	28.6	0.0	2.9	0.0	11.4	2.9	0.0	2.9	8.6
無 職	80	20.0	3.8	1.3	0.0	21.3	1.3	3.8	2.5	1.3
全 体	243	19.3	4.9	2.9	0.4	14.8	2.5	3.7	3.3	2.5

職業	人数 (n)	<閲覧室> で利用した雑誌分野割合 (%) ②									
		10 歴史・系譜	11 地理・地図	12 地域情報：日本	13 地域情報：世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 政策 警察・消防・都市	17 外交・安全保障	18 法律	
有 職	128	4.7	2.3	7.8	2.3	11.7	1.6	1.6	0.8	4.7	
学 生	35	2.9	5.7	0.0	0.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	
無 職	80	11.3	3.8	5.0	2.5	37.5	3.8	1.3	2.5	1.3	
全 体	243	6.6	3.3	5.8	2.1	18.9	2.5	1.6	1.6	3.3	

職業	人数 (n)	<閲覧室> で利用した雑誌分野割合 (%) ③									
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障	
有 職	128	4.7	10.9	1.6	1.6	1.6	1.6	3.9	7.0	1.6	
学 生	35	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	11.4	2.9	
無 職	80	0.0	13.8	1.3	3.8	3.8	0.0	7.5	8.8	0.0	
全 体	243	2.9	10.7	1.6	2.1	2.1	0.8	4.9	8.2	1.2	

※網掛けは各職業で最も割合が高い雑誌分野。

※職業の無回答・無効票は除く。

職業	人数 (n)	<閲覧室> で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
有職	128	8.6	5.5	4.7	4.7	4.7	2.3	1.6	9.4	4.7
学生	35	0.0	0.0	0.0	8.6	5.7	2.9	0.0	0.0	0.0
無職	80	12.5	6.3	12.5	3.8	1.3	0.0	0.0	5.0	1.3
全体	243	8.6	4.9	6.6	4.9	3.7	1.6	0.8	6.6	2.9

職業	人数 (n)	<閲覧室> で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 業 食文化・栄養・料理・食品工	39 芸・ペット 産業政策・農林水産業・園	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
有職	128	0.8	3.1	1.6	12.5	4.7	4.7	1.6	3.9	7.0
学生	35	0.0	2.9	5.7	8.6	2.9	5.7	0.0	2.9	17.1
無職	80	1.3	6.3	2.5	13.8	2.5	7.5	5.0	0.0	8.8
全体	243	0.8	4.1	2.5	12.3	3.7	5.8	2.5	2.5	9.1

職業	人数 (n)	<閲覧室> で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥								
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他			
有職	128	2.3	17.2	0.8	2.3	4.7	0.0			
学生	35	5.7	25.7	5.7	11.4	0.0	0.0			
無職	80	3.8	8.8	7.5	2.5	8.8	0.0			
全体	243	3.3	15.6	3.7	3.7	5.3	0.0			

※網掛けは各職業で最も割合が高い雑誌分野。

※職業の無回答・無効票は除く。

■表 12.13 『東京マガジンバンクの<閲覧室>で利用した雑誌分野』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	<閲覧室>で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・ 情報工学	03 学術・ 団体	04 博物館	05 ジャーナリズム・ 雑誌・ 新聞	06 図書館	07 出版・ 書評・ 読書	08 哲学・ 思想・ 心理学	09 宗教
仕事上の調査研究	16	12.5	6.3	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	6.3	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	34	5.9	14.7	0.0	0.0	8.8	2.9	2.9	2.9	0.0
個人的な調査研究	19	5.3	5.3	10.5	0.0	15.8	0.0	10.5	5.3	5.3
日常生活に必要な知識や情報の入手	42	21.4	4.8	0.0	0.0	26.2	0.0	0.0	0.0	0.0
教養・趣味のための読書	71	26.8	1.4	0.0	0.0	15.5	1.4	4.2	4.2	1.4
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	11	36.4	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
試験勉強	17	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0	5.9	5.9
その他	15	26.7	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	13.3
全 体	225	18.7	4.4	2.2	0.4	15.1	2.7	4.0	3.1	2.2

利用目的	人数 (n)	<閲覧室>で利用した雑誌分野割合 (%) ②								
		10 歴史・ 系譜	11 地理・ 地図	12 地域情報・ 日本	13 地域情報・ 世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 政策 警察・ 消防・ 都市	17 外交・ 安全保障	18 法律
仕事上の調査研究	16	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	34	5.9	0.0	2.9	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	11.8
個人的な調査研究	19	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	5.3
日常生活に必要な知識や情報の入手	42	7.1	2.4	7.1	2.4	31.0	4.8	0.0	2.4	2.4
教養・趣味のための読書	71	11.3	4.2	7.0	1.4	25.4	2.8	1.4	1.4	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	11	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
試験勉強	17	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
その他	15	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
全 体	225	6.7	2.2	4.9	1.8	17.8	2.2	0.9	0.9	3.1

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

利用目的	人数 (n)	<閲覧室> で利用した雑誌分野割合 (%) ③								
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障
仕事上の調査研究	16	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	34	2.9	17.6	0.0	5.9	2.9	2.9	2.9	0.0	2.9
個人的な調査研究	19	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
日常生活に必要な知識や情報の入手	42	4.8	4.8	0.0	0.0	2.4	0.0	9.5	16.7	0.0
教養・趣味のための読書	71	2.8	9.9	2.8	2.8	2.8	0.0	5.6	7.0	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	11	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1
試験勉強	17	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
その他	15	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0
全 体	225	3.1	10.2	1.3	1.8	1.8	0.4	4.4	7.6	1.3

利用目的	人数 (n)	<閲覧室> で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
仕事上の調査研究	16	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	6.3
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	34	11.8	0.0	2.9	8.8	5.9	0.0	0.0	2.9	8.8
個人的な調査研究	19	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3
日常生活に必要な知識や情報の入手	42	16.7	7.1	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
教養・趣味のための読書	71	9.9	5.6	8.5	4.2	2.8	1.4	1.4	5.6	1.4
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
試験勉強	17	0.0	0.0	5.9	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	15	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
全 体	225	8.9	4.4	5.8	4.9	2.7	0.4	0.9	4.9	2.7

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

利用目的	人数 (n)	＜閲覧室＞で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 業 食文化・栄養・料理・食品工	39 芸・ペット 産業政策・農林水産業・園	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
仕事上の調査研究	16	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	34	0.0	2.9	0.0	8.8	8.8	2.9	0.0	0.0	0.0
個人的な調査研究	19	0.0	0.0	0.0	26.3	0.0	10.5	10.5	5.3	15.8
日常生活に必要な知識や情報の入手	42	0.0	0.0	2.4	14.3	2.4	9.5	4.8	0.0	9.5
教養・趣味のための読書	71	1.4	7.0	0.0	14.1	4.2	5.6	2.8	1.4	8.5
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	11	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
試験勉強	17	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	29.4
その他	15	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0
全 体	225	0.4	3.6	1.8	12.4	3.6	5.3	2.7	2.2	8.4

利用目的	人数 (n)	＜閲覧室＞で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥						
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他	
仕事上の調査研究	16	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	34	0.0	23.5	2.9	5.9	0.0	0.0	
個人的な調査研究	19	15.8	21.1	5.3	10.5	5.3	0.0	
日常生活に必要な知識や情報の入手	42	0.0	19.0	2.4	0.0	9.5	0.0	
教養・趣味のための読書	71	2.8	11.3	2.8	0.0	7.0	0.0	
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	11	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
試験勉強	17	5.9	29.4	5.9	11.8	0.0	0.0	
その他	15	6.7	26.7	13.3	6.7	6.7	0.0	
全 体	225	3.6	17.3	4.0	3.1	5.3	0.0	

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

■『東京マガジンバンクの<閲覧室>で利用した』雑誌名など記述回答

雑誌名	件数
ビジネス・政治・法律関連	23
●エコノミスト	
●週刊東洋経済	
●週刊ダイヤモンド	
●English Express	
●プレジデント	
●日経ヴェリタス	
●法律時報	
●The American Economic Review	
●Foreign Affairs Report	
●International Financial Statistics	
●L'Express	
●Newsweek	
●The Atlantic	
●企業会計	
●月刊事業構想	
●週刊金曜日	
●正論	
●宣伝会議	
●中央公論	
●日経 Linux	
●日経 Network	
●日経コンストラクション	
●日経ビジネス	
女性誌・ファッション誌	18
●Ginza	
●日経 Woman	
●週刊女性	
●Cluél	
●Fudge	
●ku:nel	
●Leaf	
●mer	
●Oggi	
●Savvy	
●Spring	
●Spur	

●steady	
●世界の菓子 PCG	
●美S T	
●婦人公論	
●Tokyo Graffiti	
●エッセ	
くらし・生活・料理など	5
●暮らしの手帖第4世紀	
●家庭画報	
●天然生活	
●料理通信	
●家電批評	
医療医学・健康など	4
●Tarzan	
●Sportsmedicine	
●医道の日本	
●臨床スポーツ医学	
趣味	35
●CD ジャーナル	
●岳人	
●鉄道ジャーナル	
●現代ギター	
●ロッキング・オン	
●じゃらん	
●月刊エアライン	
●ビーパル	
●山と溪谷	
●Brutus	
●カー・アンド・ドライバー	
●ダンチュウ	
●Engine	
●English Journal	
●JARTS	
●Mac Fan	
●Young mates music player	
●ロッキング・オン・ジャパン	
●Yoga Journal	
●ジャズ批評	
●ステレオサウンド	
●つり人	

●モーターマガジン	
●月刊碁ワールド	
●音楽の友	
●将棋世界	
●新幹線 Explorer	
●通訳翻訳ジャーナル	
●鉄道ファン	
●日経ソフトウェア	
●日経パソコン	
●月刊文化通信ジャーナル	
●本の雑誌	
●珈琲時間	
●俳句	
スポーツ	13
●ワールドサッカーダイジェスト	
●footballista	
●ダンクシュート	
●Strength & Conditioning Journal	
●クリール	
●ソフトテニスマガジン	
●Sports Graphic Number Plus	
●バドミントンマガジン	
●ラグビーマガジン	
●ランナーズ	
●月刊バレーボール	
●週刊ベースボール	
●陸上競技マガジン	
芸術・美術・科学・文学など	16
●ニュートン	
●Science	
●芸術新潮	
●商店建築	
●Monumenta Nipponica	
●Nature	
●OHM	
●ナショナルジオグラフィック日本版	
●科学基礎論研究	
●文芸春秋	
●小説現代	
●新建築	

●数理科学	
●都市計画	
●美術手帖	
●住宅建築	
歴史	6
●歴博	
●邪馬台国	
●日本歴史	
●歴史人	
●歴史地理教育	
●別冊歴史読本	
一般週刊誌・写真週刊誌	6
●週刊文春	
●サンデー毎日	
●週刊朝日	
●週刊新潮	
●アエラ	
●Aera with kids	
その他	12
●みるとす	
●初等教育資料	
●軍事研究	
●Facta	
●Jレスキュー	
●ぐんま地域文化	
●The Big Issue Japan	
●ユーラシア研究	
●大学への数学	
●地図中心	
●日本語学	
●波	

※雑誌名は都立図書館の目録に合わせて表記している。

●東京マガジンバンク〈閲覧室〉で利用した雑誌分野について

東京マガジンバンク〈閲覧室〉で利用した雑誌分野については、「女性誌」が19.3%、「総合誌」が18.9%、「スポーツ」が16.0%、「ジャーナリズム・雑誌・新聞」が14.8%、「乗り物・交通・観光」が12.3%の順で利用割合が高い（グラフ 12.25）。

年齢別にみると、「20代」から「40代」では「女性誌」の利用割合が最も高く、「60代以上」では「総合誌」の利用割合が高い（表 12.11）。

職業3分類別では「有職」で「スポーツ」、「学生」で「女性誌」、「無職」で「総合誌」の利用割合が高い（表 12.12）。

利用目的別にみると、「仕事上の調査研究」では「建築・住宅」の利用割合が高く、「仕事に関連した自分の勉強、自己啓発」では「スポーツ」の利用割合が高くなった。「個人的な調査研究」では、「乗り物・交通・観光」の利用割合が高くなった（表 12.13）。

【問 11-(3) 開架書庫の雑誌を利用した方にお聞きします。利用した雑誌の分類はどれですか。

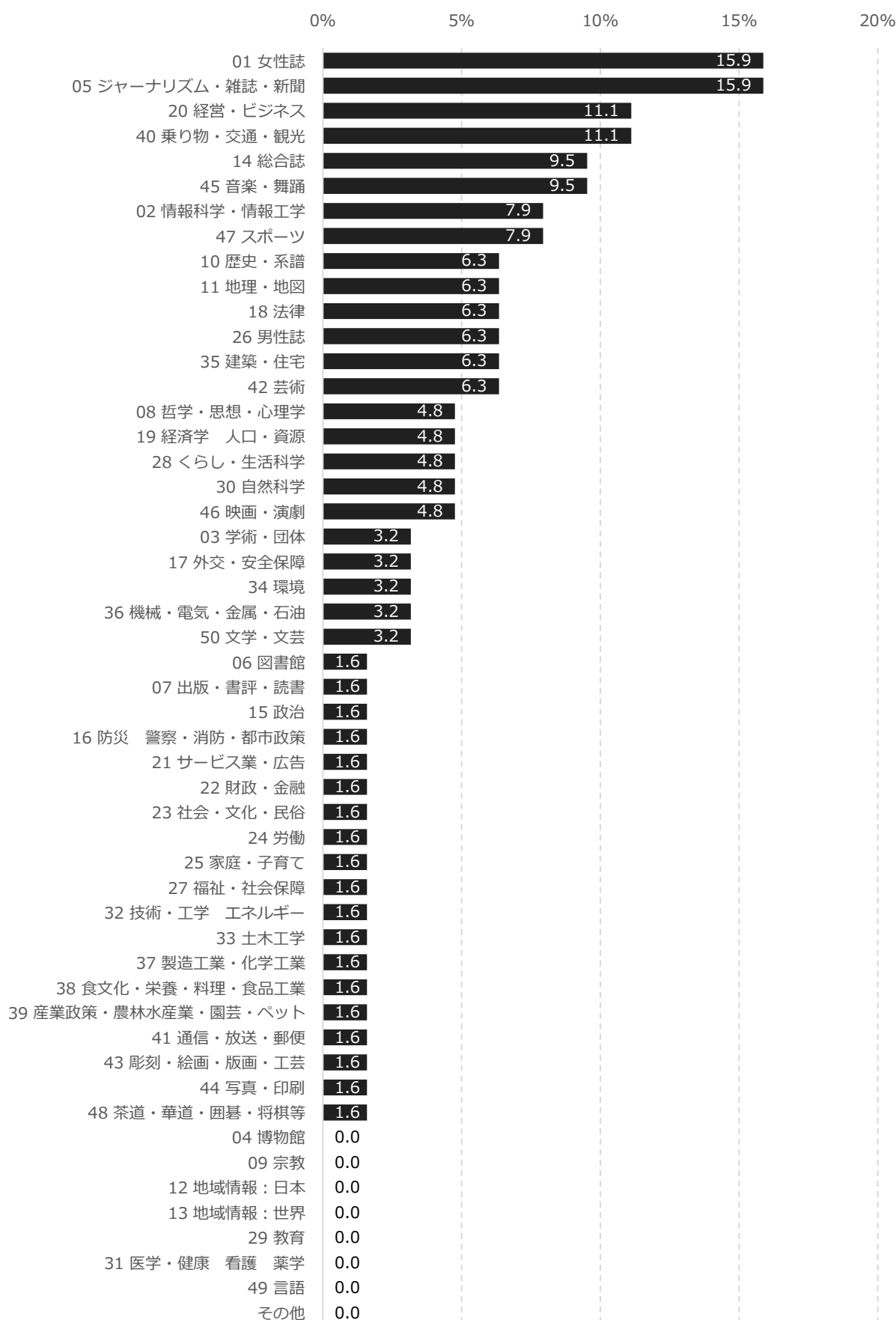
(複数回答可)】

■表 12.14 『東京マガジンバンクの<開架書庫>で利用した雑誌分野』件数割合

分類名称		件数	割合	分類名称		件数	割合
01	女性誌	10	15.9	26	男性誌	4	6.3
02	情報科学・情報工学	5	7.9	27	福祉・社会保障	1	1.6
03	学術・団体	2	3.2	28	くらし・生活科学	3	4.8
04	博物館	0	0.0	29	教育	0	0.0
05	ジャーナリズム・雑誌・新聞	10	15.9	30	自然科学	3	4.8
06	図書館	1	1.6	31	医学・健康 看護 薬学	0	0.0
07	出版・書評・読書	1	1.6	32	技術・工学 エネルギー	1	1.6
08	哲学・思想・心理学	3	4.8	33	土木工学	1	1.6
09	宗教	0	0.0	34	環境	2	3.2
10	歴史・系譜	4	6.3	35	建築・住宅	4	6.3
11	地理・地図	4	6.3	36	機械・電気・金属・石油	2	3.2
12	地域情報：日本	0	0.0	37	製造工業・化学工業	1	1.6
13	地域情報：世界	0	0.0	38	食文化・栄養・料理・食品工業	1	1.6
14	総合誌	6	9.5	39	産業政策・農林水産業・園芸・ペット	1	1.6
15	政治	1	1.6	40	乗り物・交通・観光	7	11.1
16	防災 警察・消防・都市政策	1	1.6	41	通信・放送・郵便	1	1.6
17	外交・安全保障	2	3.2	42	芸術	4	6.3
18	法律	4	6.3	43	彫刻・絵画・版画・工芸	1	1.6
19	経済学 人口・資源	3	4.8	44	写真・印刷	1	1.6
20	経営・ビジネス	7	11.1	45	音楽・舞踊	6	9.5
21	サービス業・広告	1	1.6	46	映画・演劇	3	4.8
22	財政・金融	1	1.6	47	スポーツ	5	7.9
23	社会・文化・民俗	1	1.6	48	茶道・華道・囲碁・将棋等	1	1.6
24	労働	1	1.6	49	言語	0	0.0
25	家庭・子育て	1	1.6	50	文学・文芸	2	3.2
					その他	0	0.0
					全体	124	196.8

※全体件数は回答件数の合計。割合は (n=63) に対する値。

■ グラフ 12.26 <開架書庫> で利用した雑誌分野 ※利用割合の高い順に表記



■表 12.15 『東京マガジンバンクの〈開架書庫〉で利用した雑誌分野』年齢割合

年齢	人数 (n)	〈開架書庫〉で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・ 情報工学	03 学術・団体	04 博物館	05 ジャーナリズム・ 雑誌・ 新聞	06 図書館	07 出版・書評・ 読書	08 哲学・思想・ 心理学	09 宗教
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	7	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
40代	12	16.7	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
60代	13	7.7	15.4	0.0	0.0	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0
70代	12	8.3	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	63	15.9	7.9	3.2	0.0	15.9	1.6	1.6	4.8	0.0

年齢	人数 (n)	〈開架書庫〉で利用した雑誌分野割合 (%) ②								
		10 歴史・系譜	11 地理・地図	12 地域情報・ 日本	13 地域情報・ 世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 警察・消防・ 都市政	17 外交・安全 保障	18 法律
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	12	16.7	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	16.7
50代	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
60代	13	0.0	15.4	0.0	0.0	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0
70代	12	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	63	6.3	6.3	0.0	0.0	9.5	1.6	1.6	3.2	6.3

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

年齢	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ③								
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3
40代	12	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
50代	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
60代	13	23.1	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
70代	12	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	63	4.8	11.1	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	6.3	1.6

年齢	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
40代	12	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
50代	9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
60代	13	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7
70代	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	63	4.8	0.0	4.8	0.0	1.6	1.6	3.2	6.3	3.2

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

年齢	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 業 食文化・栄養・料理・食品工	39 芸・ペット 産業政策・農林水産業・園	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
30代	7	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	12	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	8.3
50代	9	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
60代	13	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7
70代	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	63	1.6	1.6	1.6	11.1	1.6	6.3	1.6	1.6	9.5

年齢	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥								
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他			
10代未満	0	-	-	-	-	-	-			
10代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
20代	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
30代	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
40代	12	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0			
50代	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
60代	13	7.7	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0			
70代	12	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0			
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
全 体	63	4.8	7.9	1.6	0.0	3.2	0.0			

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

■表 12.16 『東京マガジンバンクの<開架書庫>で利用した雑誌分野』職業（3分類：有職・学生・無職）割合

職業	人数 (n)	<開架書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・情報工学	03 学術・団体	04 博物館	05 新聞 ジャーナリズム・雑誌・	06 図書館	07 出版・書評・読書	08 哲学・思想・心理学	09 宗教
有職	37	10.8	8.1	2.7	0.0	10.8	2.7	2.7	5.4	0.0
学生	9	44.4	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	17	11.8	11.8	5.9	0.0	29.4	0.0	0.0	5.9	0.0
全体	63	15.9	7.9	3.2	0.0	15.9	1.6	1.6	4.8	0.0

職業	人数 (n)	<開架書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ②									
		10 歴史・系譜	11 地理・地図	12 地域情報：日本	13 地域情報：世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 政策 警察・消防・都市	17 外交・安全保障	18 法律	
有職	37	8.1	8.1	0.0	0.0	8.1	0.0	0.0	2.7	10.8	
学生	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無職	17	0.0	5.9	0.0	0.0	17.6	5.9	5.9	5.9	0.0	
全体	63	6.3	6.3	0.0	0.0	9.5	1.6	1.6	3.2	6.3	

職業	人数 (n)	<開架書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ③								
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障
有職	37	5.4	8.1	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0	8.1	2.7
学生	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
無職	17	5.9	17.6	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0
全体	63	4.8	11.1	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	6.3	1.6

※網掛けは各職業で最も割合が高い雑誌分野。

※職業の無回答・無効票は除く。

職業	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
有 職	37	2.7	0.0	5.4	0.0	2.7	2.7	2.7	5.4	5.4
学 生	9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
無 職	17	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
全 体	63	4.8	0.0	4.8	0.0	1.6	1.6	3.2	6.3	3.2

職業	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 食文化・栄養・料理・食品工業	39 芸・ペット 産業政策・農林水産業・園	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
有 職	37	0.0	0.0	2.7	10.8	2.7	10.8	0.0	2.7	10.8
学 生	9	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
無 職	17	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9
全 体	63	1.6	1.6	1.6	11.1	1.6	6.3	1.6	1.6	9.5

職業	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥								
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他			
有 職	37	8.1	8.1	0.0	0.0	2.7	0.0			
学 生	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
無 職	17	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0			
全 体	63	4.8	7.9	1.6	0.0	3.2	0.0			

※網掛けは各職業で最も割合が高い雑誌分野。

※職業の無回答・無効票は除く。

■表 12.17 『東京マガジンバンクの〈開架書庫〉で利用した雑誌分野』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	〈開架書庫〉で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・ 情報工学	03 学術・ 団体	04 博物館	05 ジャーナリズム・ 雑誌・ 新聞	06 図書館	07 出版・ 書評・ 読書	08 哲学・ 思想・ 心理学	09 宗教
仕事上の調査研究	10	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	6	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
個人的な調査研究	12	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
日常生活に必要な知識や情報の入手	4	0.0	50.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教養・趣味のための読書	13	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	8	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
試験勉強	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	54	16.7	7.4	3.7	0.0	16.7	1.9	1.9	3.7	0.0

利用目的	人数 (n)	〈開架書庫〉で利用した雑誌分野割合 (%) ②								
		10 歴史・ 系譜	11 地理・ 地図	12 地域情報・ 日本	13 地域情報・ 世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 政策 警察・ 消防・ 都市	17 外交・ 安全保障	18 法律
仕事上の調査研究	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
個人的な調査研究	12	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3
日常生活に必要な知識や情報の入手	4	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教養・趣味のための読書	13	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	54	7.4	7.4	0.0	0.0	9.3	0.0	0.0	0.0	5.6

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

利用目的	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ③								
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障
仕事上の調査研究	10	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
個人的な調査研究	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3
日常生活に必要な知識や情報の入手	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
教養・趣味のための読書	13	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	54	5.6	11.1	1.9	0.0	0.0	1.9	1.9	7.4	1.9

利用目的	人数 (n)	＜開架書庫＞で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
仕事上の調査研究	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
個人的な調査研究	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
日常生活に必要な知識や情報の入手	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教養・趣味のための読書	13	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	54	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	1.9	5.6	3.7

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

利用目的	人数 (n)	<開架書庫> で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 業 食文化・栄養・料理・食品工	39 芸・ペット 産業政策・農林水産業・園	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
仕事上の調査研究	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	6	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
個人的な調査研究	12	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3
日常生活に必要な知識や情報の入手	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
教養・趣味のための読書	13	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	8	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	54	1.9	1.9	0.0	11.1	1.9	7.4	1.9	1.9	9.3

利用目的	人数 (n)	<開架書庫> で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥									
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他				
仕事上の調査研究	10	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0				
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	6	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0				
個人的な調査研究	12	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
日常生活に必要な知識や情報の入手	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
教養・趣味のための読書	13	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0				
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	8	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
その他	0	-	-	-	-	-	-				
全 体	54	5.6	9.3	1.9	0.0	1.9	0.0				

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

■『東京マガジンバンクの〈開架書庫〉で利用した』雑誌名・冊数などの記述回答

雑誌名	件数
ビジネス・政治・法律関連	3
●エコノミスト	
●会社法務 A to Z	
●日経ドラッグインフォメーション プレミアム版	
女性誌・ファッション誌	2
●Harper's Bazaar	
●Peaks	
趣味	5
●ミュージックマガジン	
●レコードコレクターズ	
●自遊人	
●週刊ホテルレストラン	
●俳句文学館紀要	
一般週刊誌・写真週刊誌	5
●スバ	
●フライデー	
●Flash	
●週刊ポスト	
●週刊現代	
その他	1
●受験新報	

※雑誌名は都立図書館の目録に合わせて表記している。

●東京マガジンバンク〈開架書庫〉で利用した雑誌分野について

東京マガジンバンク〈開架書庫〉で利用した雑誌分野については、「女性誌」の15.9%、「ジャーナリズム・雑誌・新聞」の15.9%、「経営・ビジネス」の11.1%、「乗り物・交通・観光」の11.1%がそれぞれ10%以上の利用割合であった（グラフ 12.26）。

年齢別にみると、「10代」「20代」「30代」において「女性誌」の利用割合が最も高く、「60代」以上では「ジャーナリズム・雑誌・新聞」の利用割合が高い（表 12.15）。

職業3分類別でみると、「学生」で「女性誌」、「無職」で「ジャーナリズム・雑誌・新聞」の利用割合が高く、「有職」は利用割合が分散していた（表 12.16）。

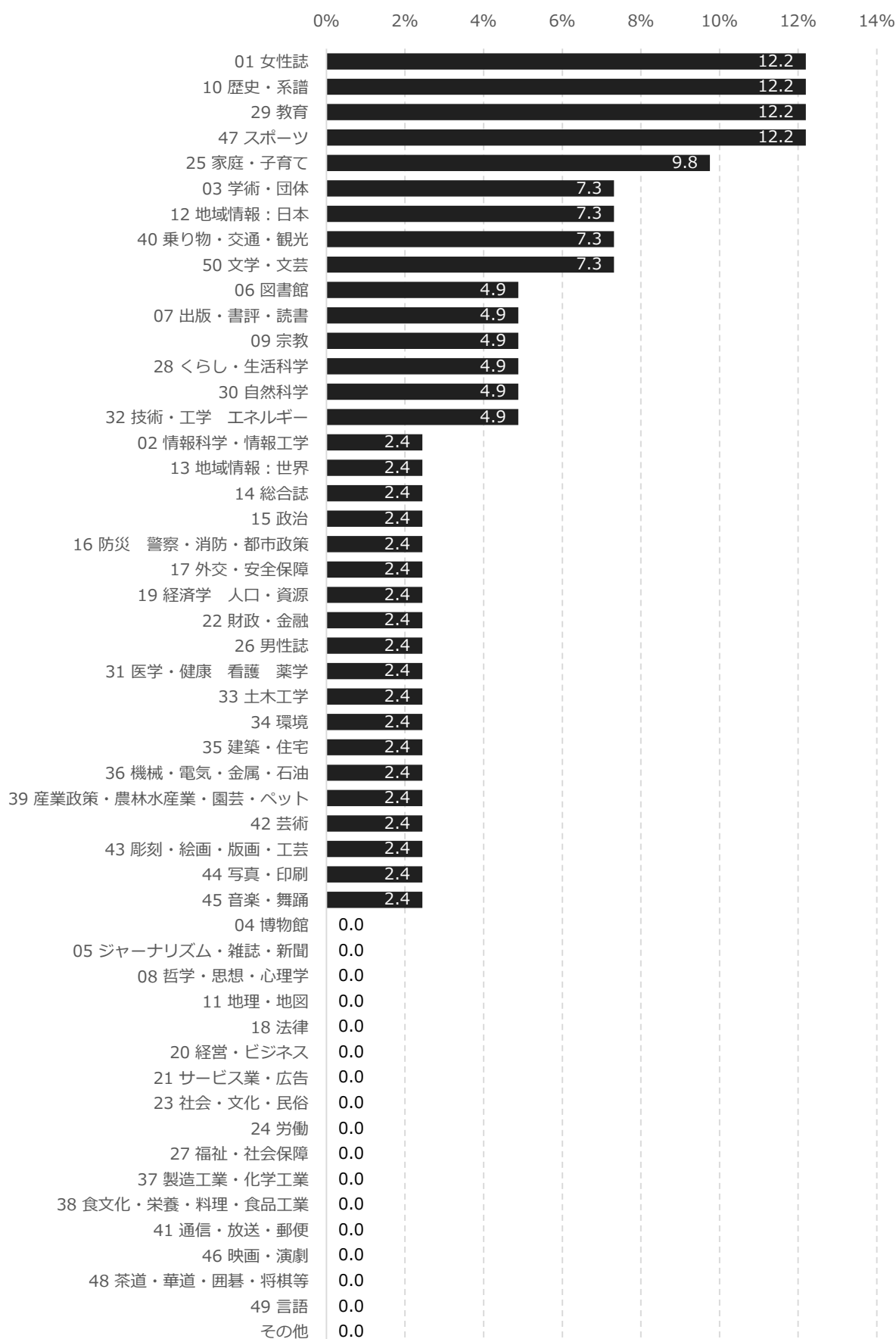
【問 11-(3) 書庫内の雑誌を利用した方にお聞きします。利用した雑誌の分類はどれですか。
(複数回答可)】

■表 12.18『東京マガジンバンクの<書庫内>で利用した雑誌分野』件数割合

分類名称		件数	割合	分類名称		件数	割合
01	女性誌	5	12.2	26	男性誌	1	2.4
02	情報科学・情報工学	1	2.4	27	福祉・社会保障	0	0.0
03	学術・団体	3	7.3	28	くらし・生活科学	2	4.9
04	博物館	0	0.0	29	教育	5	12.2
05	ジャーナリズム・雑誌・新聞	0	0.0	30	自然科学	2	4.9
06	図書館	2	4.9	31	医学・健康 看護 薬学	1	2.4
07	出版・書評・読書	2	4.9	32	技術・工学 エネルギー	2	4.9
08	哲学・思想・心理学	0	0.0	33	土木工学	1	2.4
09	宗教	2	4.9	34	環境	1	2.4
10	歴史・系譜	5	12.2	35	建築・住宅	1	2.4
11	地理・地図	0	0.0	36	機械・電気・金属・石油	1	2.4
12	地域情報：日本	3	7.3	37	製造工業・化学工業	0	0.0
13	地域情報：世界	1	2.4	38	食文化・栄養・料理・食品工業	0	0.0
14	総合誌	1	2.4	39	産業政策・農林水産業・園芸・ペット	1	2.4
15	政治	1	2.4	40	乗り物・交通・観光	3	7.3
16	防災 警察・消防・都市政策	1	2.4	41	通信・放送・郵便	0	0.0
17	外交・安全保障	1	2.4	42	芸術	1	2.4
18	法律	0	0.0	43	彫刻・絵画・版画・工芸	1	2.4
19	経済学 人口・資源	1	2.4	44	写真・印刷	1	2.4
20	経営・ビジネス	0	0.0	45	音楽・舞踊	1	2.4
21	サービス業・広告	0	0.0	46	映画・演劇	0	0.0
22	財政・金融	1	2.4	47	スポーツ	5	12.2
23	社会・文化・民俗	0	0.0	48	茶道・華道・囲碁・将棋等	0	0.0
24	労働	0	0.0	49	言語	0	0.0
25	家庭・子育て	4	9.8	50	文学・文芸	3	7.3
					その他	0	0.0
					全体	67	163.4

※全体件数は回答件数の合計。割合は (n=41) に対する値。

■グラフ 12.27 <書庫内> で利用した雑誌分野 ※利用割合の高い順に表記



■表 12.19 『東京マガジンバンクの<書庫内> で利用した雑誌分野』 年齢割合

年齢	人数 (n)	<書庫内> で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・ 情報工学	03 学術・ 団体	04 博物館	05 ジャーナリズム・ 雑誌・ 新聞	06 図書館	07 出版・ 書評・ 読書	08 哲学・ 思想・ 心理学	09 宗教
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	10	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0
30代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	9	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
50代	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
70代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80代以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	41	12.2	2.4	7.3	0.0	0.0	4.9	4.9	0.0	4.9

年齢	人数 (n)	<書庫内> で利用した雑誌分野割合 (%) ②								
		10 歴史・ 系譜	11 地理・ 地図	12 地域情報・ 日本	13 地域情報・ 世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 政策 警察・ 消防・ 都市	17 外交・ 安全保障	18 法律
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	10	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	9	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
50代	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	41	12.2	0.0	7.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

年齢	人数 (n)	＜書庫内＞で利用した雑誌分野割合 (%) ③								
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0
30代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	9	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
50代	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
70代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	41	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	9.8	2.4	0.0

年齢	人数 (n)	＜書庫内＞で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	10	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	9	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
50代	7	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	41	4.9	12.2	4.9	2.4	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

年齢	人数 (n)	＜書庫内＞で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 業 食文化・栄養・料理・食品工	39 芸・ペット 産業政策・農林水産業・園	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
10代未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
60代	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
70代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	41	0.0	0.0	2.4	7.3	0.0	2.4	2.4	2.4	2.4

年齢	人数 (n)	＜書庫内＞で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥									
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他				
10代未満	0	-	-	-	-	-	-				
10代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
20代	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
30代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
40代	9	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0				
50代	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0				
60代	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0				
70代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0				
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
全 体	41	0.0	12.2	0.0	0.0	7.3	0.0				

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌分野。

※年齢の無回答・無効票は除く。

■表 12.20 『東京マガジンバンクの<書庫内> で利用した雑誌分野』 職業(3分類：有職・学生・無職)割合

職業	人数 (n)	<書庫> で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・情報工学	03 学術・団体	04 博物館	05 新聞 ジャーナリズム・雑誌・	06 図書館	07 出版・書評・読書	08 哲学・思想・心理学	09 宗教
有 職	19	5.3	5.3	10.5	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	5.3
学 生	13	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無 職	9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1
全 体	41	12.2	2.4	7.3	0.0	0.0	4.9	4.9	0.0	4.9

職業	人数 (n)	<書庫> で利用した雑誌分野割合 (%) ②								
		10 歴史・系譜	11 地理・地図	12 地域情報：日本	13 地域情報：世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 政策 警察・消防・都市	17 外交・安全保障	18 法律
有 職	19	5.3	0.0	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0
学 生	13	30.8	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無 職	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	41	12.2	0.0	7.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0

職業	人数 (n)	<書庫> で利用した雑誌分野割合 (%) ③								
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障
有 職	19	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0
学 生	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0
無 職	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	41	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	9.8	2.4	0.0

※網掛けは各職業で最も割合が高い雑誌分野。

※職業の無回答・無効票は除く。

職業	人数 (n)	<書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
有職	19	5.3	15.8	5.3	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3
学生	13	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	41	4.9	12.2	4.9	2.4	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4

職業	人数 (n)	<書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 食文化・栄養・料理・食品工業	39 芸・ペット 産業政策・農林水産業・園	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
有職	19	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
学生	13	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	9	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0
全体	41	0.0	0.0	2.4	7.3	0.0	2.4	2.4	2.4	2.4

職業	人数 (n)	<書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥								
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他			
有職	19	0.0	15.8	0.0	0.0	10.5	0.0			
学生	13	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
無職	9	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0			
全体	41	0.0	12.2	0.0	0.0	7.3	0.0			

※網掛けは各職業で最も割合が高い雑誌分野。

※職業の無回答・無効票は除く。

■表 12.21 『東京マガジバンクの〈書庫内〉で利用した雑誌分野』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	〈書庫〉で利用した雑誌分野割合 (%) ①								
		01 女性誌	02 情報科学・ 情報工学	03 学術・ 団体	04 博物館	05 ジャーナリズム・ 雑誌・ 新聞	06 図書館	07 出版・ 書評・ 読書	08 哲学・ 思想・ 心理学	09 宗教
仕事上の調査研究	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
個人的な調査研究	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
日常生活に必要な知識や情報の入手	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教養・趣味のための読書	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
試験勉強	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
全 体	36	13.9	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8	0.0	5.6

利用目的	人数 (n)	〈書庫〉で利用した雑誌分野割合 (%) ②									
		10 歴史・ 系譜	11 地理・ 地図	12 地域情報・ 日本	13 地域情報・ 世界	14 総合誌	15 政治	16 防災 政策 警察・ 消防・ 都市	17 外交・ 安全保障	18 法律	
仕事上の調査研究	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
個人的な調査研究	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
日常生活に必要な知識や情報の入手	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
教養・趣味のための読書	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	9	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全 体	36	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

利用目的	人数 (n)	<書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ③								
		19 経済学 人口・資源	20 経営・ビジネス	21 サービス業・広告	22 財政・金融	23 社会・文化・民俗	24 労働	25 家庭・子育て	26 男性誌	27 福祉・社会保障
仕事上の調査研究	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
個人的な調査研究	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日常生活に必要な知識や情報の入手	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
教養・趣味のための読書	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	2.8	0.0

利用目的	人数 (n)	<書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ④								
		28 くらし・生活科学	29 教育	30 自然科学	31 医学・健康 看護 薬学	32 技術・工学 エネルギー	33 土木工学	34 環境	35 建築・住宅	36 機械・電気・金属・石油
仕事上の調査研究	6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
個人的な調査研究	10	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日常生活に必要な知識や情報の入手	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教養・趣味のための読書	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	9	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	36	5.6	11.1	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

利用目的	人数 (n)	<書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ⑤								
		37 製造工業・化学工業	38 業 食文化・栄養・料理・食品工	39 芸・ペット 産業政策・農林水産業・園	40 乗り物・交通・観光	41 通信・放送・郵便	42 芸術	43 彫刻・絵画・版画・工芸	44 写真・印刷	45 音楽・舞踏
仕事上の調査研究	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
個人的な調査研究	10	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
日常生活に必要な知識や情報の入手	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
教養・趣味のための読書	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	9	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 体	36	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	2.8	2.8	2.8	2.8

利用目的	人数 (n)	<書庫>で利用した雑誌分野割合 (%) ⑥									
		46 映画・演劇	47 スポーツ	48 茶道・華道・囲碁・将棋等	49 言語	50 文学・文芸	その他				
仕事上の調査研究	6	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0				
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
個人的な調査研究	10	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0				
日常生活に必要な知識や情報の入手	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
教養・趣味のための読書	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0				
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
試験勉強	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
その他	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
全 体	36	0.0	11.1	0.0	0.0	8.3	0.0				

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌分野。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

■『東京マガジンバンクの<書庫内>で利用した』雑誌名・冊数など記述回答

雑誌名	件数
女性誌・ファッション誌	1
●カルディエ	
くらし・生活・料理など	4
●Free&Easy	
●きょうの料理	
●月刊給食	
●美しい部屋	
医療医学・健康など	2
●医学図書館	
●薬学図書館	
趣 味	3
●鉄道ピクトリアル	
●鉄道ダイヤ情報	
●俳句研究	
スポーツ	1
●ベースボールマガジン	
芸術・美術・科学・文学など	2
●ナショナルジオグラフィック日本版	
●白居易研究年報	
歴 史	3
●史学雑誌	
●日本歴史	
●歴史評論	
その他	3
●蛍雪時代	
●別冊知性	
●宗教	

※雑誌名は都立図書館の目録に合わせて表記している。

●東京マガジンバンク<書庫内>で利用した雑誌分野について

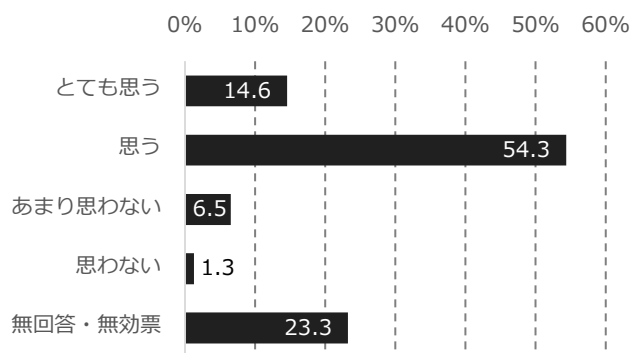
東京マガジンバンク<書庫内>で利用した雑誌分野については、「女性誌」「歴史・系譜」「教育」「スポーツ」がともに12.2%で最も高い利用割合となった。ただし、どの雑誌分野も回答母数が低く、顕著な傾向はつかめない(グラフ12.27)。

年齢別、職業別、利用目的別でも同様である(表12.19、12.20、12.21)。

【問 11-(4) 東京マガジンバンクの「雑誌分類」についてお聞きします。】

■表 12.22 『「雑誌分類」はわかりやすい分類だと思いますか。』件数割合

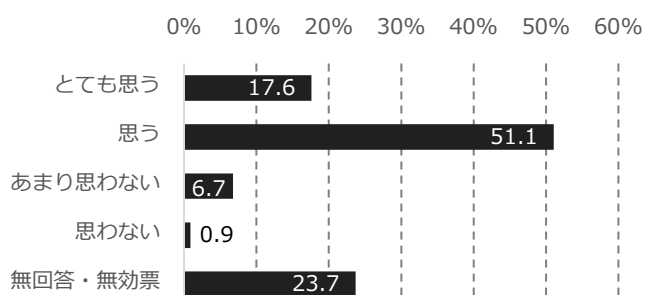
	件数	割合
とても思う	67	14.6
思う	250	54.3
あまり思わない	30	6.5
思わない	6	1.3
無回答・無効票	107	23.3
全体	460	100.0



グラフ 12.28

■表 12.23 『「雑誌分類」は利用する雑誌を選ぶ際に役に立つと思いますか。』件数割合

	件数	割合
とても思う	81	17.6
思う	235	51.1
あまり思わない	31	6.7
思わない	4	0.9
無回答・無効票	109	23.7
全体	460	100.0



グラフ 12.29

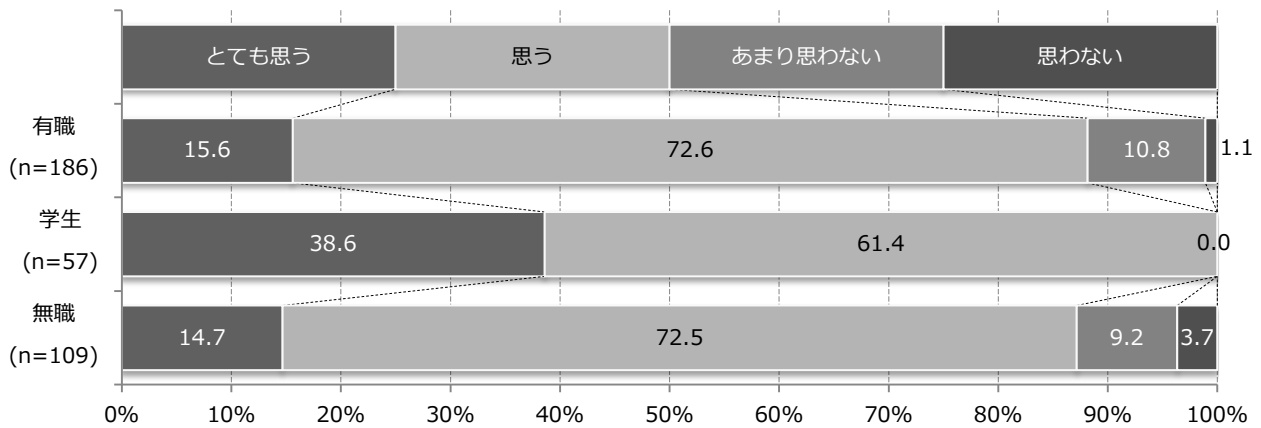
■表 12.24 『「雑誌分類」に基づいて並べた雑誌の配置は適当ですか。』件数割合

	件数	割合
とても良い	56	12.2
良い	256	55.7
あまり良くない	29	6.3
良くない	4	0.9
無回答・無効票	115	25.0
全体	460	100.0

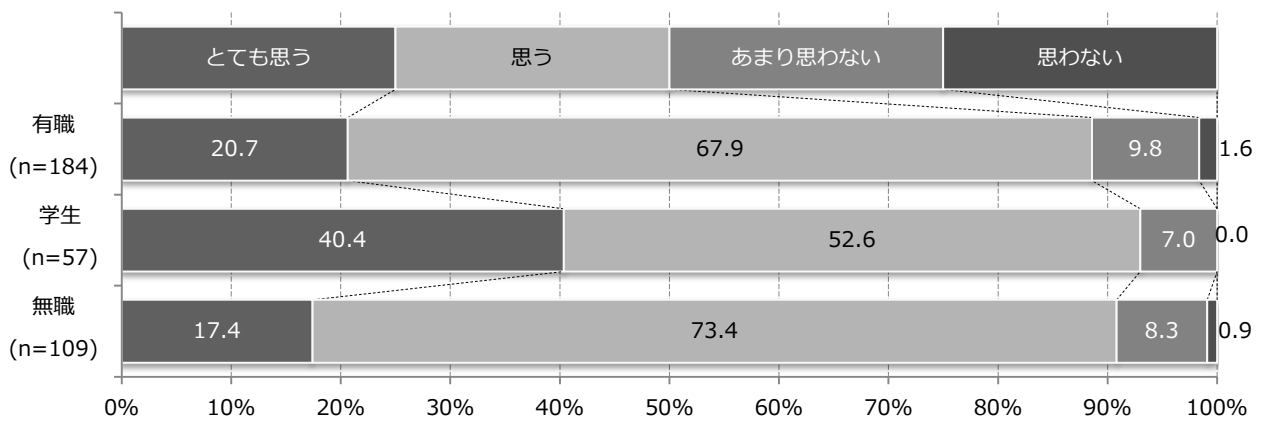


グラフ 12.30

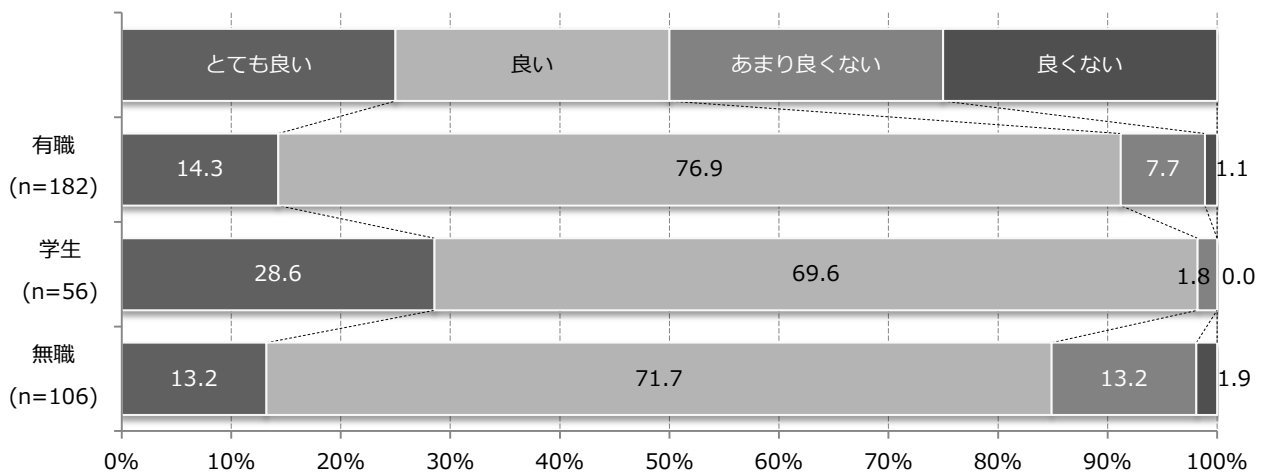
■グラフ 12.31 『「雑誌分類」はわかりやすい分類だと思いますか。』職業（3分類：有職・学生・無職）割合



■グラフ 12.32 『「雑誌分類」は利用する雑誌を選ぶ際に役に立つと思いますか。』職業（3分類：有職・学生・無職）割合



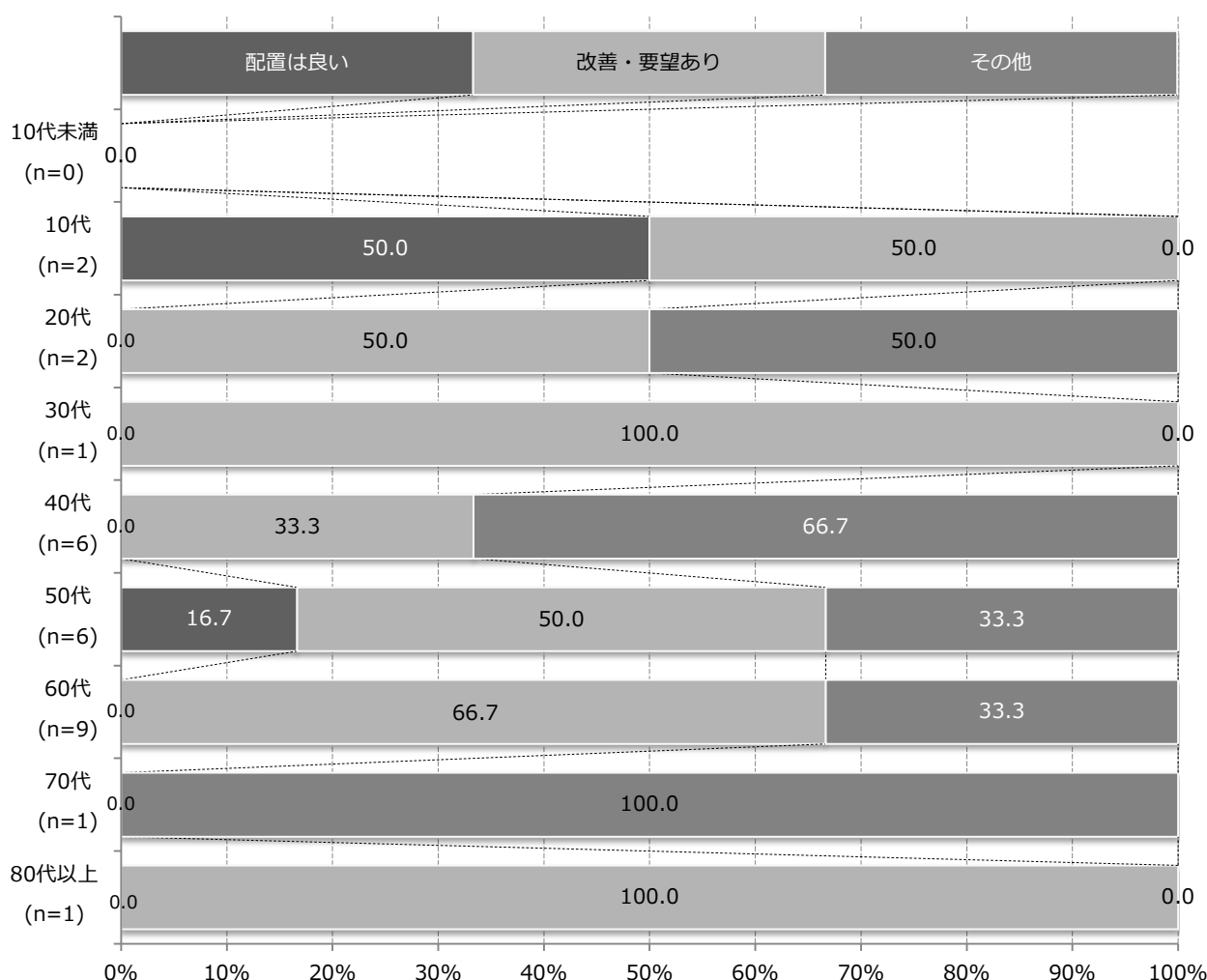
■グラフ 12.33 『「雑誌分類」に基づいて並べた雑誌の配置は適当ですか。』職業（3分類：有職・学生・無職）割合



■『雑誌分類や雑誌の配置について』の良い、または改善すべき点の記述回答（28件）

<p>良いと感じた意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 建築に関する本が多いことは素晴らしい。 ● 申し分ない。
<p>改善・要望点など</p>
<p>配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 下段が取り出しにくい。 ● 海外雑誌の並び方が分かりづらい。海外の最新情報が欲しいが、初心者なのでよく分からない。洋雑誌についての入門レベルの案内がほしい。 ● 都度クリックするのが面倒であるため、レファレンスサービスの資料、詳細に棚番号（配架図）が表示されていると良い。 ● 書庫内の雑誌も、一部は閲覧室配架にして手に取りやすくしてほしい。 ● 重要な雑誌が書庫に、あまり重要でない雑誌が閲覧室にあることが多い。 ● 同じテニスの雑誌なのに、場所が離れている。 ● 慣れれば問題ないが、同分類の雑誌で棚の表裏に配置される場合があり、探しにくい場合がある。
<p>分類について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 分類の仕方がわかり難く探しにくい。 ● 探している雑誌がどの分類か分からない。 ● 予想外の分類になっている雑誌もあり、探せないときもある。 ● 「雑誌分類」を見て探す前に「一覧性」のある索引があればなお楽。 ● 分類番号と対応する配置がすぐに分からなかった。 ● 現在の分類に加えて NDC の分類番号も書棚に記載してほしい。 ● 一次分類が細かすぎる。 ● 雑多にまとめすぎている感がある。図書館の一般的な分類に準じてはどうか。女性誌などの分類はあってもよいと思う。
<p>表示について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本語（あいうえお）、英語名（アルファベット）の方がいい。 ● 文字を大きくしてほしい。 ● 表示の文字が読みにくい。 ● 棚番号と分類番号がまぎらわしい。 ● 初めて入館したのでまだまだ分かりにくい。
<p>蔵書の量について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開架のバックナンバーが少ない。 ● 1年、2年後に各雑誌を閲覧できるのだろうか。
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マイナーなスポーツ誌を置いてほしい。 ● 書庫のものは敷居が高いため、利用しづらい。 ● 関連する分野で置いていないが、ある程度重要という雑誌の情報が閲覧室に参考情報としてあると助かる。 ● 何となく漠然と中途半端に感じる。

■ グラフ 12.34 『雑誌分類や雑誌の配置について』 年齢割合 ※記述回答の 28 件について



● 「東京マガジンバンク」の雑誌分類について

「東京マガジンバンク」の雑誌分類の分かりやすさについては、「思う」が 250 件・54.3%と最も多く、「とても思う」は 67 件・14.6%であり、68.9%において雑誌分類が分かりやすいと感じている（表 12.22、グラフ 12.28）。

雑誌を選ぶ際に役に立つかどうかにおいても、「思う」が 235 件・51.1%と最も多く、「とても思う」は 81 件・17.6%であり、68.7%が役に立つと感じている（表 12.23、グラフ 12.29）。

雑誌の配置においても、「良い」が 256 件・55.7%と最も多く、「とても良い」は 56 件・12.2%であり、67.9%が雑誌の配置を評価している（表 12.24、グラフ 12.30）。

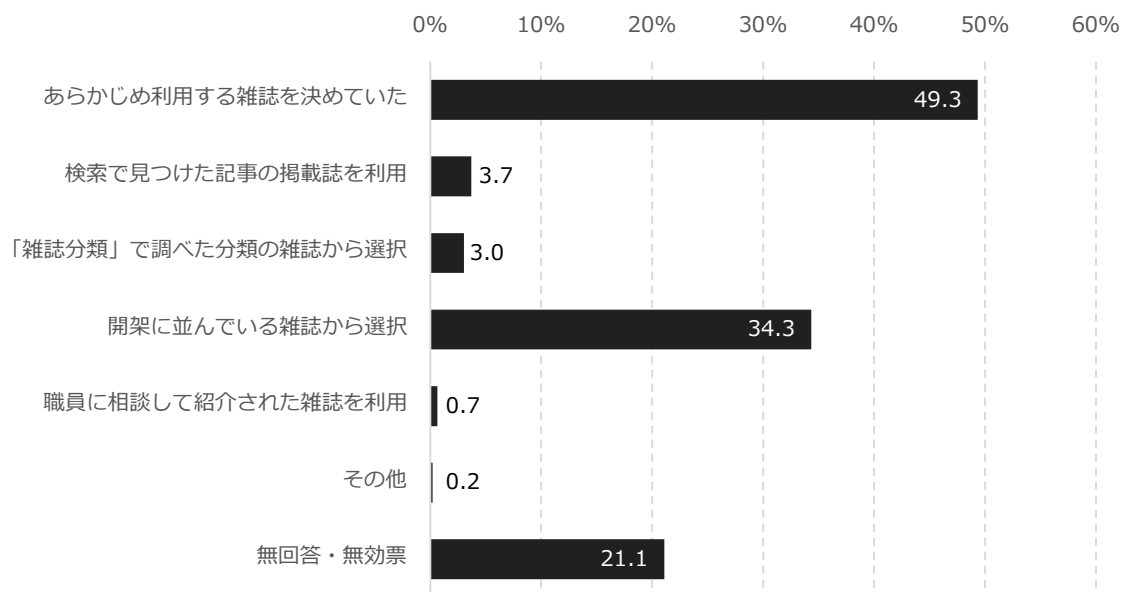
職業 3 分類別にみると、「学生」において、分類の分かりやすさの「とても思う」が 38.6%、役立つかの「とても思う」が 40.4%、配置の「とても良い」が 28.6%であり、それぞれ最も高い割合であった（グラフ 12.31、12.32、12.33）。

【問 11-(5) 今日利用した雑誌はどのようにして選びましたか。(複数回答可)】

■表 12.25 『東京マガジンバンクの雑誌選択方法』 件数割合

	件数	割合
あらかじめ利用する雑誌を決めていた	227	49.3
検索で見つけた記事の掲載誌を利用	17	3.7
「雑誌分類」で調べた分類の雑誌から選択	14	3.0
開架に並んでいる雑誌から選択	158	34.3
職員に相談して紹介された雑誌を利用	3	0.7
その他	1	0.2
無回答・無効票	97	21.1
全体	517	112.4

※全体件数は回答件数の合計。割合は (n=460) に対する値。



グラフ 12.35

■表 12.26 『東京マガジンバンクの雑誌選択方法』年齢割合

年齢	人数 (n)	雑誌選択方法割合(%)						
		あらかじめ利用する雑誌を決めていた	検索で見つけた記事の掲載誌を利用	「雑誌分類」で調べた分類の雑誌から選択	開架に並んでいる雑誌から選択	職員に相談して紹介された雑誌を利用	その他	無回答・無効票
10代未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10代	52	38.5	5.8	3.8	13.5	3.8	0.0	38.5
20代	49	44.9	4.1	0.0	32.7	0.0	0.0	22.4
30代	54	22.2	1.9	1.9	44.4	1.9	0.0	35.2
40代	80	50.0	7.5	3.8	32.5	0.0	0.0	18.8
50代	71	46.5	5.6	4.2	47.9	0.0	1.4	18.3
60代	76	64.5	0.0	2.6	32.9	0.0	0.0	14.5
70代	61	60.7	1.6	4.9	39.3	0.0	0.0	8.2
80代以上	15	86.7	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	13.3
全体	459	49.5	3.7	3.1	34.4	0.7	0.2	20.9

※網掛けは各年齢で最も割合が高い雑誌選択方法（無回答・無効票は除く。）。

※年齢の無回答・無効票は除く。

■表 12.27 『東京マガジンバンクの雑誌選択方法』職業（3分類：有職・学生・無職）割合

職業	人数 (n)	雑誌選択方法割合(%)						
		あらかじめ利用する雑誌を決めていた	検索で見つけた記事の掲載誌を利用	「雑誌分類」で調べた分類の雑誌から選択	開架に並んでいる雑誌から選択	職員に相談して紹介された雑誌を利用	その他	無回答・無効票
有職	231	48.5	4.8	4.3	39.4	0.4	0.4	18.2
学生	84	41.7	6.0	3.6	16.7	2.4	0.0	34.5
無職	142	56.3	0.7	0.7	36.6	0.0	0.0	16.9
全体	457	49.7	3.7	3.1	34.4	0.7	0.2	20.8

※網掛けは各職業で最も割合が高い雑誌選択方法。

※職業の無回答・無効票は除く。

■表 12.28 『東京マガジンバンクの雑誌選択方法』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	雑誌選択方法割合(%)						
		あらかじめ利用する雑誌を決めていた	検索で見つけた記事の掲載誌を利用	「雑誌分類」で調べた分類の雑誌から選択	開架に並んでいる雑誌から選択	職員に相談して紹介された雑誌を利用	その他	無回答・無効票
仕事上の調査研究	41	56.1	12.2	4.9	17.1	2.4	0.0	26.8
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	59	47.5	0.0	3.4	42.4	0.0	1.7	23.7
個人的な調査研究	48	70.8	4.2	2.1	20.8	0.0	0.0	16.7
日常生活に必要な知識や情報の入手	58	44.8	0.0	1.7	48.3	0.0	0.0	10.3
教養・趣味のための読書	107	49.5	2.8	0.9	43.0	0.9	0.0	15.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	35	42.9	11.4	2.9	17.1	2.9	0.0	28.6
試験勉強	46	32.6	0.0	4.3	28.3	0.0	0.0	39.1
その他	36	33.3	0.0	5.6	38.9	0.0	0.0	27.8
全体	430	47.9	3.3	2.8	34.7	0.7	0.2	21.6

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い雑誌選択方法。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

●「東京マガジンバンク」の雑誌選択方法について

「東京マガジンバンク」の雑誌選択方法については、「あらかじめ利用する雑誌を決めていた」が 227 件・49.3%と最も多く、次いで「開架に並んでいる雑誌から選択」が 158 件・34.3%と続いている（表 12.25、グラフ 12.35）。

年齢別にみると、「30代」「50代」では、「開架に並んでいる雑誌から選択」の割合が最も高く、その他の年代では「あらかじめ利用する雑誌を決めていた」が最も高い（表 12.26）。

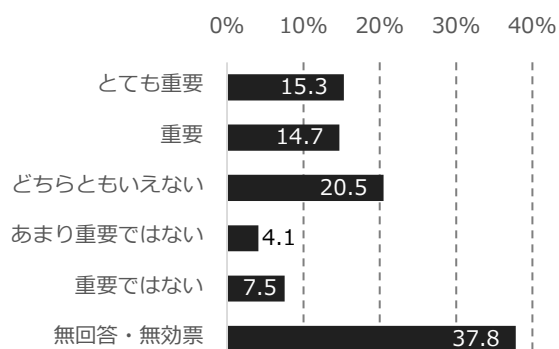
職業 3 分類別でも、「あらかじめ利用する雑誌を決めていた」の割合がいずれの分類でも最も割合が高い（表 12.27）。

利用目的別にみると、「日常生活に必要な知識や情報の入手」では、「開架に並んでいる雑誌から選択」の割合が最も高く、その他の利用目的では「あらかじめ利用する雑誌を決めていた」が最も高い（表 12.28）。

【問 11-(6) あなたにとって、この図書館の東京マガジンバンクは、どのくらい重要ですか。
また、東京マガジンバンクにどのくらい満足していますか。】

■表 12.29 『東京マガジンバンクの重要度』 件数割合

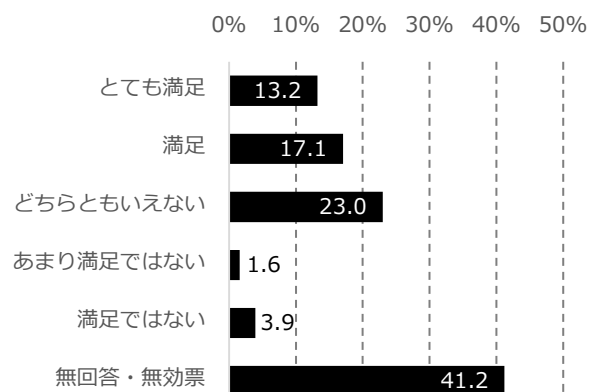
	件数	割合
とても重要	164	15.3
重要	158	14.7
どちらともいえない	220	20.5
あまり重要ではない	44	4.1
重要ではない	81	7.5
無回答・無効票	406	37.8
全体	1,073	100.0



グラフ 12.36

■表 12.30 『東京マガジンバンクの満足度』 件数割合

	件数	割合
とても満足	142	13.2
満足	183	17.1
どちらともいえない	247	23.0
あまり満足ではない	17	1.6
満足ではない	42	3.9
無回答・無効票	442	41.2
全体	1,073	100.0



グラフ 12.37

■表 12.31 『東京マガジンバンクの重要度・満足度』 過年度比較

	重要度の平均	満足度の平均	満足度－重要度
平成 28 年度 (n=2,097)	3.58	3.68	△ 0.10
平成 29 年度 (n=1,248)	3.49	3.66	△ 0.17
平成 30 年度 (n=1,607)	3.42	3.58	△ 0.16

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。

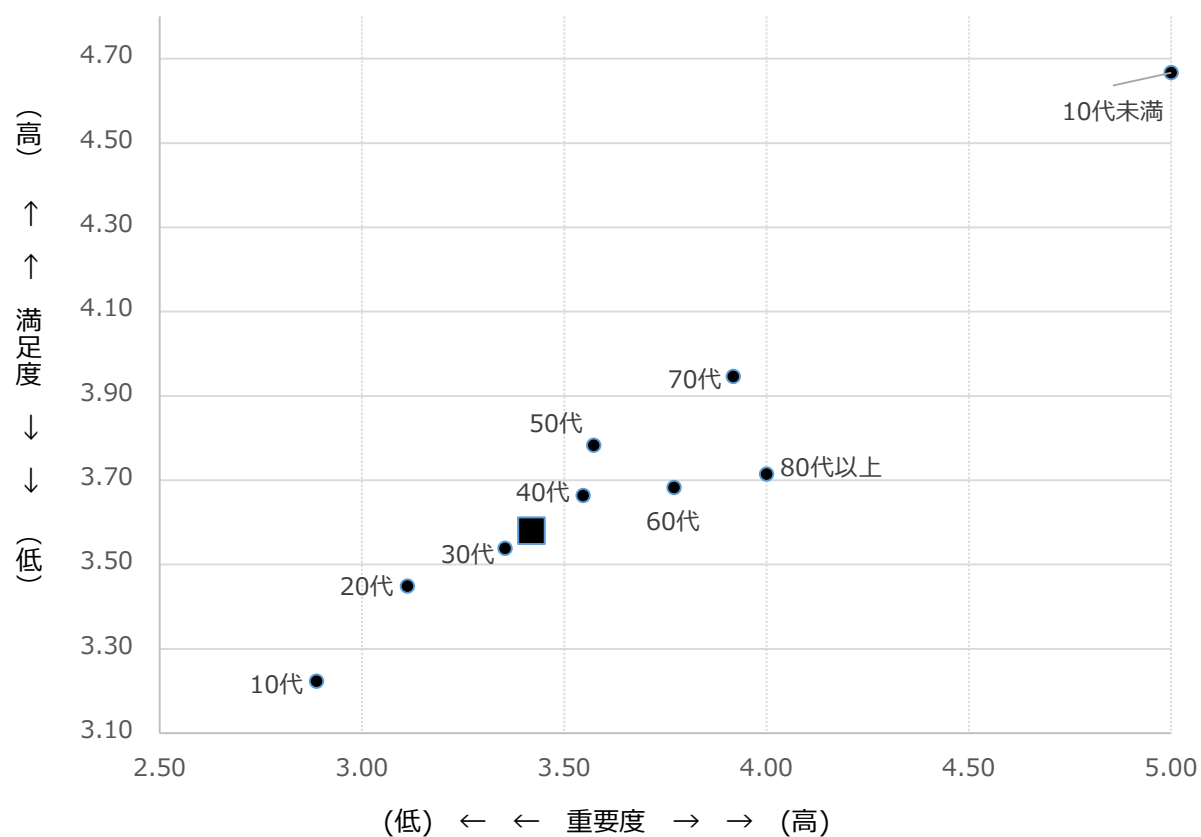
■表 12.32 『東京マガジンバンクの重要度・満足度』年齢

年 齢	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
10代未満	11	5.00	4.67	▼ 0.33
10代	245	2.89	3.22	△ 0.34
20代	131	3.11	3.45	△ 0.34
30代	135	3.35	3.54	△ 0.18
40代	164	3.55	3.66	△ 0.12
50代	128	3.57	3.78	△ 0.21
60代	126	3.77	3.68	▼ 0.09
70代	104	3.92	3.95	△ 0.03
80代以上	23	4.00	3.71	▼ 0.29
全 体	1,073	3.42	3.58	△ 0.16

※網掛けは重要度・満足度の最も高い年齢。

※年齢の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 12.38

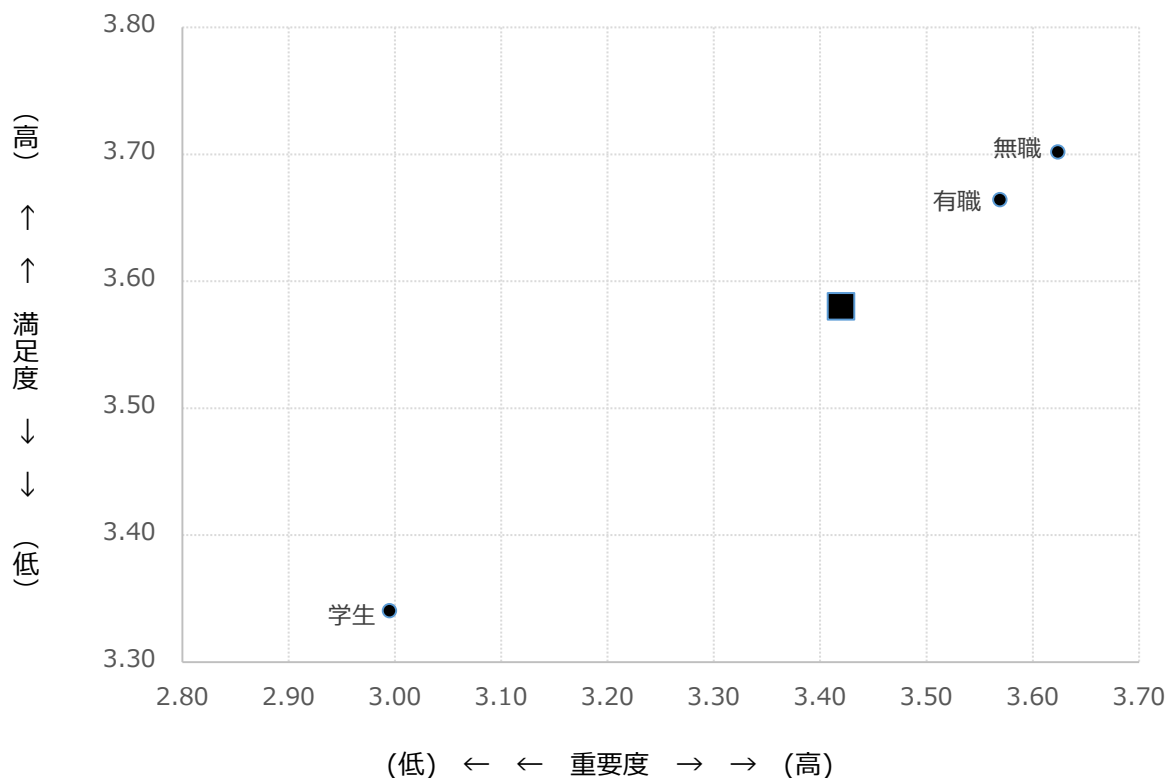
■表 12.33 『東京マガジンバンクの重要度・満足度』職業（3分類：有職・学生・無職）

職業	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
有職	455	3.57	3.66	△ 0.10
学生	335	2.99	3.34	△ 0.35
無職	272	3.62	3.70	△ 0.08
全体	1,073	3.42	3.58	△ 0.16

※網掛けは重要度・満足度の最も高い職業。

※職業の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 12.39

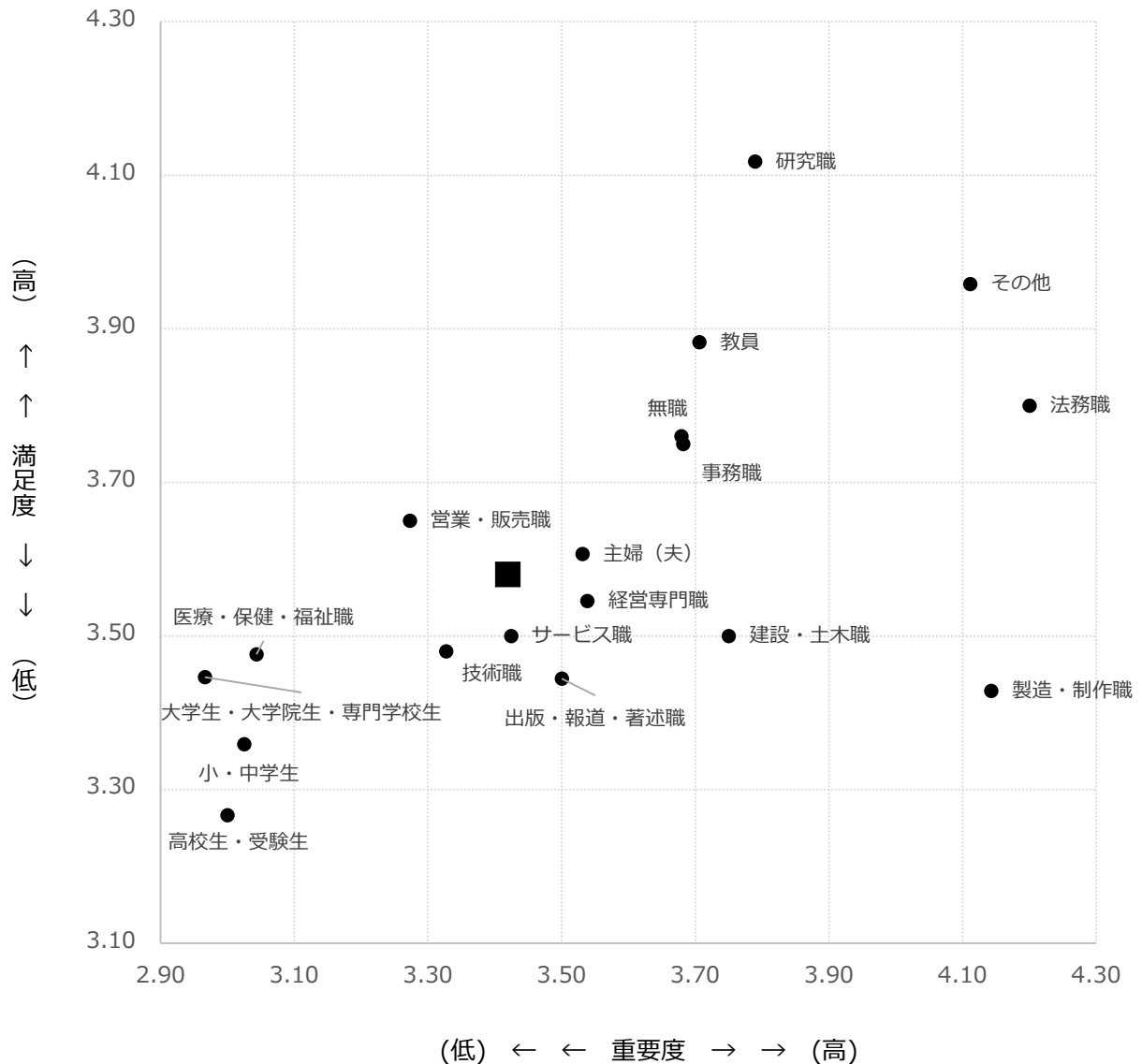
■表 12.34 『東京マガジンバンクの重要度・満足度』職業（18分類）

職業	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
事務職	94	3.68	3.75	△ 0.07
営業・販売職	33	3.27	3.65	△ 0.38
技術職	78	3.33	3.48	△ 0.15
研究職	22	3.79	4.12	△ 0.33
医療・保健・福祉職	36	3.04	3.48	△ 0.43
法務職	5	4.20	3.80	▼ 0.40
経営専門職	19	3.54	3.55	△ 0.01
教員	26	3.71	3.88	△ 0.18
出版・報道・著述職	17	3.50	3.44	▼ 0.06
サービス職	48	3.42	3.50	△ 0.08
製造・制作職	11	4.14	3.43	▼ 0.71
建設・土木職	14	3.75	3.50	▼ 0.25
主婦（夫）	103	3.53	3.61	△ 0.08
大学生・大学院生・専門学校生	95	2.97	3.45	△ 0.48
高校生・受験生	167	3.00	3.27	△ 0.27
小・中学生	73	3.03	3.36	△ 0.33
無職	169	3.68	3.76	△ 0.08
その他	52	4.11	3.96	▼ 0.15
全 体	1,073	3.42	3.58	△ 0.16

※網掛けは重要度・満足度の最も高い職業。

※職業の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



グラフ 12.40

●「東京マガジンバンク」の重要度・満足度について

「東京マガジンバンク」の重要度については、「とても重要」と「重要」を合わせると 322 件・30.0% となっている (表 12.29、グラフ 12.36)。

満足度については、「とても満足」と「満足」を合わせると 325 件・30.3%となっている (表 12.30、グラフ 12.37)。

過年度比較では、評価点平均重要度、評価点平均満足度ともに平成 28 年度から減少を続けている (表 12.31)。

年齢別でみると、「10 代未満」の重要度が 5.00、「10 代未満」の満足度が 4.67 と高い (表 12.32)。

職業 3 分類別では、「無職」において重要度が 3.62、満足度が 3.70 とどちらも最も高い (表 12.33)。

■『東京マガジンバンクの満足度』選択理由

満足度		件数	主な理由
5	とても満足	142	<ul style="list-style-type: none"> ●非常に意義深い取り組みだと思う。 ●見たいと思っていた雑誌が、ほぼ開架にあるから。 ●ここまで雑誌類が充実している所は少ないため。 ●蔵書が充実しており、受け渡しも早い。 ●読みたいと思った雑誌の新刊、または過去のものどちらもある。 ●他の市立図書館に無い業界誌や外国誌が利用できる。 ●自分の利用ニーズに合っている。 ●きれいで広々としている。 ●時間つぶしにちょうどよい。
4	満足	183	<ul style="list-style-type: none"> ●最新号のファッション誌が見られて便利。 ●興味のある分野の雑誌が豊富にあるため。 ●図書館へ行きやすくなる。 ●他の図書館にない本があるから。 ●専門誌を読むことができる。 ●既に書店には並んでいない過去の雑誌が読める。 ●専門誌を読むことができる。 ●すわってゆっくりと色々な種類の本を読める。 ●自由に選べる。選び易い。
3	どちらともいえない	247	<ul style="list-style-type: none"> ●資料は豊富だが蔵書と関係のない利用者で席が埋まっている。 ●自分の研究テーマに近い雑誌がない。 ●海外の雑誌をもっと増やして欲しい。 ●書庫内雑誌の手続きが面倒。 ●休憩・食事のためのスペースが十分ではない。 ●雑誌よりも書籍を読むことが多い。 ●根本的にどのようなものを理解してない。
2	あまり満足ではない	17	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽系（特にクラシック）の雑誌が少ない。 ●職員のスキルに個人差がありすぎる。 ●蔵書が片寄っている。
1	満足ではない	42	<ul style="list-style-type: none"> ●使い方が不明。 ●文字が小さい。 ●マガジン目的で来ていない。

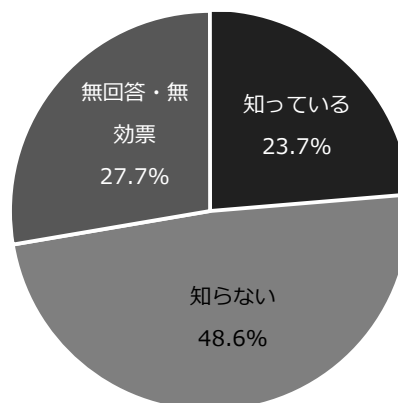
13. 児童・青少年資料サービス

【問 12 この図書館では、児童書、中高生向けの資料、児童書に関する研究書などの資料の提供や相談の受付・回答などの「児童・青少年資料サービス」を行っています。このサービスについてお答えください。】

【問 12-(1) 児童・青少年資料サービスを知っていますか。】

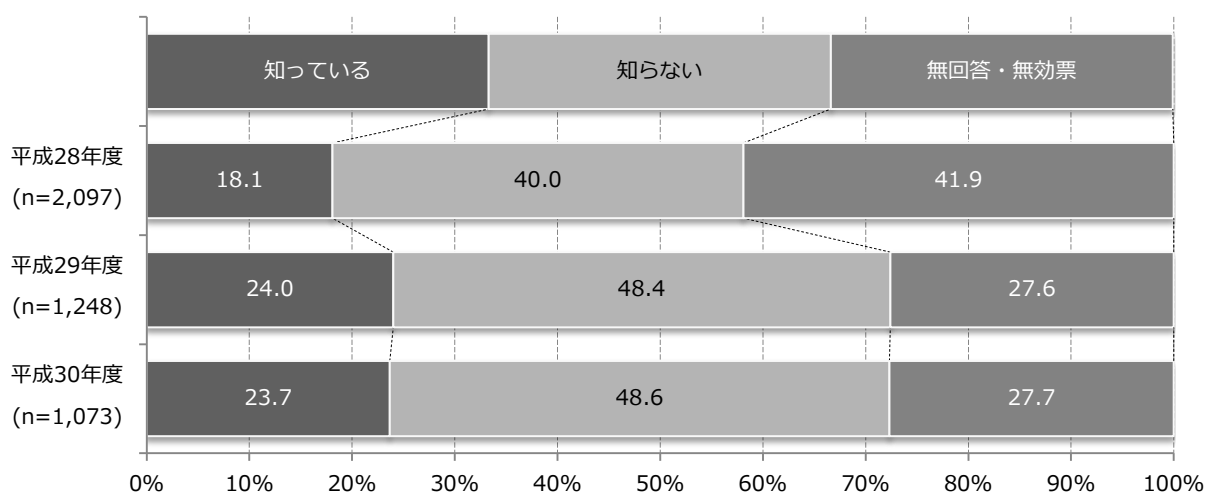
■表 13.1 『児童・青少年資料サービスの認知』 件数割合

	件数	割合
知っている	254	23.7
知らない	522	48.6
無回答・無効票	297	27.7
全体	1,073	100.0

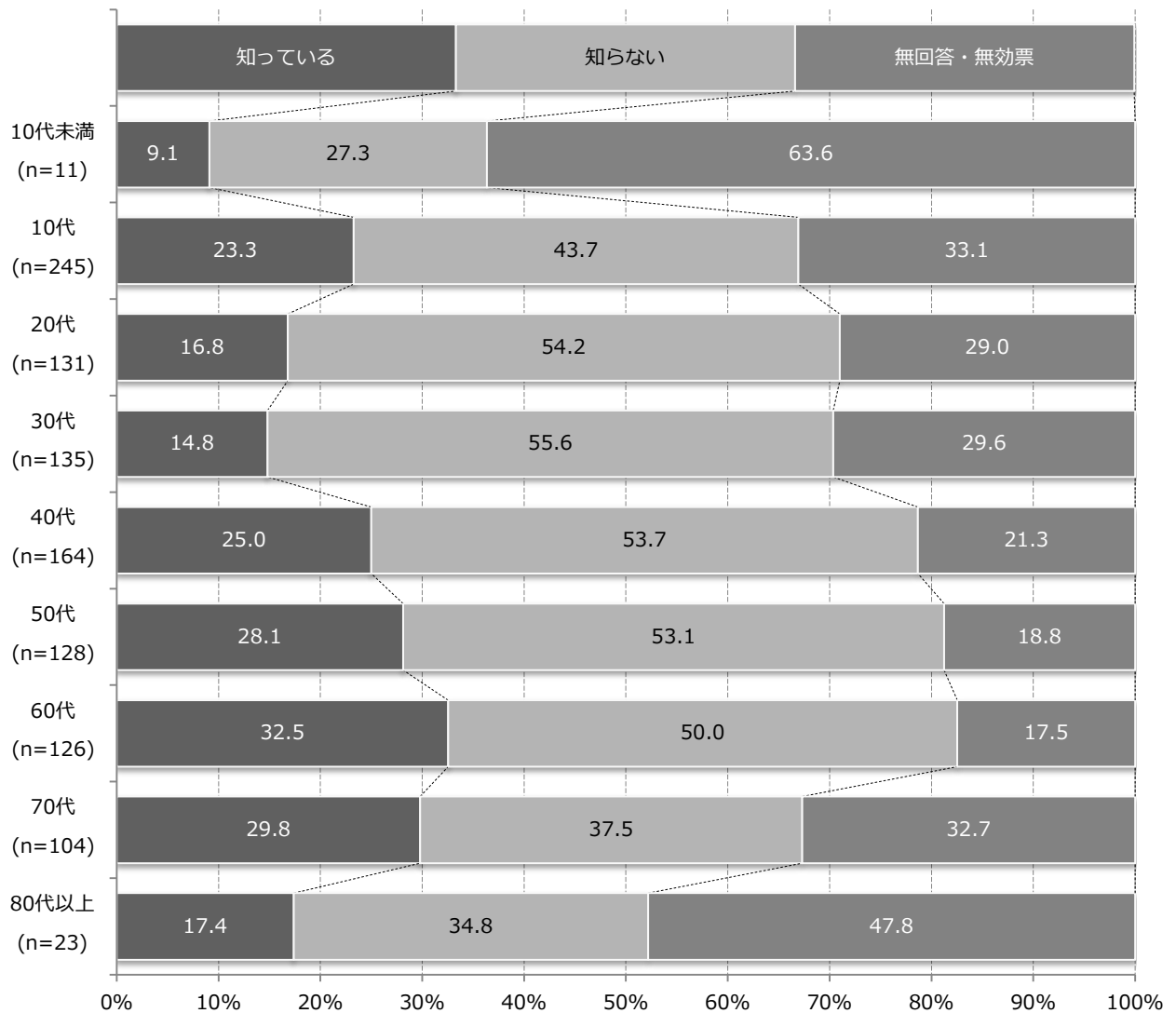


グラフ 13.1

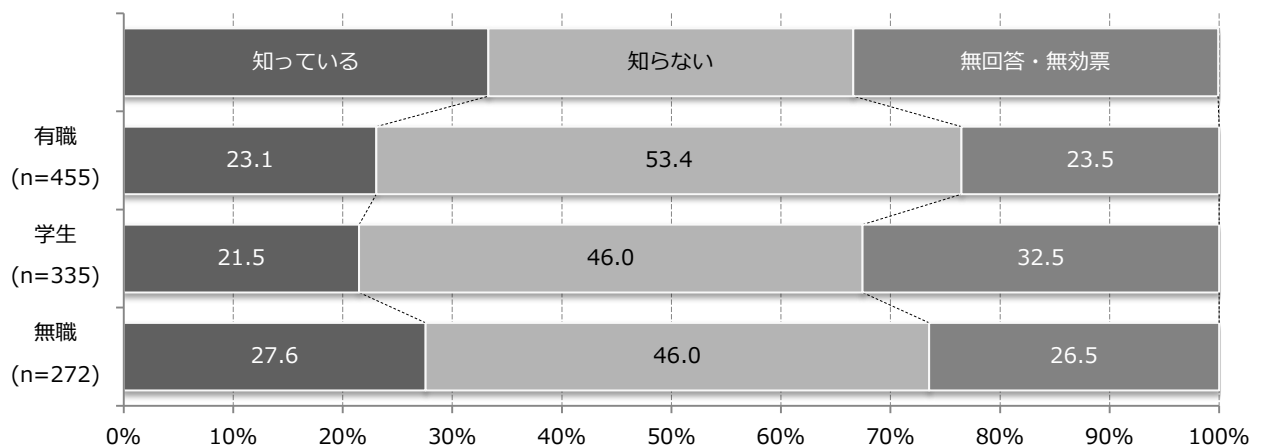
■グラフ 13.2 『児童・青少年資料サービスの認知』 過年度比較



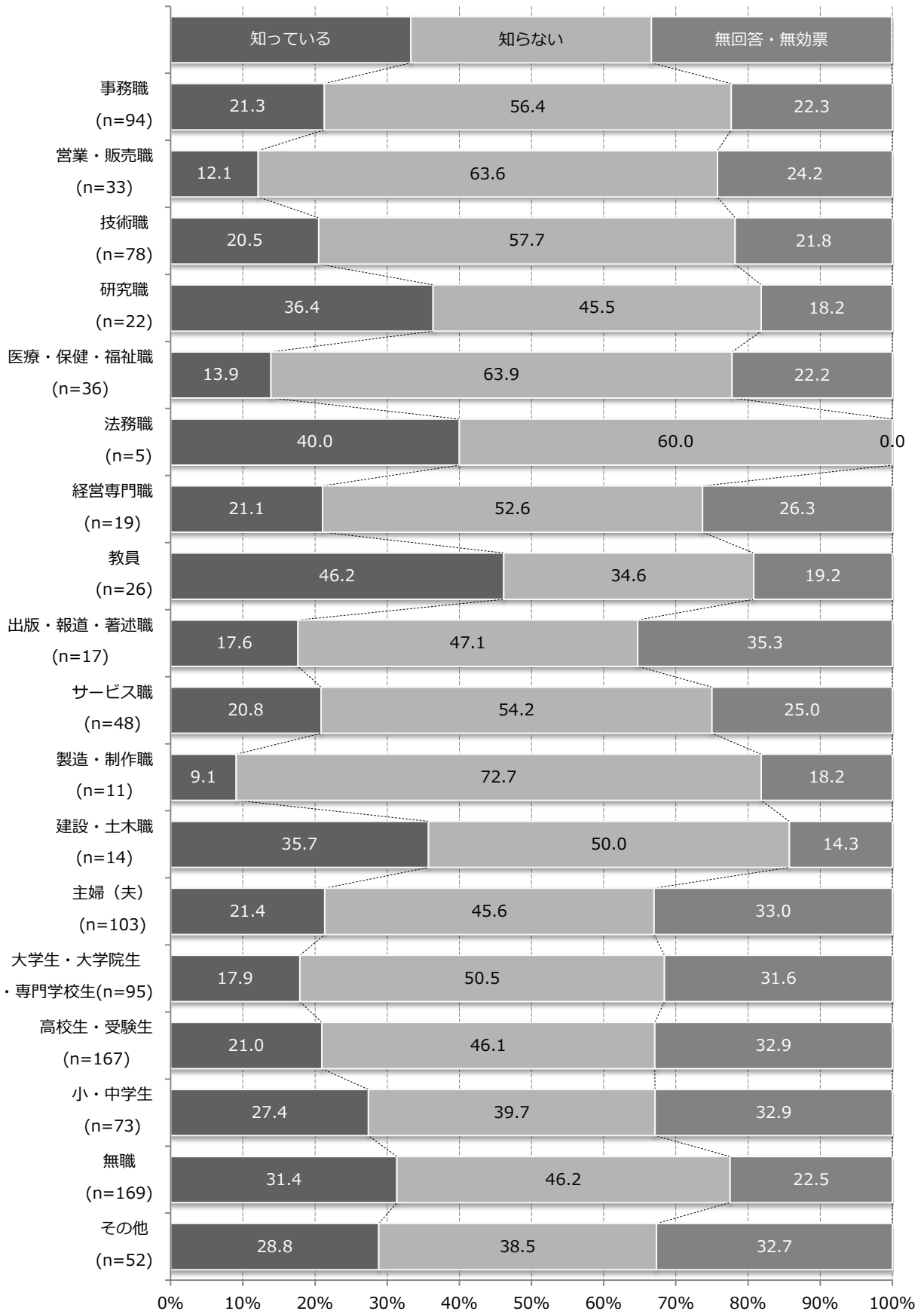
■ グラフ 13.3 『児童・青少年資料サービスの認知』 年齢割合



■ グラフ 13.4 『児童・青少年資料サービスの認知』 職業（3分類：有職・学生・無職）割合



■ グラフ 13.5 『児童・青少年資料サービスの認知』 職業（18 分類） 割合



- 「児童・青少年資料サービス」の認知について

「児童・青少年資料サービス」の認知については、「知らない」が 522 件・48.6%、「知っている」が 254 件・23.7%と認知度が低くなっている（表 13.1、グラフ 13.1）。

過年度比較では、「知っている」、「知らない」ともに平成 29 年度と同様の傾向である（グラフ 13.2）。

年齢別で見ると、「60 代」において「知っている」が 32.5%と最も割合が高く、次いで「70 代」が 29.8%、「50 代」が 28.1%の認知度である（グラフ 13.3）。

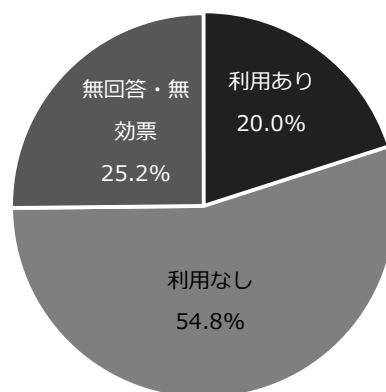
職業 3 分類別では、「無職」において「知っている」が 27.6%と最も割合が高い（グラフ 13.4）。

職業 18 分類別で見ると、「教員」において「知っている」が 46.2%と最も割合が高く、次いで「法務職」が 40.0%と認知度が高くなっている（グラフ 13.5）。

【問 12-(2) 児童・青少年資料サービスを利用したことがありますか。】

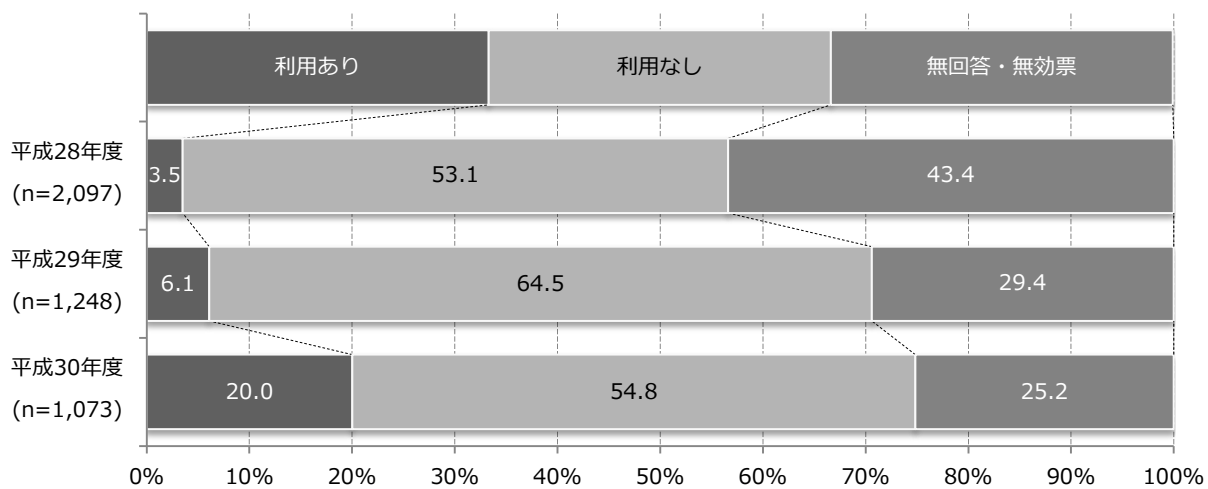
■表 13.2 『児童・青少年資料サービスの利用有無』 件数割合

	件数	割合
利用あり	215	20.0
利用なし	588	54.8
無回答・無効票	270	25.2
全体	1,073	100.0

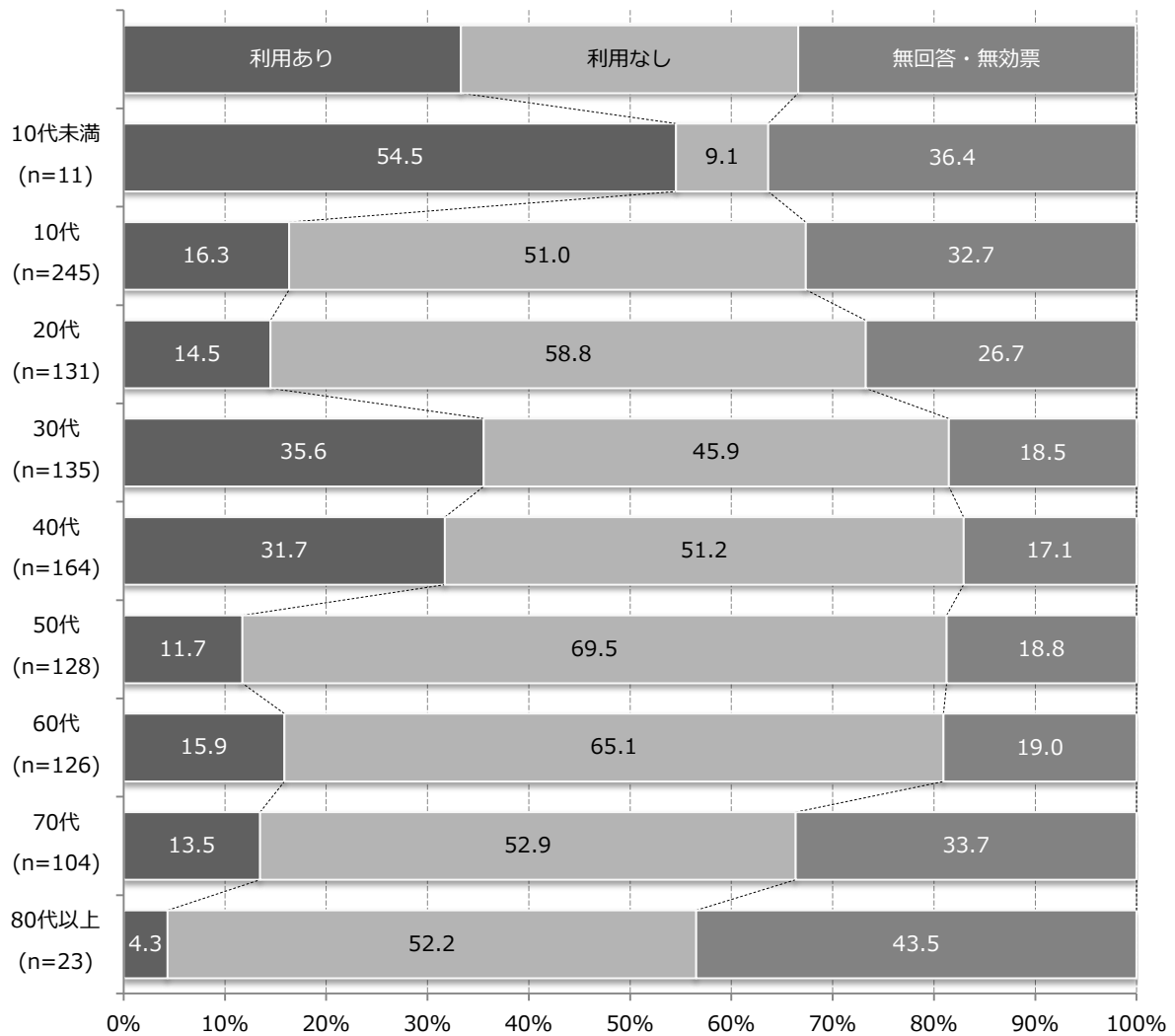


グラフ 13.6

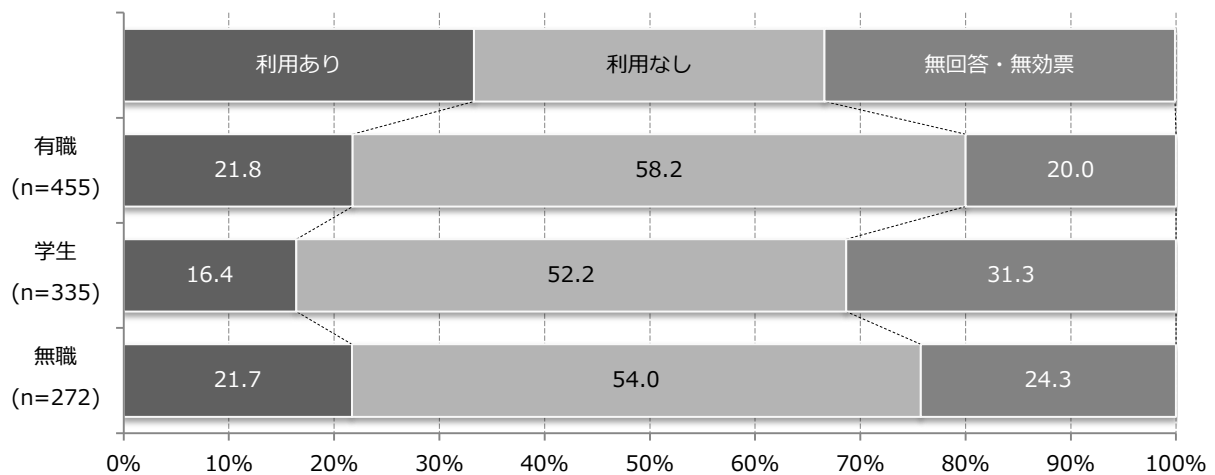
■グラフ 13.7 『児童・青少年資料サービスの利用有無』 過年度比較



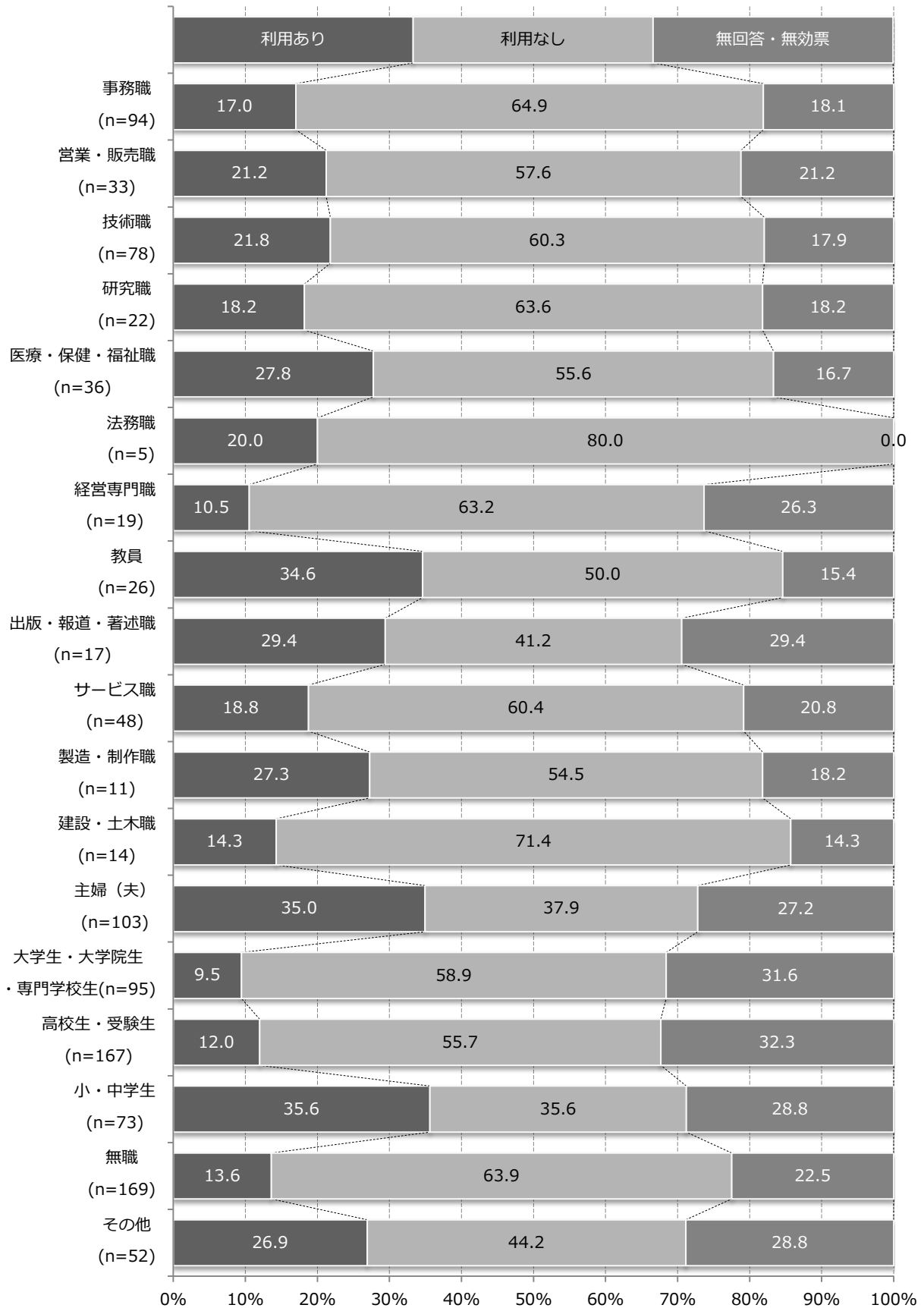
■ グラフ 13.8 『児童・青少年資料サービスの利用有無』年齢割合



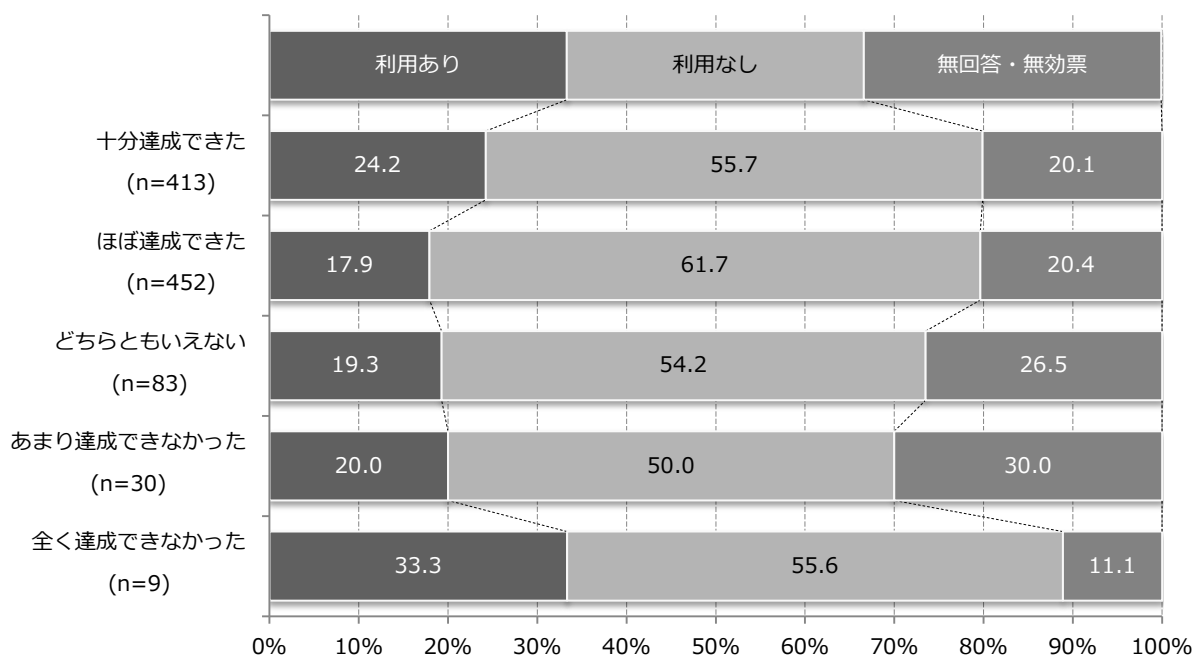
■ グラフ 13.9 『児童・青少年資料サービスの利用有無』職業（3分類：有職・学生・無職）割合



■ グラフ 13.10 『児童・青少年資料サービスの利用有無』職業（18分類）割合

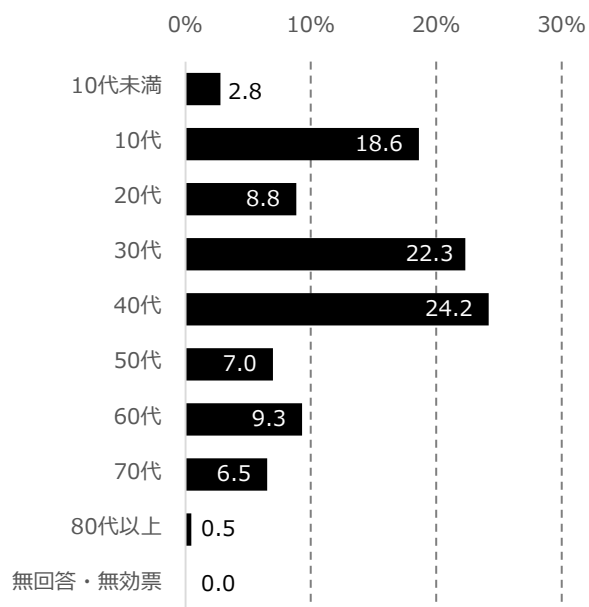


■ グラフ 13.11 『児童・青少年資料サービスの利用有無』 目的達成状況割合



■ 表 13.3 『児童・青少年資料サービスの利用あり』 年齢件数割合

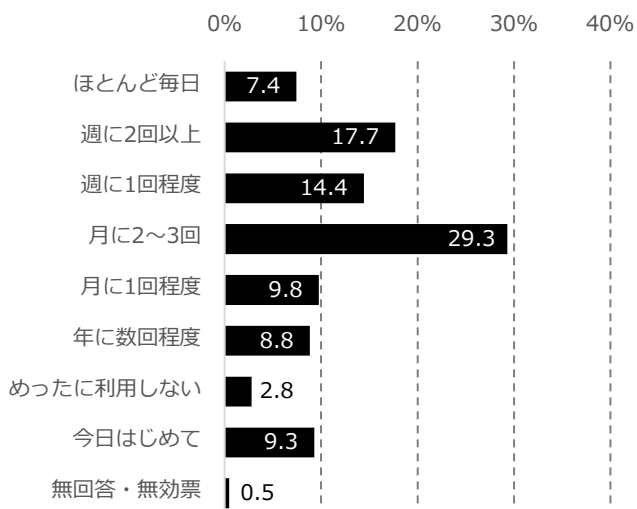
	件数	割合
10代未満	6	2.8
10代	40	18.6
20代	19	8.8
30代	48	22.3
40代	52	24.2
50代	15	7.0
60代	20	9.3
70代	14	6.5
80代以上	1	0.5
無回答・無効票	0	0.0
全体	215	100.0



グラフ 13.12

■表 13.4 『児童・青少年資料サービスの利用あり』利用頻度件数割合

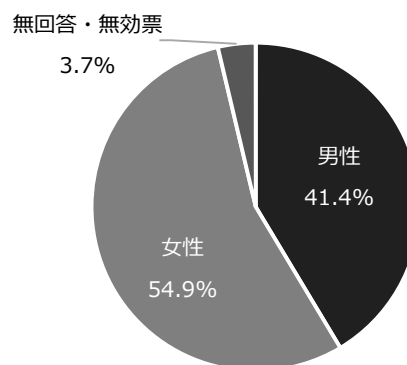
	件数	割合
ほとんど毎日	16	7.4
週に2回以上	38	17.7
週に1回程度	31	14.4
月に2~3回	63	29.3
月に1回程度	21	9.8
年に数回程度	19	8.8
めったに利用しない	6	2.8
今日初めて	20	9.3
無回答・無効票	1	0.5
全体	215	100.0



グラフ 13.13

■表 13.5 『児童・青少年資料サービスの利用あり』性別件数割合

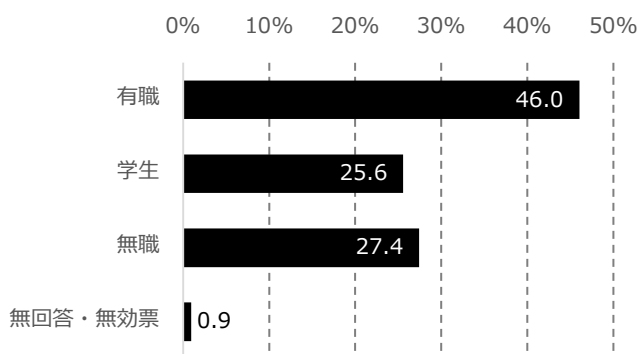
	件数	割合
男性	89	41.4
女性	118	54.9
無回答・無効票	8	3.7
全体	215	100.0



グラフ 13.14

■表 13.6 『児童・青少年資料サービスの利用あり』職業（3分類：有職・学生・無職）件数割合

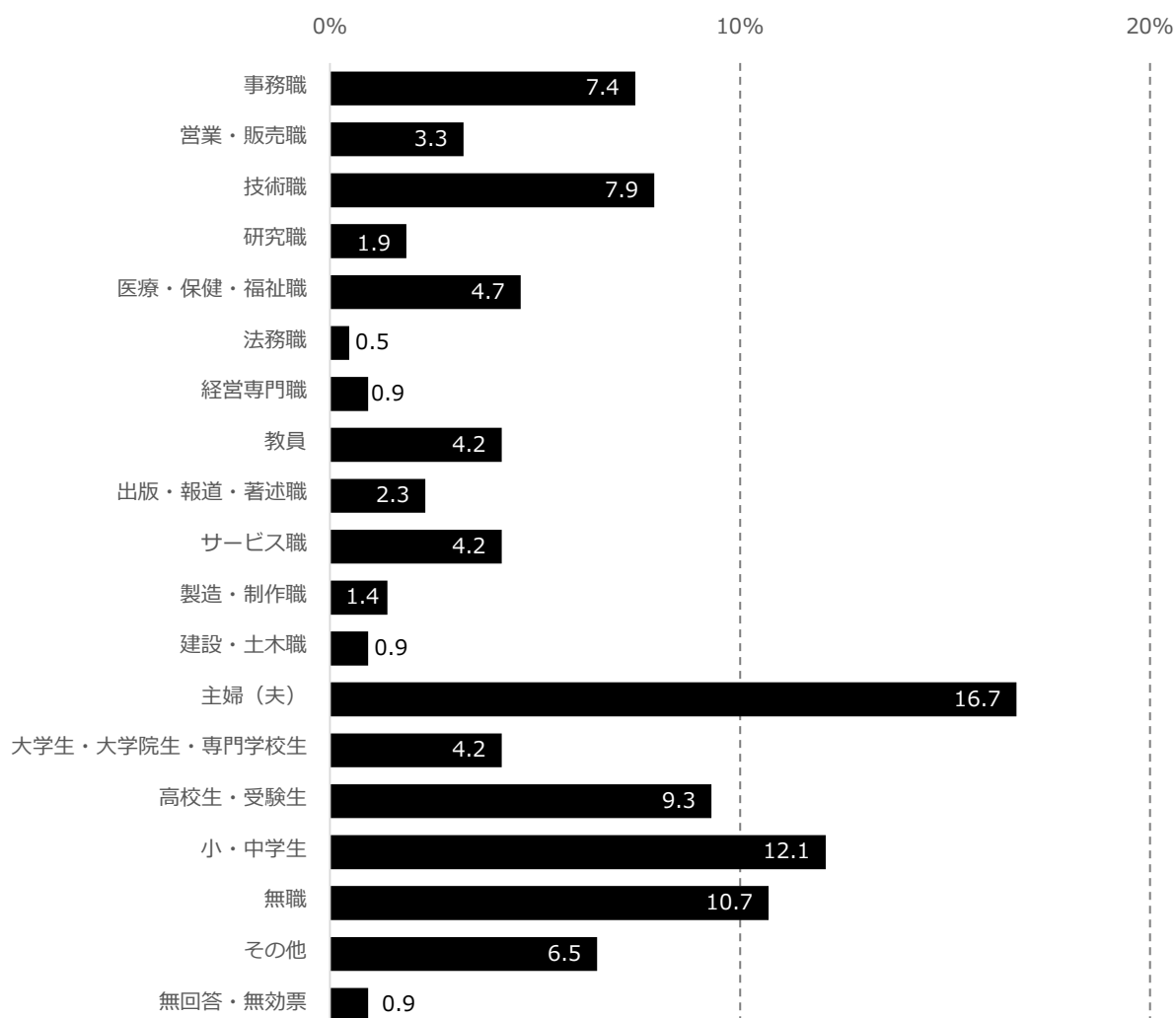
	件数	割合
有職	99	46.0
学生	55	25.6
無職	59	27.4
無回答・無効票	2	0.9
全体	215	100.0



グラフ 13.15

■表 13.7 『児童・青少年資料サービスの利用あり』職業（18 分類）件数割合

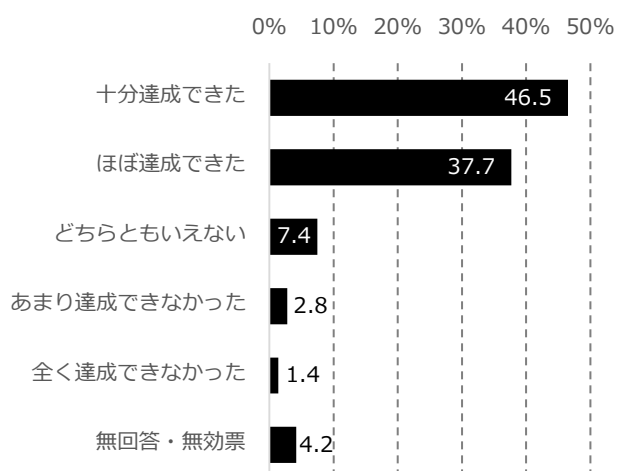
	件数	割合		件数	割合
事務職	16	7.4	製造・制作職	3	1.4
営業・販売職	7	3.3	建設・土木職	2	0.9
技術職	17	7.9	主婦（夫）	36	16.7
研究職	4	1.9	大学生・大学院生・専門学校生	9	4.2
医療・保健・福祉職	10	4.7	高校生・受験生	20	9.3
法務職	1	0.5	小・中学生	26	12.1
経営専門職	2	0.9	無職	23	10.7
教員	9	4.2	その他	14	6.5
出版・報道・著述職	5	2.3	無回答・無効票	2	0.9
サービス職	9	4.2			
			全 体	215	100.0



グラフ 13.16

■表 13.8 『児童・青少年資料サービスの利用あり』目的達成状況件数割合

	件数	割合
十分達成できた	100	46.5
ほぼ達成できた	81	37.7
どちらともいえない	16	7.4
あまり達成できなかった	6	2.8
全く達成できなかった	3	1.4
無回答・無効票	9	4.2
全体	215	100.0



グラフ 13.17

● 「児童・青少年資料サービス」の利用について

「児童・青少年資料サービス」の利用有無については、「利用あり」が215件・20.0%、「利用なし」が588件・54.8%である。(表13.2、グラフ13.6)。

過年度比較では、「利用あり」が平成28年度から16.5%、平成29年度から13.9%増加している(グラフ13.7)。

年齢別でみると、「利用あり」の割合が最も高いのが、「10代未満」の54.5%、次いで「30代」の35.6%となっている(グラフ13.8)。

「利用あり」の回答から利用頻度をみると、「月2～3回」が63件・29.3%と最も多く、次いで「週に2回以上」が38件・17.7%、「週に1回程度」が31件・14.4%となっている(表13.4、グラフ13.13)。

職業3分類別では、「有職」が99件・46.0%で最も多い(表13.6、グラフ13.15)。

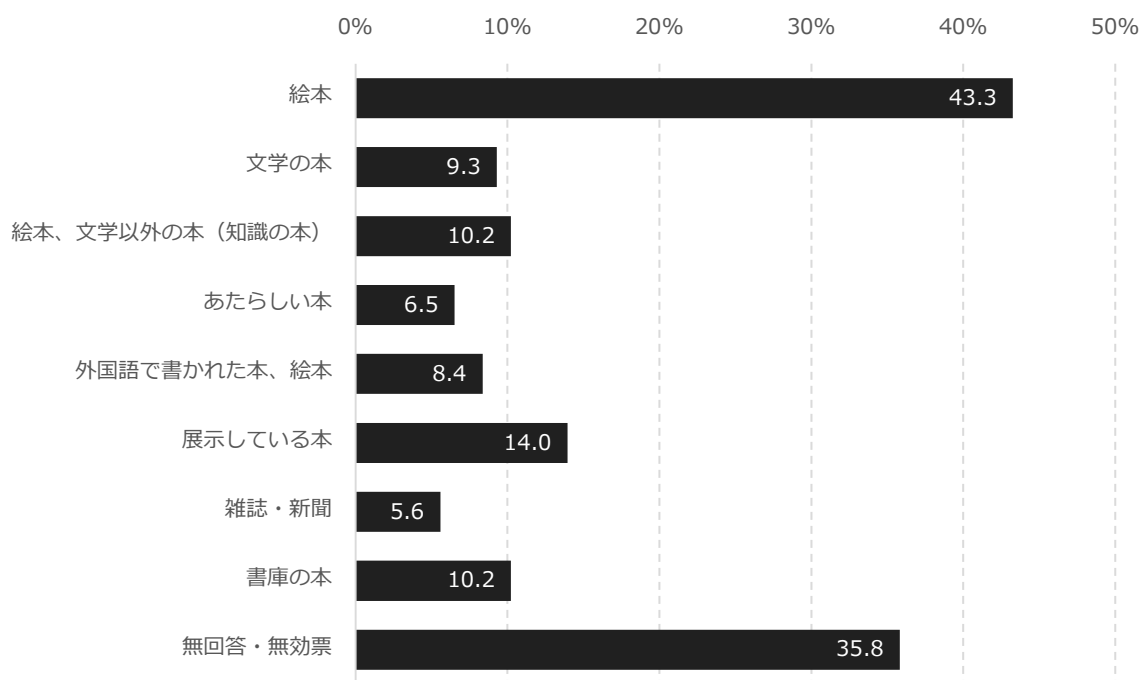
目的達成状況別では、「十分達成できた」が100件・46.5%で最も多く、次いで「ほぼ達成できた」が81件・37.7%であり、合わせて181件・84.2%の割合で目的が達成できている(表13.8、グラフ13.17)。

【問 12-(3) こどものへや（えほんのこべや）の資料を利用された方にお聞きします。利用された資料はどれですか。（複数回答可）】

■表 13.9 『こどものへや（えほんのこべや）で利用した資料』件数割合

	件数	割合		件数	割合
絵本	93	43.3	展示している本	30	14.0
文学の本	20	9.3	雑誌・新聞	12	5.6
絵本、文学以外の本（知識の本）	22	10.2	書庫の本	22	10.2
あたらしい本	14	6.5	無回答・無効票	77	35.8
外国語で書かれた本、絵本	18	8.4			
			全 体	308	143.3

※全体件数は回答件数の合計。割合は問 12 (3) ~ (5) のいずれかを回答している (n=199) に対する値。



グラフ 13.18

■表 13.10 『こどものへや (えほんのこべや) で利用した資料』 年齢割合

年齢	人数 (n)	<こどものへや (えほんのこべや) > 利用資料割合 (%)								
		絵本	文学の本	絵本、文学以外の本 (知識の本)	あたらしい本	外国語で書かれた本、 絵本	展示している本	雑誌・新聞	書庫の本	無回答・無効票
10代未満	6	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7
10代	40	12.5	17.5	2.5	10.0	5.0	5.0	10.0	15.0	57.5
20代	19	26.3	5.3	5.3	0.0	15.8	10.5	0.0	10.5	47.4
30代	48	77.1	10.4	20.8	8.3	8.3	14.6	2.1	6.3	12.5
40代	52	61.5	5.8	9.6	7.7	11.5	21.2	1.9	11.5	15.4
50代	15	26.7	13.3	0.0	0.0	13.3	20.0	6.7	6.7	60.0
60代	20	15.0	0.0	15.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	65.0
70代	14	35.7	7.1	7.1	0.0	0.0	21.4	21.4	0.0	50.0
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	215	43.3	9.3	10.2	6.5	8.4	14.0	5.6	10.2	35.8

※網掛けは各年齢で最も割合が高い利用資料。

※年齢の無回答・無効票は除く。

■表 13.11 『こどものへや (えほんのこべや) で利用した資料』 職業 (3分類: 有職・学生・無職) 割合

職業	人数 (n)	<こどものへや (えほんのこべや) > 利用資料割合 (%)								
		絵本	文学の本	絵本、文学以外の本 (知識の本)	あたらしい本	外国語で書かれた本、 絵本	展示している本	雑誌・新聞	書庫の本	無回答・無効票
有職	99	48.5	8.1	10.1	6.1	8.1	13.1	3.0	7.1	34.3
学生	55	18.2	16.4	5.5	7.3	9.1	9.1	9.1	16.4	49.1
無職	59	59.3	5.1	15.3	6.8	8.5	20.3	6.8	6.8	27.1
全体	213	43.7	9.4	10.3	6.6	8.5	14.1	5.6	9.4	36.2

※網掛けは各職業で最も割合が高い利用資料。

※職業の無回答・無効票は除く。

■表 13.12 『こどものへや (えほんのこべや) で利用した資料』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	<こどものへや (えほんのこべや) > 利用資料割合 (%)								
		絵本	文学の本	絵本、文学以外の本 (知識の本)	あたらしい本	外国語で書かれた本、絵本	展示している本	雑誌・新聞	書庫の本	無回答・無効票
仕事上の調査研究	21	42.9	14.3	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	9.5	38.1
仕事に関連した自分の勉強・自己啓発	16	37.5	12.5	6.3	6.3	18.8	12.5	6.3	12.5	62.5
個人的な調査研究	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5
日常生活に必要な知識や情報の入手	8	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	50.0
教養・趣味のための読書	42	57.1	14.3	11.9	11.9	7.1	11.9	9.5	9.5	31.0
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	17	11.8	5.9	11.8	0.0	11.8	5.9	0.0	11.8	58.8
試験勉強	24	12.5	16.7	4.2	4.2	12.5	4.2	8.3	16.7	50.0
その他	66	69.7	4.5	12.1	4.5	9.1	25.8	6.1	7.6	10.6
全 体	202	45.0	9.9	10.4	5.0	8.9	14.4	5.4	9.9	35.1

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い利用資料。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

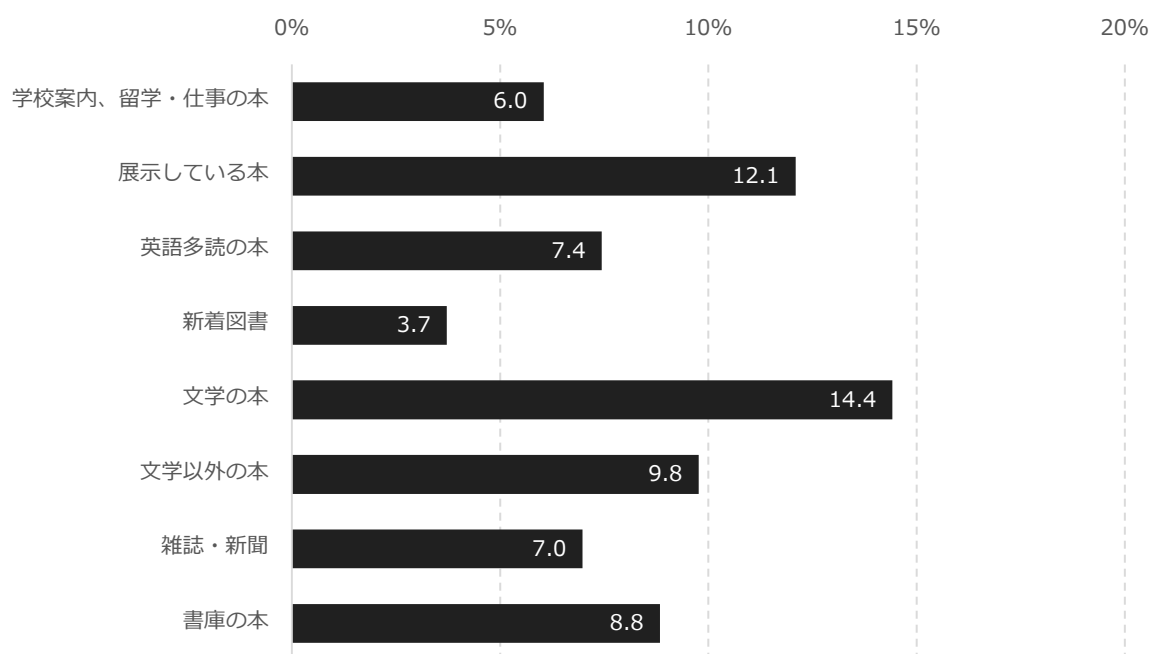
【問 12-(4) 青少年エリア資料を利用された方にお聞きします。利用された資料はどれですか。
(複数回答可)】

■表 13.13 『青少年エリアで利用した資料』件数割合

	件数	割合		件数	割合
学校案内、留学・仕事の本	13	6.0	文学以外の本	21	9.8
展示している本	26	12.1	雑誌・新聞	15	7.0
英語多読の本	16	7.4	書庫の本	19	8.8
新着図書	8	3.7	無回答・無効票	126	58.6
文学の本	31	14.4			
			全 体	275	127.9

※全体件数は回答件数の合計。割合は問 12 (3) ~ (5) のいずれかを回答している (n=199) に対する値。

※下のグラフには無回答・無効票を表示しない。



グラフ 13.19

■表 13.14 『青少年エリアで利用した資料』年齢割合

年齢	人数 (n)	<青少年エリア> 利用資料割合 (%)								
		学校案内、 留学・仕事の本	展示している本	英語多読の本	新着図書	文学の本	文学以外の本	雑誌・新聞	書庫の本	無回答・無効票
10代未満	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3
10代	40	15.0	20.0	17.5	7.5	35.0	22.5	10.0	15.0	22.5
20代	19	10.5	21.1	5.3	0.0	15.8	5.3	5.3	10.5	57.9
30代	48	2.1	8.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	0.0	83.3
40代	52	5.8	5.8	7.7	3.8	9.6	3.8	5.8	5.8	63.5
50代	15	6.7	33.3	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	33.3	40.0
60代	20	0.0	5.0	5.0	0.0	20.0	10.0	15.0	5.0	65.0
70代	14	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	64.3
80代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0
全体	215	6.0	12.1	7.4	3.7	14.4	9.8	7.0	8.8	58.6

※網掛けは各年齢で最も割合が高い利用資料。

※年齢の無回答・無効票は除く。

■表 13.15 『青少年エリアで利用した資料』職業（3分類：有職・学生・無職）割合

職業	人数 (n)	<青少年エリア> 利用資料割合 (%)								
		学校案内、 留学・仕事の本	展示している本	英語多読の本	新着図書	文学の本	文学以外の本	雑誌・新聞	書庫の本	無回答・無効票
有職	99	5.1	12.1	4.0	4.0	7.1	6.1	8.1	8.1	64.6
学生	55	12.7	18.2	16.4	5.5	27.3	20.0	9.1	14.5	34.5
無職	59	1.7	6.8	5.1	1.7	15.3	6.8	3.4	5.1	69.5
全体	213	6.1	12.2	7.5	3.8	14.6	9.9	7.0	8.9	58.2

※網掛けは各職業で最も割合が高い利用資料。

※職業の無回答・無効票は除く。

■表 13.16 『青少年エリアで利用した資料』利用目的割合

利用目的	人数 (n)	＜青少年エリア＞利用資料割合 (%)								
		学校案内、 留学・仕事の本	展示している本	英語多読の本	新着図書	文学の本	文学以外の本	雑誌・新聞	書庫の本	無回答・無効票
仕事上の調査研究	21	0.0	9.5	0.0	0.0	14.3	0.0	9.5	0.0	66.7
仕事に関連した自分の勉強・自己啓発	16	6.3	6.3	6.3	0.0	12.5	6.3	18.8	25.0	56.3
個人的な調査研究	8	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5
日常生活に必要な知識や情報の入手	8	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	50.0
教養・趣味のための読書	42	2.4	7.1	7.1	2.4	16.7	4.8	0.0	11.9	66.7
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	17	17.6	29.4	23.5	17.6	23.5	29.4	11.8	23.5	41.2
試験勉強	24	12.5	12.5	16.7	0.0	37.5	25.0	12.5	16.7	16.7
その他	66	4.5	6.1	6.1	6.1	3.0	4.5	4.5	0.0	77.3
全 体	202	5.4	11.4	7.9	4.0	14.9	9.4	7.4	9.4	59.4

※網掛けは各利用目的で最も割合が高い利用資料。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

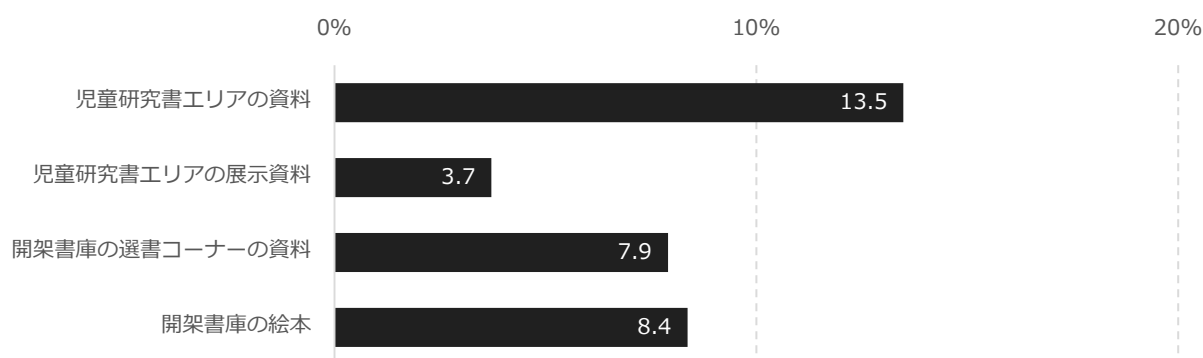
【問 12-(5) 児童研究書エリア・開架書庫を利用された方にお聞きします。利用された資料はどれですか。(複数回答可)】

■表 13.17 『児童研究書エリア・開架書庫で利用した資料』件数割合

	件数	割合
児童研究書エリアの資料	29	13.5
児童研究書エリアの展示資料	8	3.7
開架書庫の選書コーナーの資料	17	7.9
開架書庫の絵本	18	8.4
無回答・無効票	158	73.5
全体	230	107.0

※全体件数は回答件数の合計。割合は問 12 (3) ～ (5) のいずれかを回答している (n=199) に対する値。

※下のグラフには無回答・無効票を表示しない。



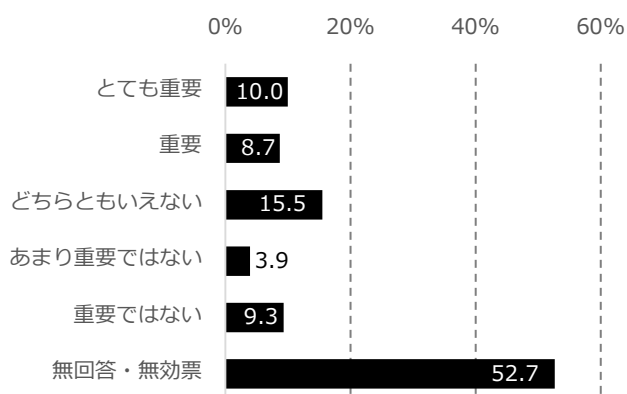
グラフ 13.20

- 『こどものへや (えほんのこべや)』『青少年エリア』『児童研究書エリア・開架書庫』の利用資料について
こどものへや (えほんのこべや) で利用した資料については、「絵本」が 93 件・43.3%と最も多く、次いで「展示している本」が 30 件・14.0%と多い (表 13.9、グラフ 13.18)。
青少年エリアで利用した資料については、「文学の本」が 31 件・14.4%、次いで「展示している本」が 26 件・12.1%と多い (表 13.13、グラフ 13.19)。
児童研究書エリア・開架書庫で利用した資料については、「児童研究書エリアの資料」が 29 件・13.5%、次いで「開架書庫の絵本」が 18 件・8.4%となった (表 13.17、グラフ 13.20)。

【問 12-(6) あなたにとって、この図書館の児童・青少年資料サービスは、どのくらい重要ですか。また、児童・青少年資料サービスにどのくらい満足していますか。】

■表 13.18 『児童・青少年資料サービスの重要度』件数割合

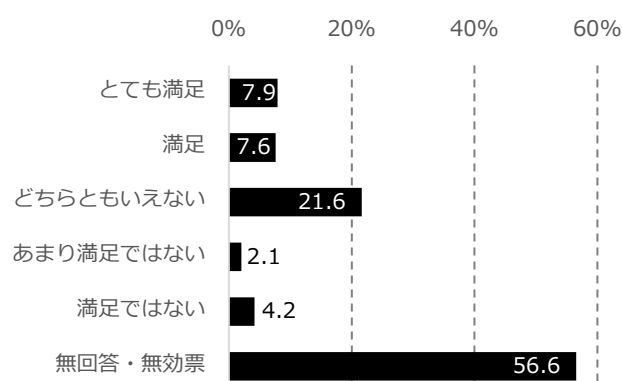
	件数	割合
とても重要	107	10.0
重要	93	8.7
どちらともいえない	166	15.5
あまり重要ではない	42	3.9
重要ではない	100	9.3
無回答・無効票	565	52.7
全体	1,073	100.0



グラフ 13.21

■表 13.19 『児童・青少年資料サービスの満足度』件数割合

	件数	割合
とても満足	85	7.9
満足	82	7.6
どちらともいえない	232	21.6
あまり満足ではない	22	2.1
満足ではない	45	4.2
無回答・無効票	607	56.6
全体	1,073	100.0



グラフ 13.22

■表 13.20 『児童・青少年資料サービスの重要度・満足度』過年度比較

	重要度の平均	満足度の平均	満足度－重要度
平成 28 年度 (n=2,097)	3.40	3.43	△ 0.03
平成 29 年度 (n=1,248)	3.23	3.40	△ 0.17
平成 30 年度 (n=1,073)	3.13	3.30	△ 0.17

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。

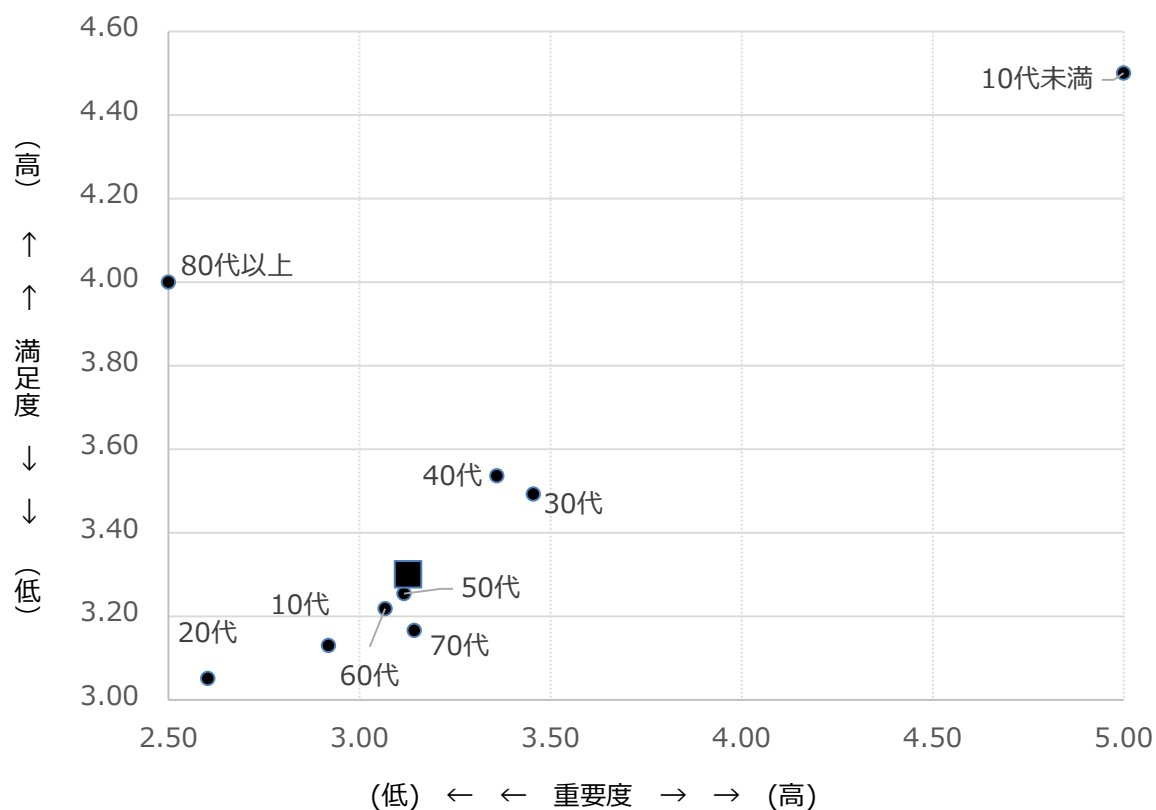
■表 13.21 『児童・青少年資料サービスの重要度・満足度』年齢

年 齢	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
10代未満	11	5.00	4.50	▼ 0.50
10代	245	3.07	3.22	△ 0.15
20代	131	2.60	3.05	△ 0.45
30代	135	3.45	3.49	△ 0.04
40代	164	3.36	3.54	△ 0.18
50代	128	3.12	3.25	△ 0.14
60代	126	2.92	3.13	△ 0.21
70代	104	3.14	3.17	△ 0.02
80代以上	23	2.50	4.00	△ 1.50
全 体	1,073	3.13	3.30	△ 0.17

※網掛けは重要度・満足度の最も高い年齢。

※年齢の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 13.23

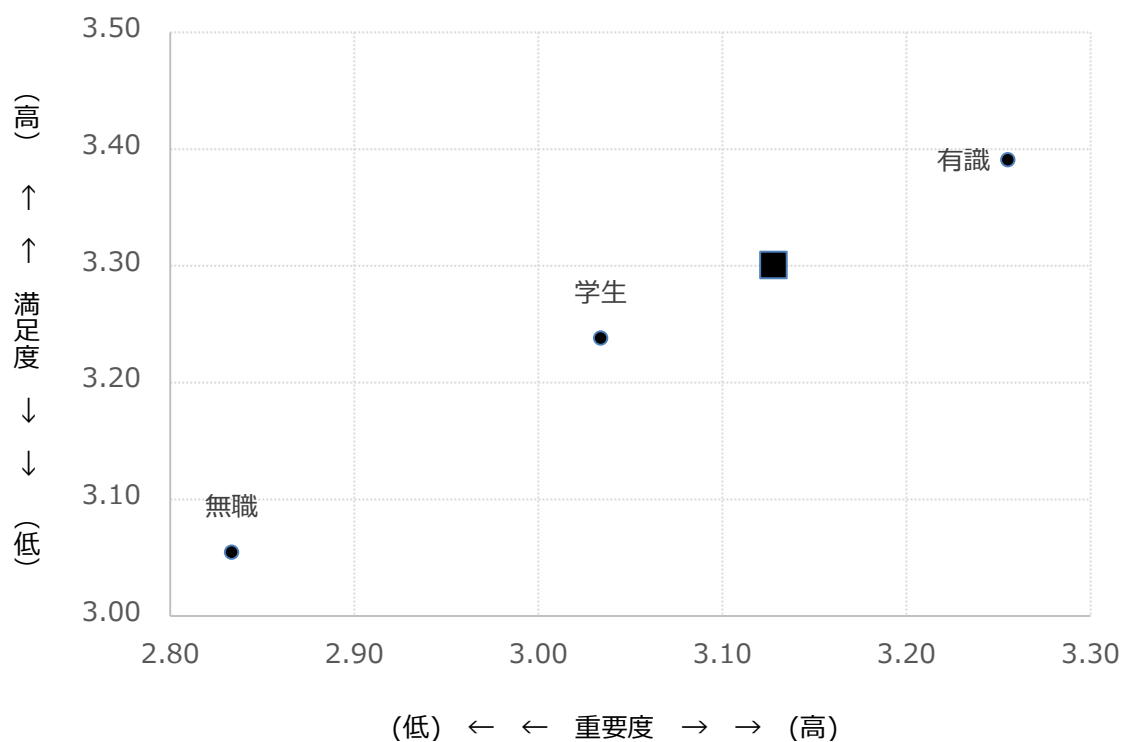
■表 13.22 『児童・青少年資料サービスの重要度・満足度』職業（3分類：有職・学生・無職）

職業	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
有職	455	3.12	3.33	△ 0.21
学生	335	3.03	3.24	△ 0.20
無職	272	3.31	3.33	△ 0.02
全体	1,073	3.13	3.30	△ 0.17

※網掛けは重要度・満足度の最も高い職業。

※職業の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 13.24

■表 13.23 『児童・青少年資料サービスの重要度・満足度』職業（18分類）

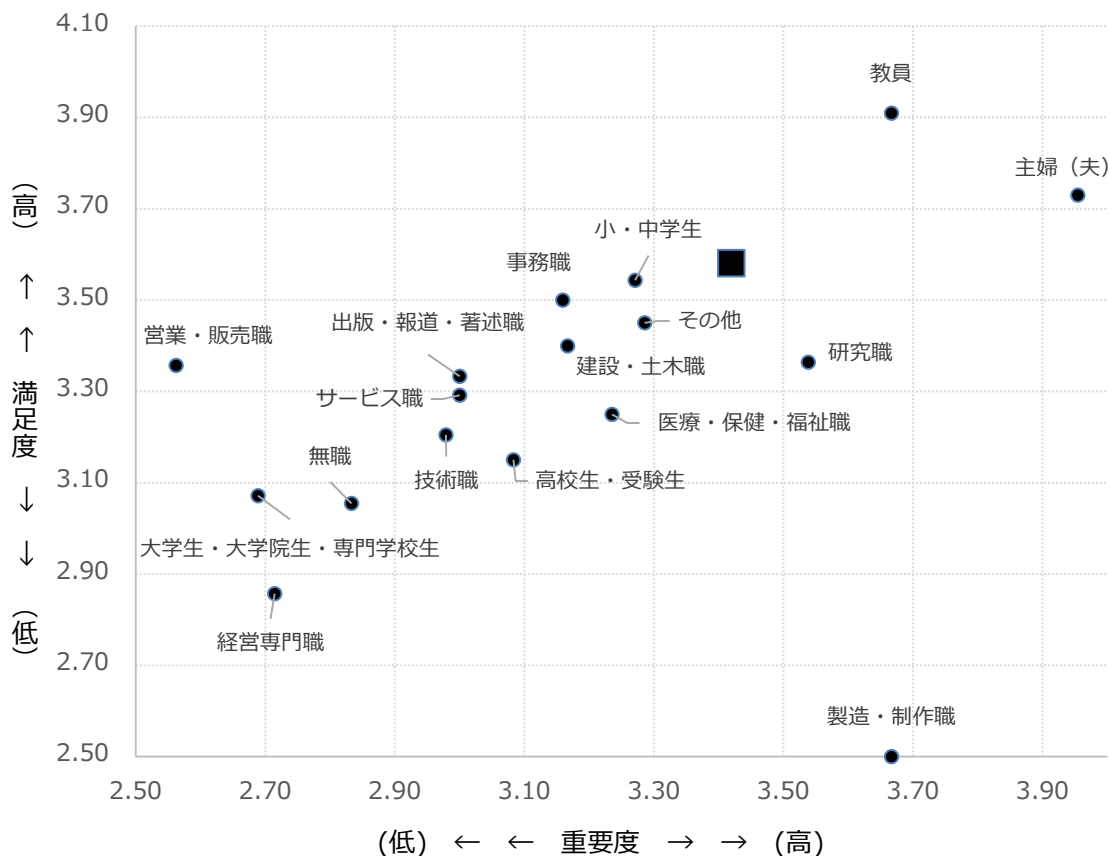
職 業	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
事務職	94	3.16	3.50	△ 0.34
営業・販売職	33	2.56	3.36	△ 0.79
技術職	78	2.98	3.20	△ 0.23
研究職	22	3.54	3.36	▼ 0.17
医療・保健・福祉職	36	3.24	3.25	△ 0.01
法務職	5	3.00	—	—
経営専門職	19	2.71	2.86	△ 0.14
教員	26	3.67	3.91	△ 0.24
出版・報道・著述職	17	3.00	3.33	△ 0.33
サービス職	48	3.00	3.29	△ 0.29
製造・制作職	11	3.67	2.50	▼ 1.17
建設・土木職	14	3.17	3.40	△ 0.23
主婦（夫）	103	3.95	3.73	▼ 0.22
大学生・大学院生・専門学校生	95	2.69	3.07	△ 0.38
高校生・受験生	167	3.08	3.15	△ 0.07
小・中学生	73	3.27	3.54	△ 0.27
無職	169	2.83	3.05	△ 0.22
その他	52	3.29	3.45	△ 0.16
全 体	1,073	3.42	3.58	△ 0.16

※網掛けは重要度・満足度の最も高い職業。

※職業の無回答・無効票は除く。

※「法務職」の重要度の回答は1件のみであるため、重要度の平均値は参考にとどめる。満足度の回答はなかった。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

※「法務職」は満足度の回答がないため、表示しない。

グラフ 13.25

● 「児童・青少年資料サービス」の重要度・満足度について

「児童・青少年資料サービス」の重要度については、「とても重要」「重要」の計は 200 件・18.7%であるのに対し、「あまり重要ではない」「重要ではない」の計は 142 件・13.2%となっている。(表 13.18、グラフ 13.21)。

年齢別では、「10 代未満」の重要度が 5.00 と最も高い (表 13.21)。

職業 3 分類別では、「無職」において 3.31、職業 18 分類別では、「主婦(夫)」においては 3.95 と最も高くなった (表 13.22、表 13.23)。

「児童・青少年資料サービス」の満足度については、「とても満足」「満足」の計 167 件・15.5%であるのに対し、「あまり満足ではない」「満足ではない」の計は 67 件・6.3%となっている (表 13.19、グラフ 13.22)。

過年度比較において満足度と重要度の差をみると、平成 29 年度、平成 30 年度ともに 0.17 満足度が重要度を上回っている (表 13.20)。

年齢別では、「10 代未満」の満足度が 4.50 と最も高い (表 13.21)。

職業 3 分類別では、「有職」「無職」において 3.33、職業 18 分類別では、「教員」において 3.91 と最も高くなった (表 13.22、表 13.23)。

■ 『児童・青少年資料サービスの満足度』 選択理由

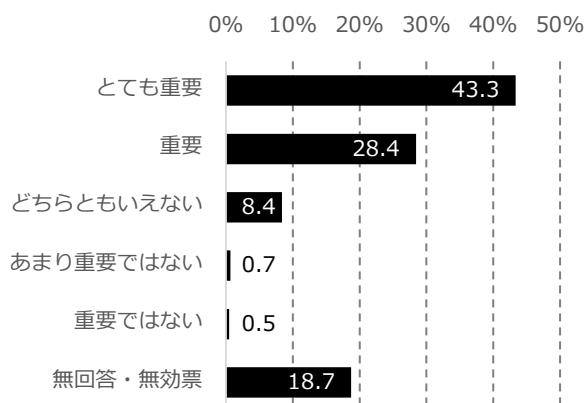
満足度		件数	主な理由
5	とても満足	85	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童書、研究資料に関する知識をもった職員がいて、レファレンスに対応してくれるから。 ● 現在の子供の本にふれる重要なチャンス。 ● 展示書は常に交換して展示しているから。興味を持ち、評価がよい英語の絵本や図書も揃えている。 ● 青少年・児童にもっと利用してほしいから。 ● 子供が楽しめるから。 ● 良く整理され、内容が充実し、オンラインの情報も豊富だから。 ● 資料が揃っているから。 ● 将来についてより深く考えることができるから。 ● 絵本がたくさんあるから。
4	満足	82	<ul style="list-style-type: none"> ● 類例の少ないサービス。 ● 自分の好きなジャンルの本が豊富なので気分転換になるから。 ● えほんのへやはよく利用するから。 ● 一度利用したことがあり、見たい資料を見つけ出すことができたから。 ● こどものへやがとても感じがいいから。絵本の紹介の仕方などもかわいい。 ● 企画展示を見て面白かった。 ● 多様な雑誌による多様な能力の育成につながるから。
3	どちらともいえない	232	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生にとって有益だと思うため。 ● あまり利用したことがない。 ● 利用していないが、素晴らしいサービスだと思ったから。 ● 夏休みに自由研究の提案をしていたのが良かったと思う。 ● こどもの絵本を色々見てもいいなと思った。 ● 児童・青少年資料を大人も読みたい。 ● スペースが狭い。
2	あまり満足ではない	22	<ul style="list-style-type: none"> ● 本の種類が少ないから。 ● あまり必要じゃないと思ったから。 ● 留学や思想についての本が少ないと思う（もっとあった方がよい）。
1	満足ではない	45	<ul style="list-style-type: none"> ● 読みたいと思った本が置いていないから。 ● 座席の数が満足ではない。 ● 必要ないため。

14. 都立多摩図書館全体の重要度・満足度

【問 13 あなたにとって、この図書館は全体としてどのくらい重要ですか。また、この図書館全体にどのくらい満足していますか。】

■表 14.1 『多摩図書館全体の重要度』件数割合

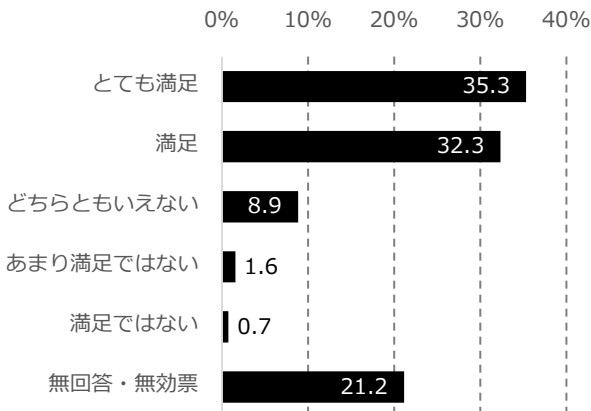
	件数	割合
とても重要	465	43.3
重要	305	28.4
どちらともいえない	90	8.4
あまり重要ではない	7	0.7
重要ではない	5	0.5
無回答・無効票	201	18.7
全 体	1,073	100.0



グラフ 14.1

■表 14.2 『多摩図書館全体の満足度』件数割合

	件数	割合
とても満足	379	35.3
満足	347	32.3
どちらともいえない	95	8.9
あまり満足ではない	17	1.6
満足ではない	8	0.7
無回答・無効票	227	21.2
全 体	1,073	100.0



グラフ 14.2

■表 14.3 『多摩図書館全体の重要度・満足度』過年度比較

	重要度の平均	満足度の平均	満足度－重要度
平成 28 年度 (n=2,097)	4.21	4.01	▼ 0.20
平成 29 年度 (n=1,248)	4.32	4.16	▼ 0.16
平成 30 年度 (n=1,073)	4.40	4.27	▼ 0.13

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。

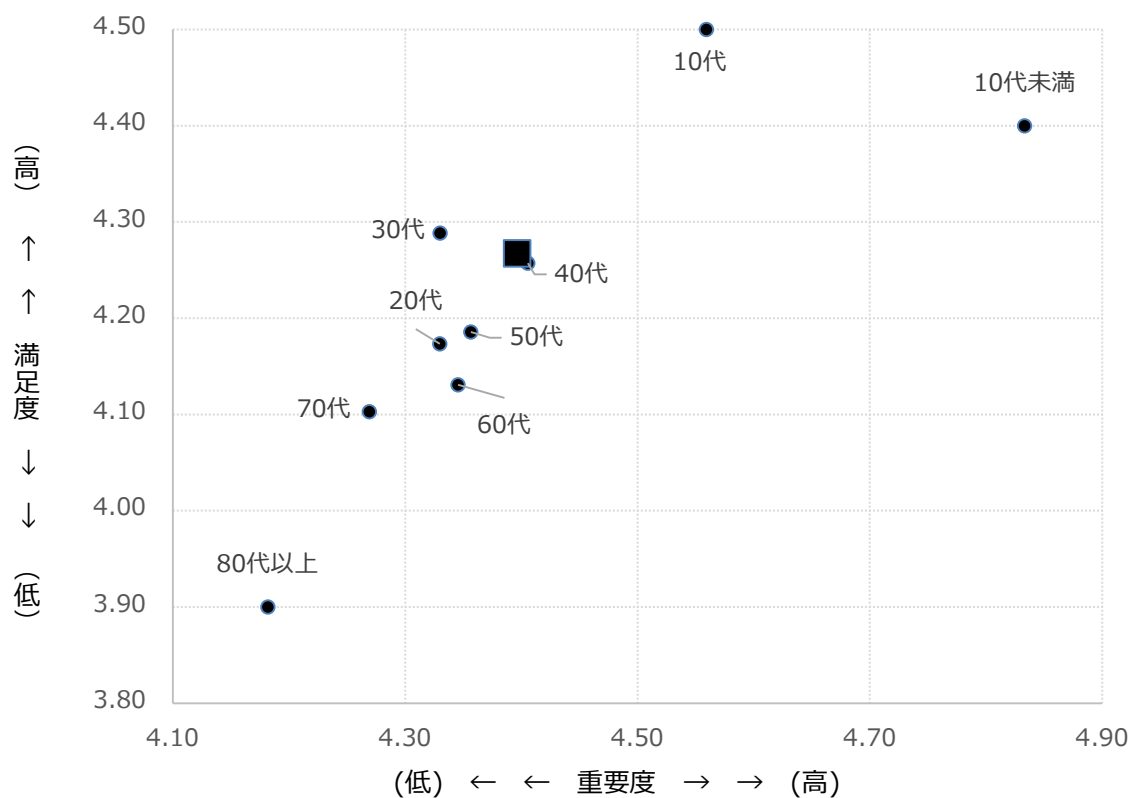
■表 14.4 『多摩図書館全体の重要度・満足度』年齢

年 齢	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
10代未満	11	4.83	4.40	▼ 0.43
10代	245	4.56	4.50	▼ 0.06
20代	131	4.33	4.17	▼ 0.16
30代	135	4.33	4.29	▼ 0.04
40代	164	4.41	4.26	▼ 0.15
50代	128	4.36	4.19	▼ 0.17
60代	126	4.35	4.13	▼ 0.22
70代	104	4.27	4.10	▼ 0.17
80代以上	23	4.18	3.90	▼ 0.28
全 体	1,073	4.40	4.27	▼ 0.13

※網掛けは重要度・満足度の最も高い年齢。

※年齢の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 14.3

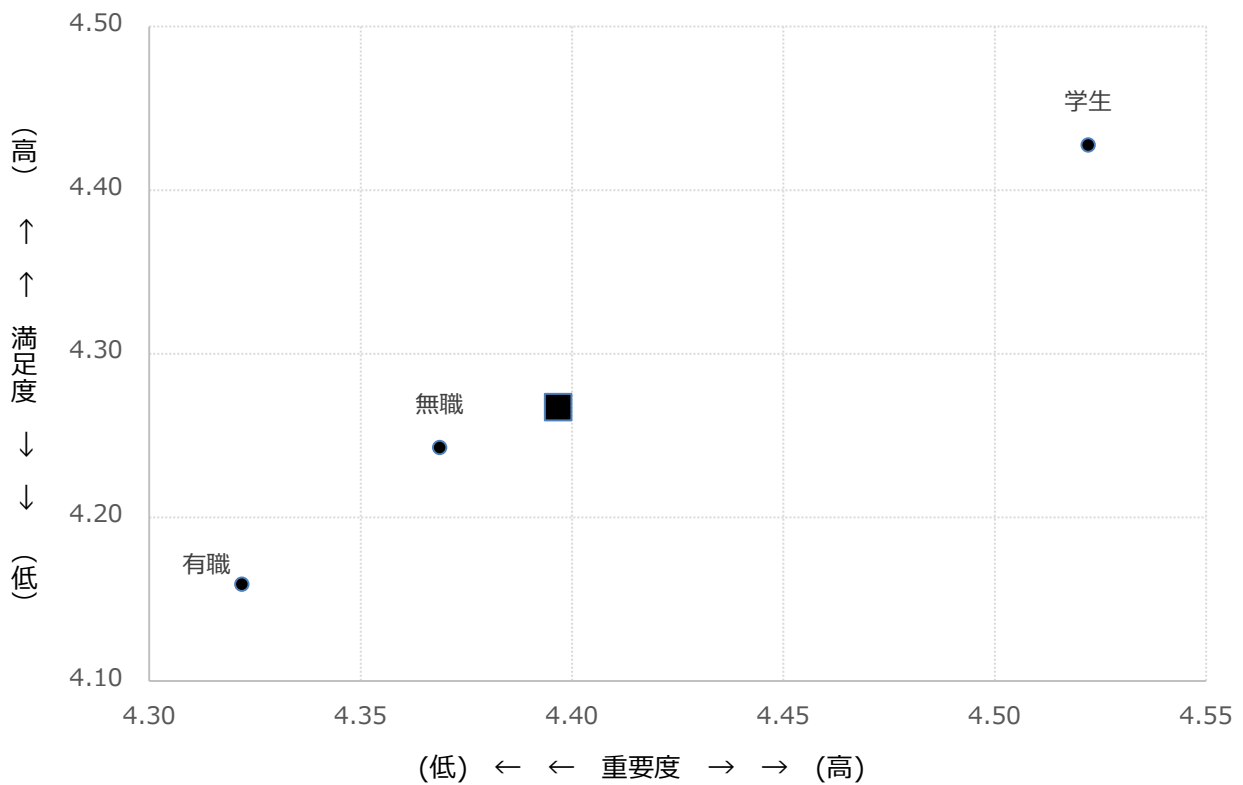
■表 14.5 『多摩図書館全体の重要度・満足度』職業（3分類：有職・学生・無職）

職業	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
有職	455	4.32	4.16	▼ 0.16
学生	335	4.52	4.43	▼ 0.09
無職	272	4.37	4.24	▼ 0.13
全体	1,073	4.40	4.27	▼ 0.13

※網掛けは重要度・満足度の最も高い職業。

※職業の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 14.4

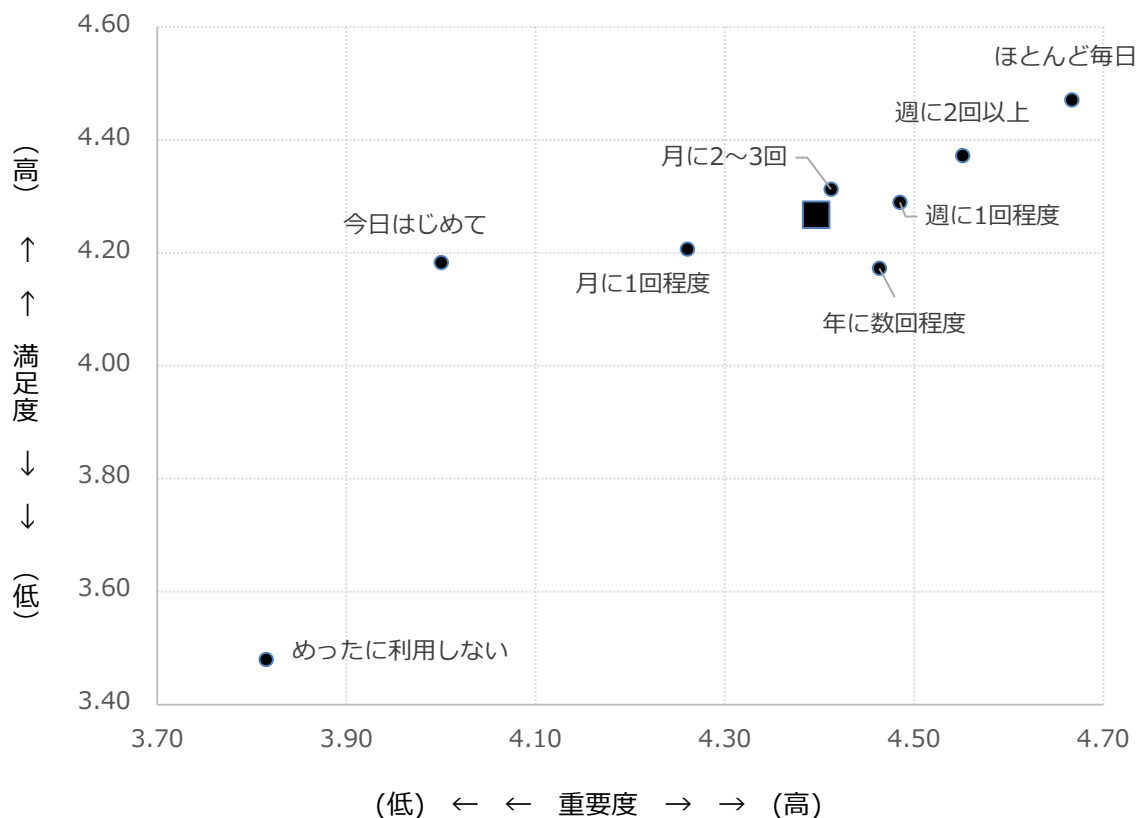
■表 14.6 『多摩図書館全体の重要度・満足度』利用頻度

利用頻度	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度 - 重要度
ほとんど毎日	67	4.67	4.47	▼ 0.20
週に2回以上	211	4.55	4.37	▼ 0.18
週に1回程度	164	4.49	4.29	▼ 0.20
月に2～3回	243	4.41	4.31	▼ 0.10
月に1回程度	121	4.26	4.21	▼ 0.05
年に数回程度	94	4.46	4.17	▼ 0.29
めったに利用しない	34	3.81	3.48	▼ 0.33
今日はじめて	131	4.00	4.18	△ 0.18
全 体	1,073	4.40	4.27	▼ 0.13

※網掛けは重要度・満足度の最も高い利用頻度。

※利用頻度の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 14.5

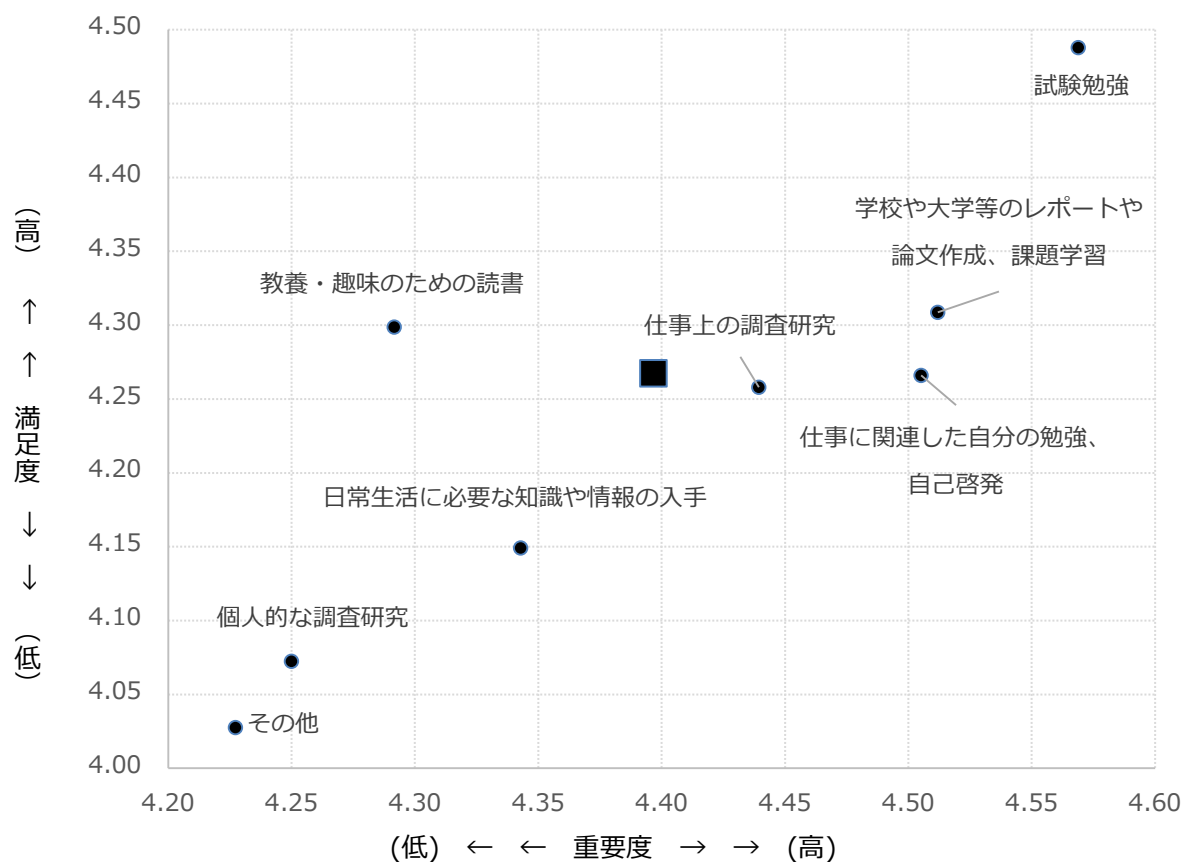
■表 14.7 『多摩図書館全体の重要度・満足度』利用目的

利用目的	人数 (n)	重要度の平均値	満足度の平均値	満足度－重要度
仕事上の調査研究	82	4.44	4.26	▼ 0.18
仕事に関連した自分の勉強、自己啓発	107	4.51	4.27	▼ 0.24
個人的な調査研究	83	4.25	4.07	▼ 0.18
日常生活に必要な知識や情報の入手	84	4.34	4.15	▼ 0.19
教養・趣味のための読書	200	4.29	4.30	△ 0.01
学校や大学等のレポートや論文作成、課題学習	103	4.51	4.31	▼ 0.20
試験勉強	203	4.57	4.49	▼ 0.08
その他	154	4.23	4.03	▼ 0.20
全 体	1,073	4.40	4.27	▼ 0.13

※網掛けは重要度・満足度の最も高い利用目的。

※利用目的の無回答・無効票は除く。

※△は満足度が重要度を上回っている、▼は満足度が重要度を下回っている値。



※グラフ内■印は重要度・満足度の平均値。

グラフ 14.6

●多摩図書館全体の重要度・満足度について

多摩図書館全体の重要度については、「とても重要」と「重要」の計が770件・71.8%となっているのに対し、「あまり重要ではない」「重要ではない」の計は12件・1.2%となっている(表14.1、グラフ14.1)。

過年度比較では、重要度の評価点平均は、平成28年度から0.19、平成29年度から0.08増加している(表14.3)。

年齢別では「10代未満」の4.83が最も高く、「80代以上」の4.18が最も低い(表14.4)。

職業3分類別では「学生」の4.52、利用頻度別では「ほとんど毎日」の4.67、そして利用目的別では「試験勉強」の4.57が、それぞれ最も高い重要度である(表14.5、14.6、14.7)。

多摩図書館全体の満足度については、「とても満足」と「満足」合わせて726件・67.7%であるのに対し、「あまり満足ではない」「満足ではない」の計は25件・2.3%である(表14.2、グラフ14.2)

過年度比較では、満足度の評価点平均は、平成28年度から0.26、平成29年度から0.11増加している(表14.3)。

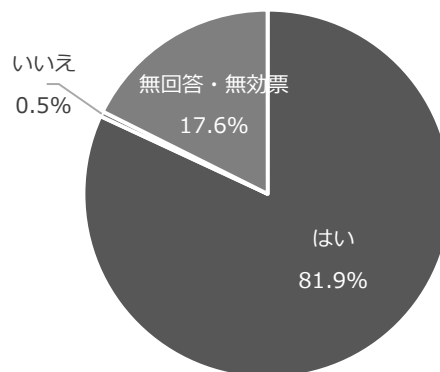
年齢別では「10代」の4.50、職業3分類別では「学生」の4.43、利用頻度別では「ほとんど毎日」の4.47、そして利用目的別では「試験勉強」の4.49が、それぞれ最も高い満足度である。(表14.5、14.6、14.7)。

15. 都立多摩図書館の今後の利用意向

【問 14 今後、またこの図書館を利用したいですか。(1か2のどちらかに○)】

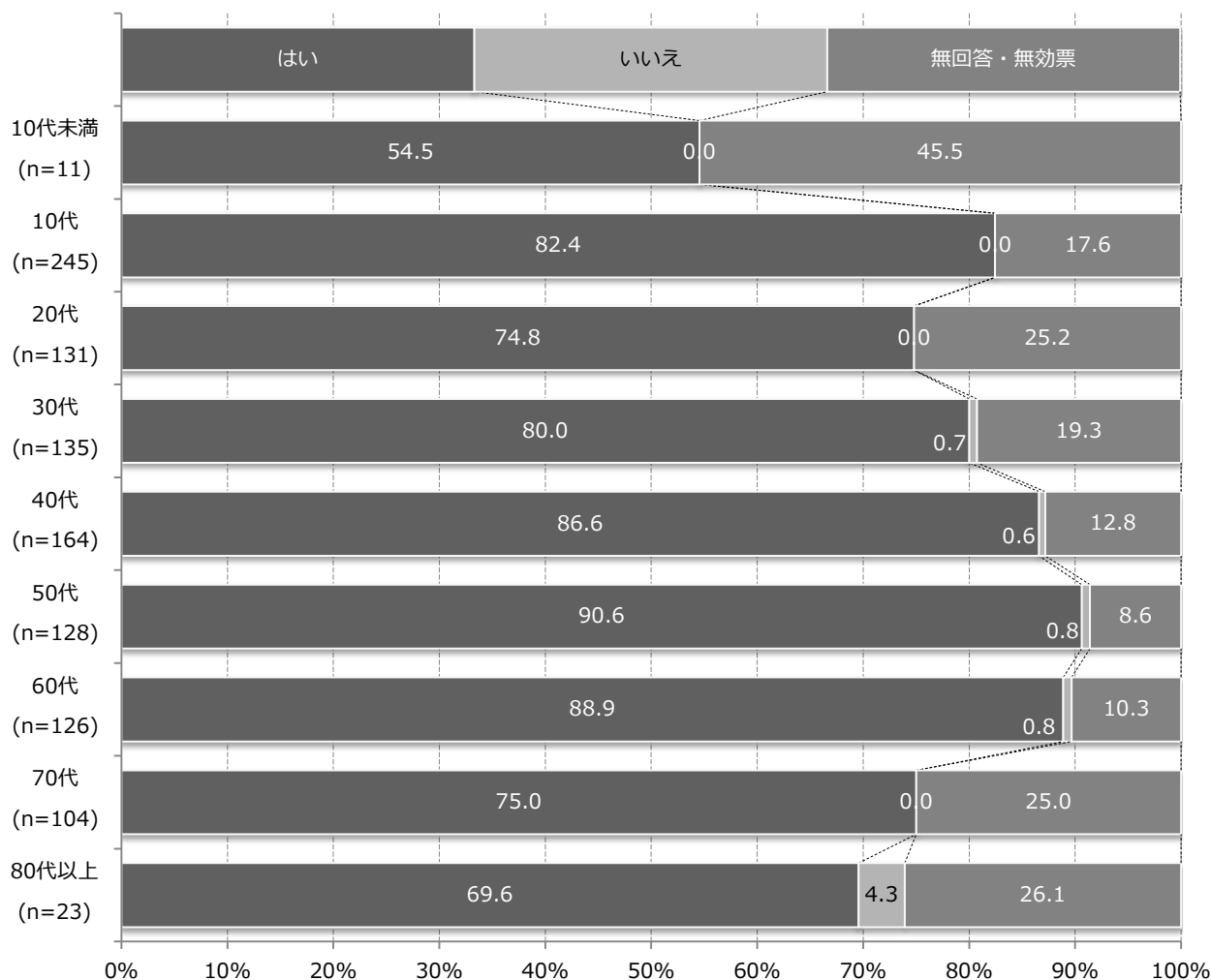
■表 15.1『多摩図書館の今後の利用意向』件数割合

	件数	割合
はい	879	81.9
いいえ	5	0.5
無回答・無効票	189	17.6
全体	1,073	100.0

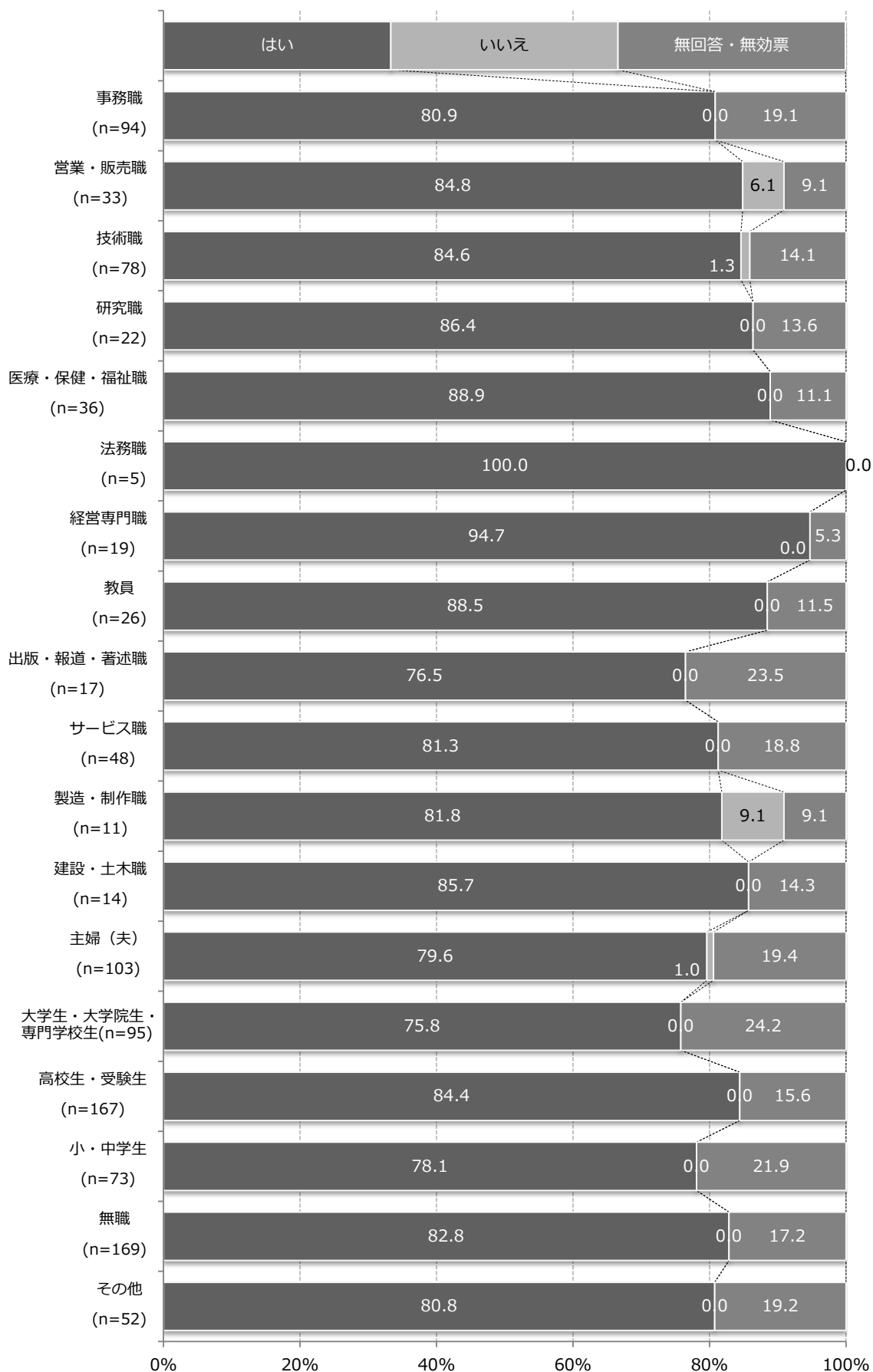


グラフ 15.1

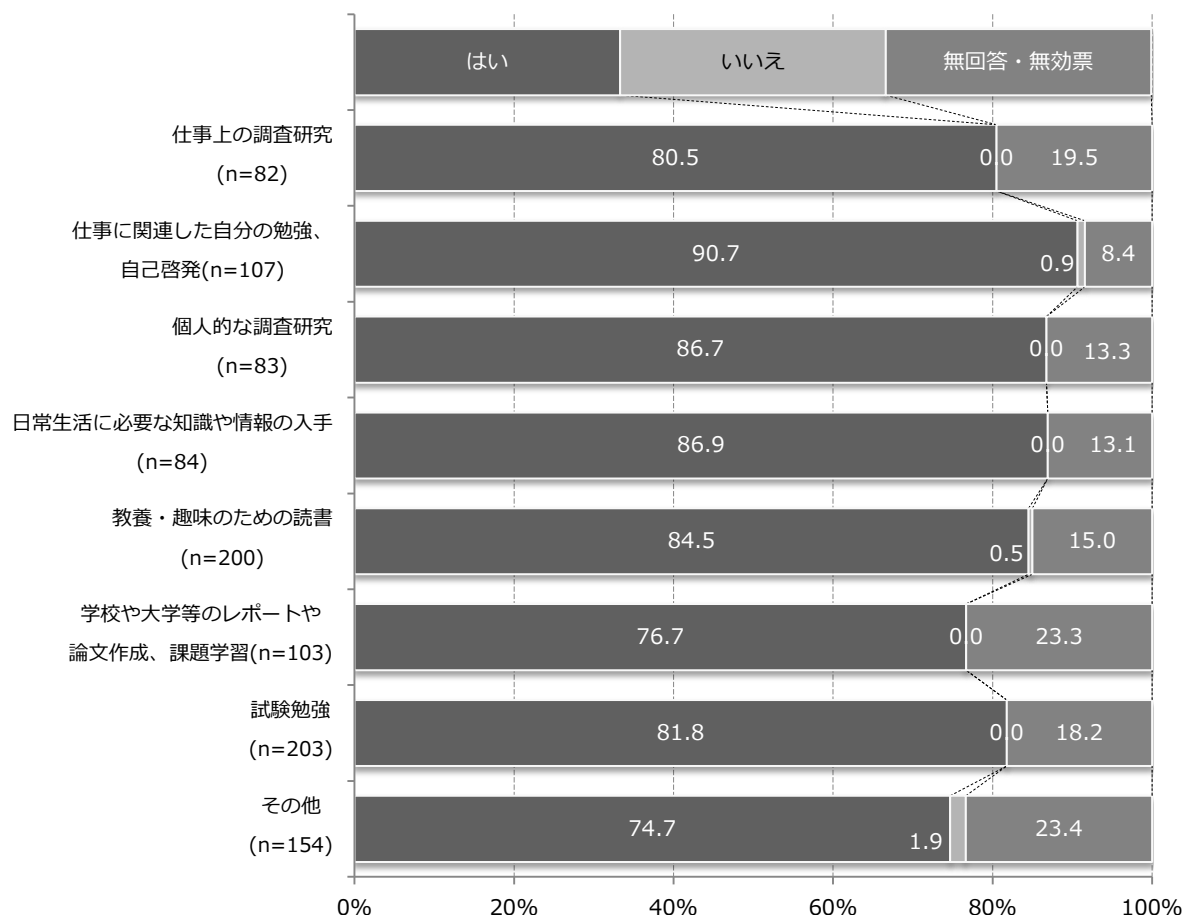
■グラフ 15.2『多摩図書館の今後の利用意向』年齢割合



■グラフ 15.3 『多摩図書館の今後の利用意向』職業（18分類）割合



■ グラフ 15.4 『多摩図書館の今後の利用意向』 利用目的割合



● 多摩図書館の今後の利用意向について

今後の利用意向については、「はい」が 879 件・81.9%、「いいえ」が 5 件・0.5%である (表 15.1、グラフ 15.1)。

年齢別では、「50 代」が 90.6%と最も割合が高く、「10 代未満」が 54.5%と最も低い(グラフ 15.2)。

職業 18 分類別では、「法務職」の 100.0%が最も割合が高く、割合が最も低くなったのは「大学生・大学院生・専門学校生」の 75.8%であった (グラフ 15.3)。

利用目的別では、「仕事に関連した自分の勉強、自己啓発」が 90.7%と最も高く、他の利用目的においても 70%以上が今後も利用する意向である (グラフ 15.4)。

16. 都立多摩図書館に対するご意見・ご要望

【問 15 皆様のご意見を参考に、よりよい図書館サービスを展開してまいります。

改善が必要な点や新たなサービスへのご要望などご意見をお願いいたします。】

■蔵書について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全 65 件

- 雑誌を増やしてほしい (10 件)
- 専門書を増やしてほしい (10 件)
- 蔵書全般の充実を希望 (5 件)
- 配架場所の改善 (4 件)
- 最新図書の充実を希望 (4 件)
- 蔵書が充実している (3 件)
- その他

■開館時間・閉館時間・休館日について・・・・・・・・・・・・・・・・全 70 件

- 土日祝日の開館時間を延長してほしい (44 件)
- 開館時間を早めてほしい (14 件)
- 閉館時間を延長してほしい (5 件)
- 休館日の削減 (4 件)
- 平日の開館時間を延長してほしい (3 件)
- その他

■施設・設備について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全 80 件

- 閲覧席 (全般) を改善してほしい (30 件)
- カフェを改善してほしい (10 件)
- 音が反響するため床を改善してほしい (8 件)
- 駐車場・駐輪場の改善 (6 件)
- 館内の照明について (6 件)
- トイレを改善してほしい (3 件)
- 時計を設置してほしい (3 件)
- 館内の空調について (2 件)
- ごみ箱の設置 (2 件)
- その他

■IT 関連について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全 7 件

- Wi-Fi の改善 (4 件)
- データサービスの改善 (2 件)
- その他

■利用全般について・・・・・・・・・・・・・・・・全 47 件

- 貸し出しをしてほしい (19 件)
- 各種サービス利用について (7 件)
- イベントの開催について (6 件)
- 複写サービスの改善 (5 件)
- 他の図書館から書籍の取り寄せをしてほしい (3 件)
- 入口のシステムの改善 (3 件)
- その他

■職員・スタッフの対応について・・・・・・・・全 22 件

- 職員の対応について (7 件)
- 職員の話し声について (6 件)
- 館内放送の改善 (5 件)
- 職員の人員配置について (3 件)
- その他

■現状で満足・謝意など・・・・・・・・全 46 件

- 現状で満足 (28 件)
- 快適な環境である (11 件)
- 職員の応対・サービスに満足している (2 件)
- その他

■不満・苦情など・・・・・・・・全 51 件

- 私語が多く、騒がしい (20 件)
- 小さい子どもがうるさく困っている (12 件)
- 利用ルールを守っていない (11 件)
- 一人で複数の座席を使用している (4 件)
- 物音やタイピング音がうるさい (3 件)
- その他

■その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全 18 件

- アンケートについて (5 件)
- また来館したい (5 件)
- その他